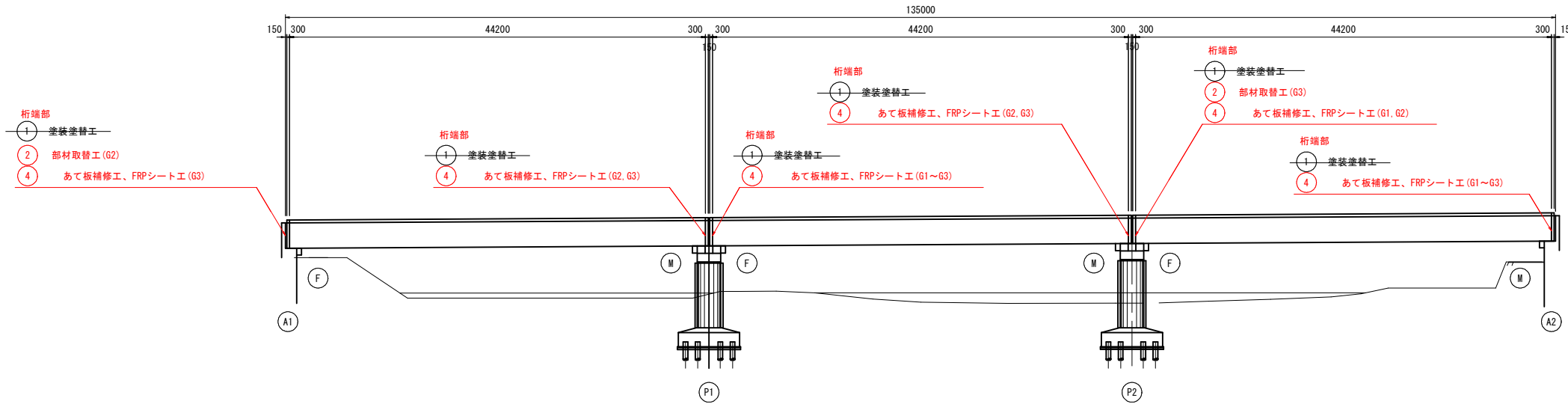


新黒坂橋 補修一般図 (その1)

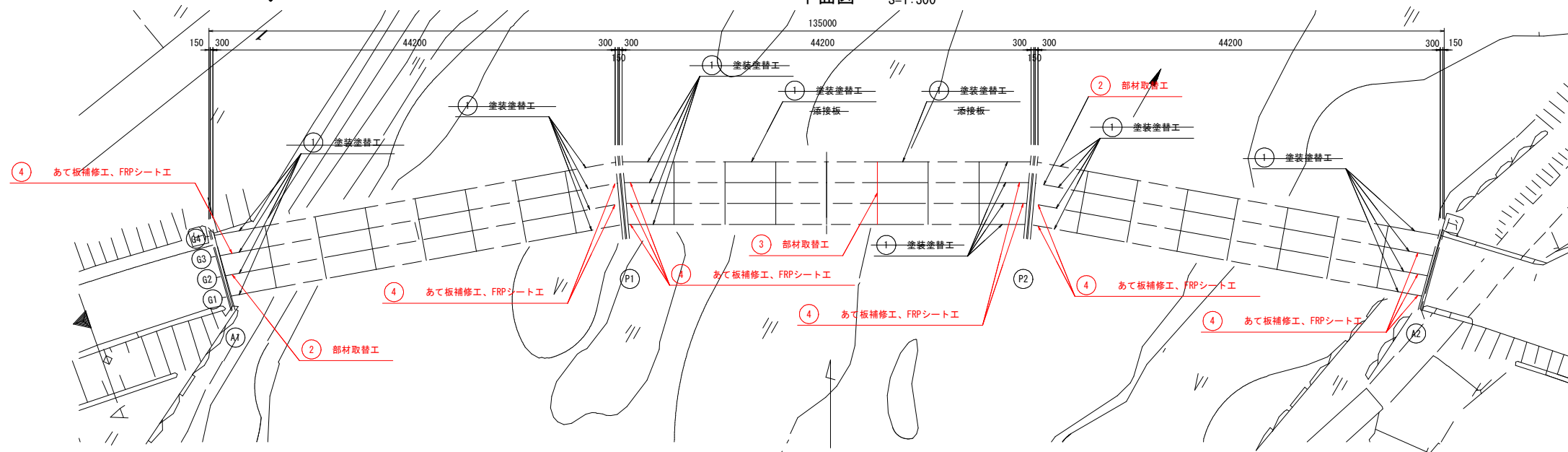
側面図 S=1:300



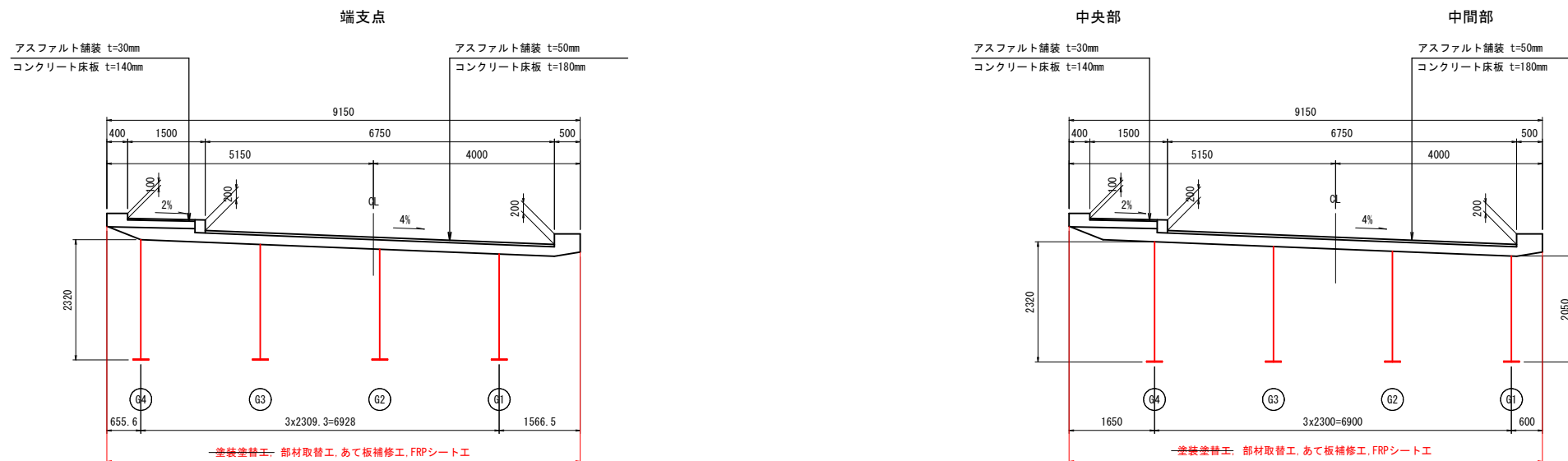
補修項目一覧表

番号	補修項目	仕様	備考
①	塗装塗替工	Re-I塗装系	
②	部材取替工 (G2)	-	主桁桁端部
③	部材取替工	-	中間対傾横部
④	あて板補修工、FRPシート工	-	

平面図 S=1:300



断面図 S=1:60



令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)	
図名	新黒坂橋 補修一般図(その1)
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 35 葉中の内 1
令和 6 年度施行	
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

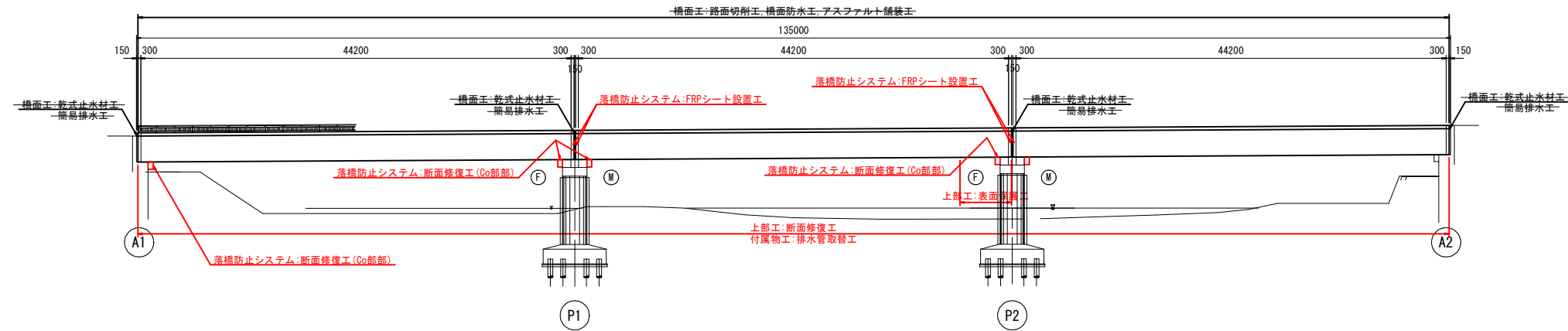
注記)

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、
図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

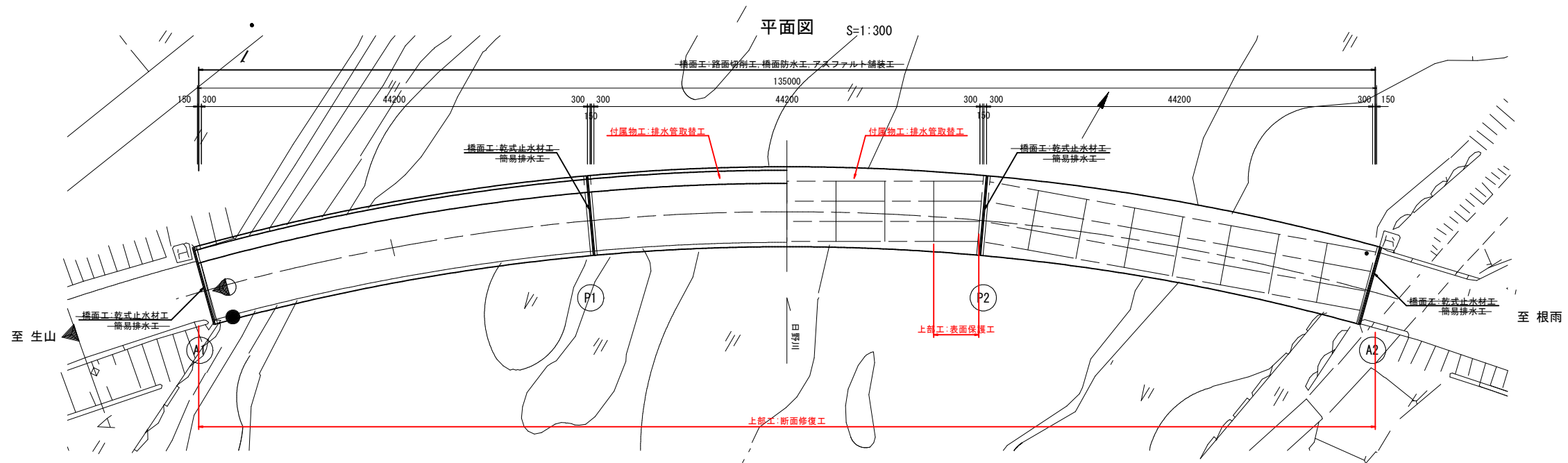
※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 補修一般図 (その2)

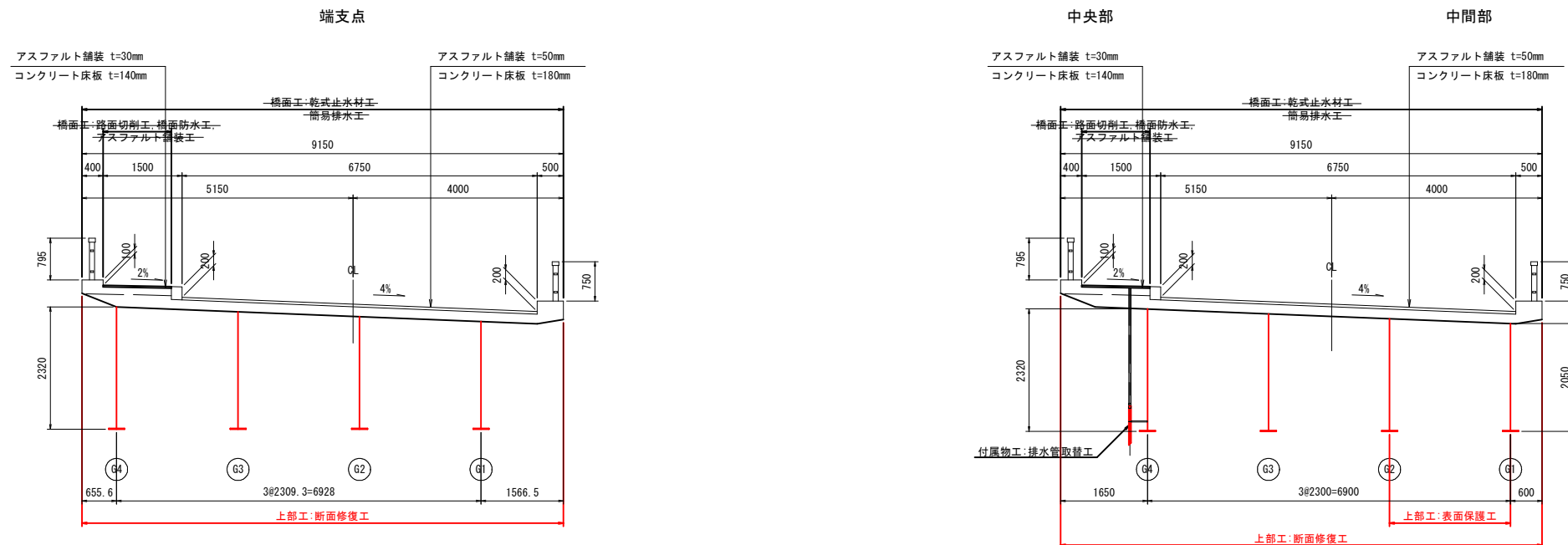
側面図 S=1:300



平面図 S=1:300



断面図 S=1:60



対策工法一覧表

- 路面切削工 —
- 橋面防水工 —
- アスファルト舗装工 —
- 乾式止水材工 —
- 簡易排水工 —
- 排水管取替工 —
- FRPシート設置工 —
- 断面修復工 —
- 表面保護工 —
- 仮設足場工 —

※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
 ※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
 ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん等がある場合は、撤去を行うこと。
 ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)		
図名	新黒坂橋 補修一般図(その2)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内～中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35 葉中の内 2		
	令和 6 年度施行		
	西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局		

※A3出力時：表示縮尺×50%

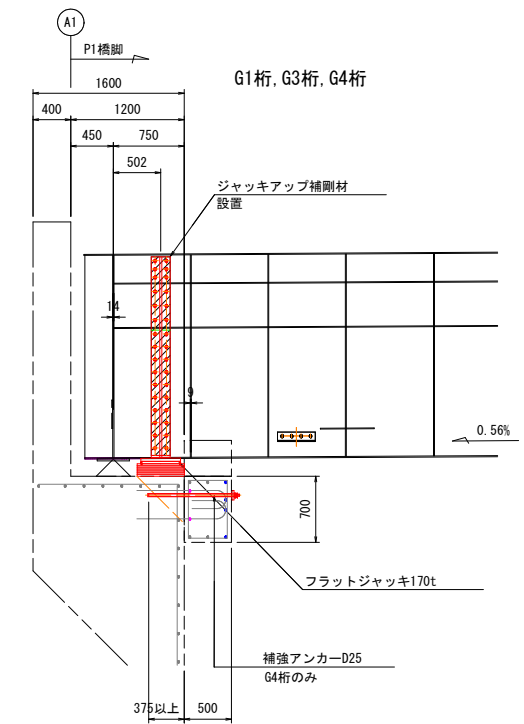
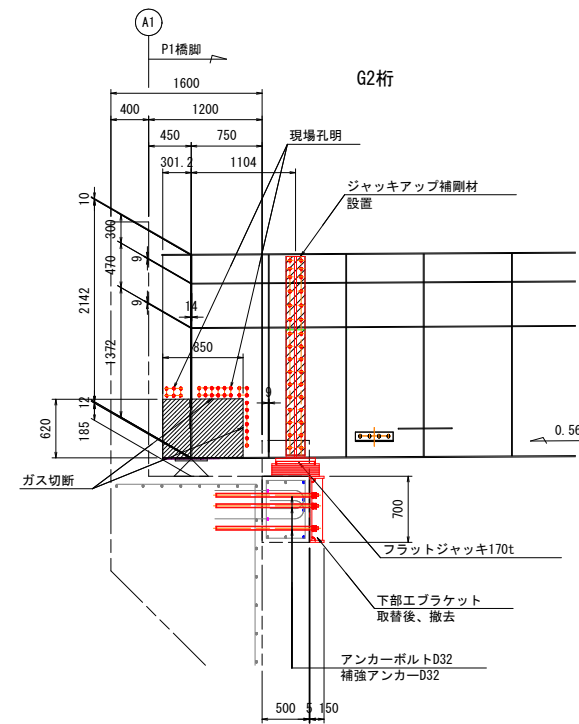
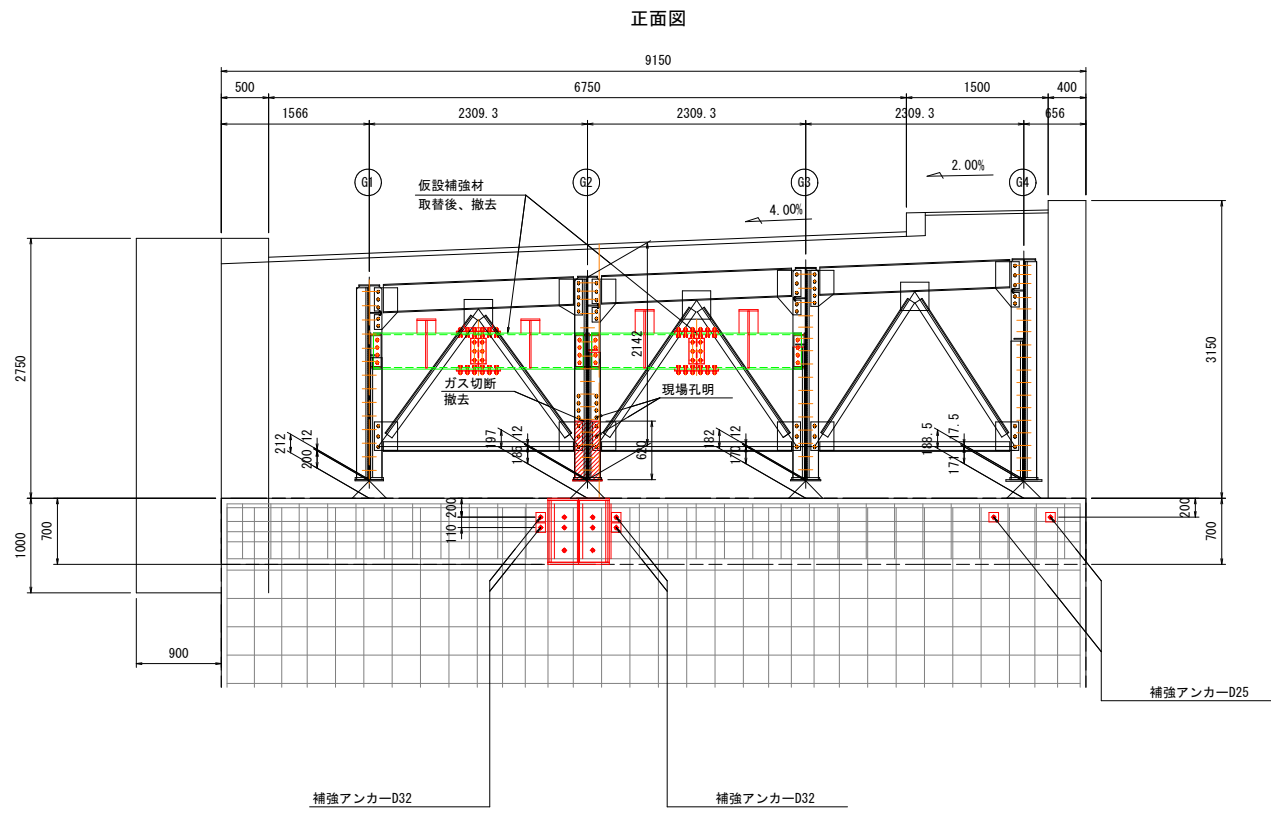
新黒坂橋 部材取替工 一般図(その1)

S=1:40

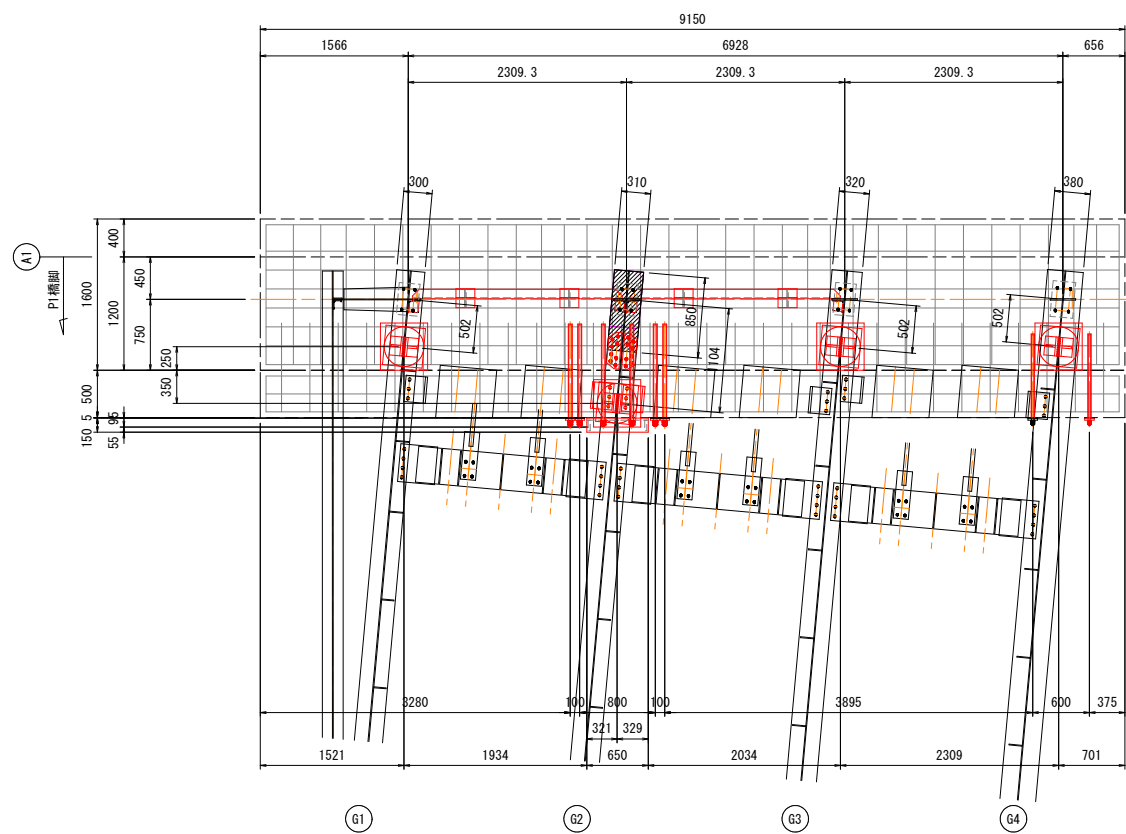
第1径間 撤去

A1橋台 G2桁

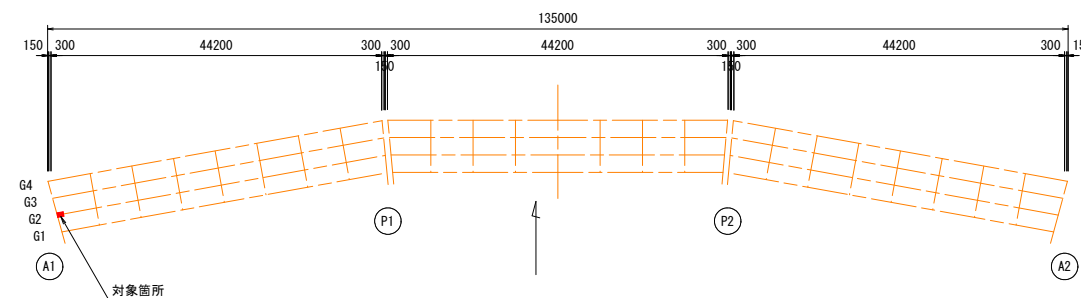
側面図



平面図



配置図



令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)		
図名	新黒坂橋 部材取替工 一般図(その1)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35	葉中の内	3
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

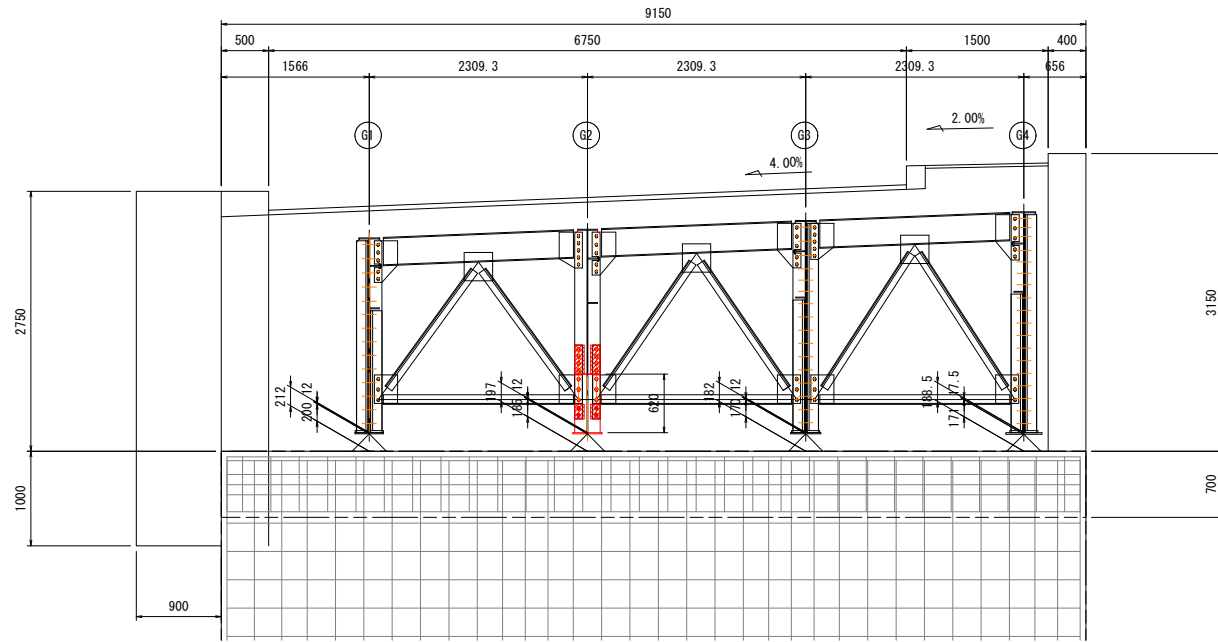
※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 部材取替工 一般図(その2)

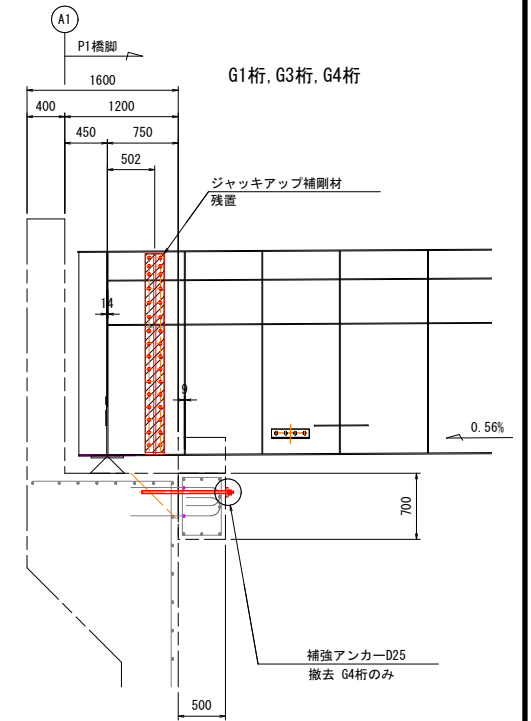
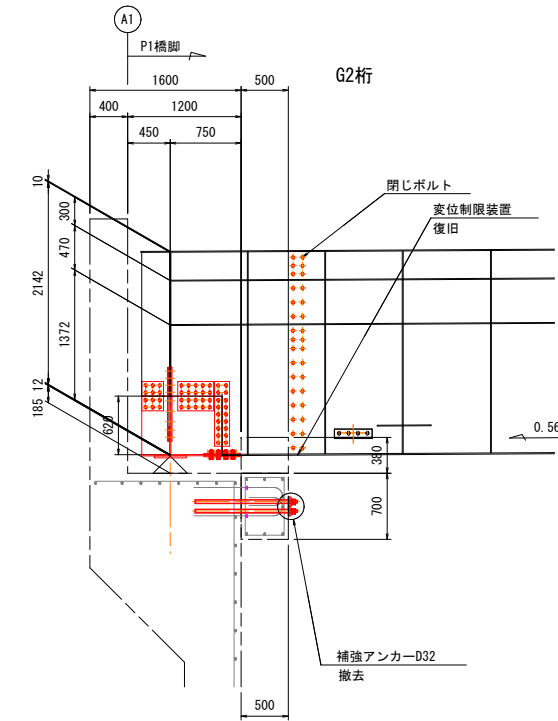
S=1:40

第1径間 復旧

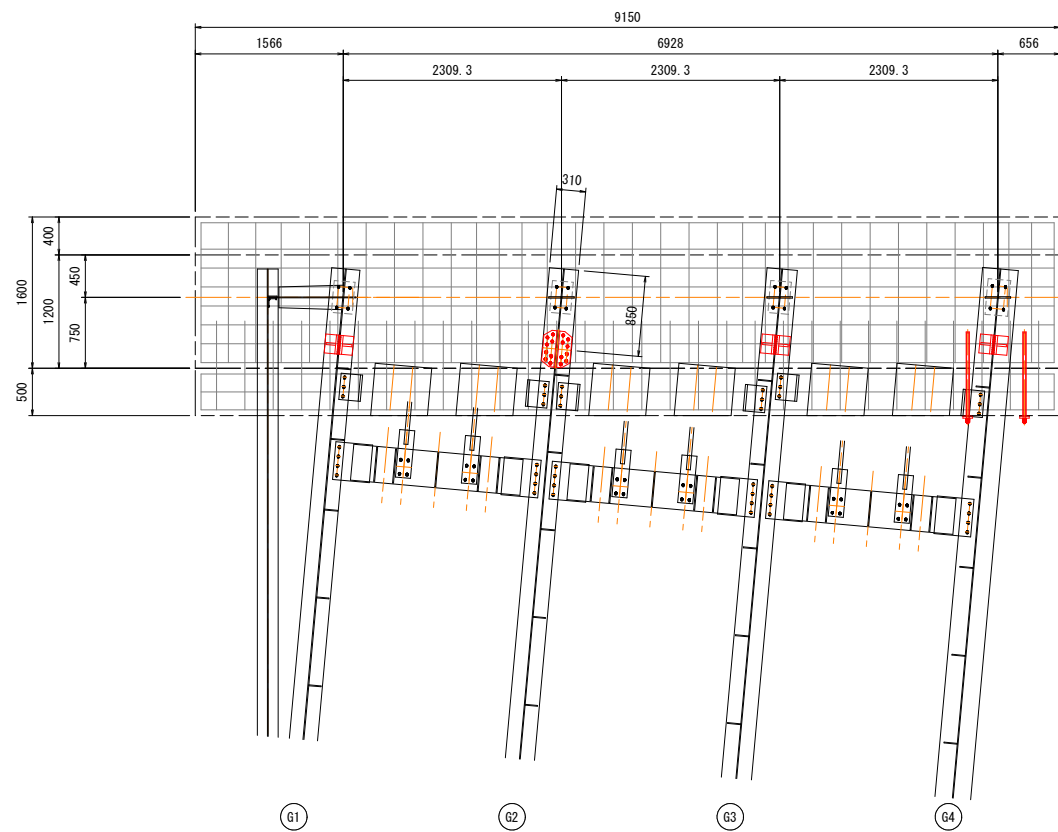
正面図



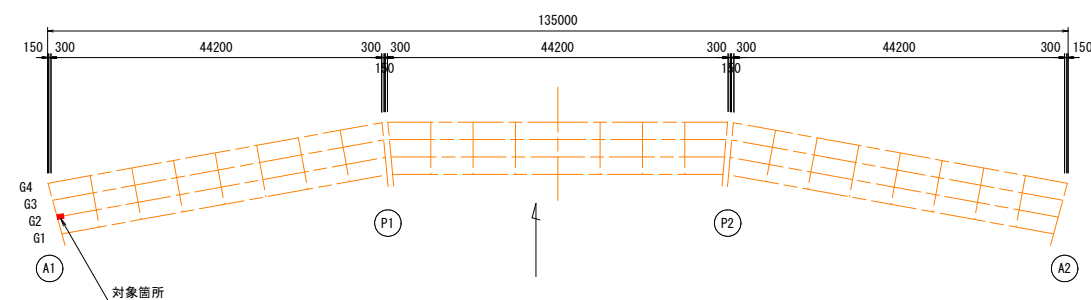
側面図



平面図



配置図



令和6年度 公共 起工

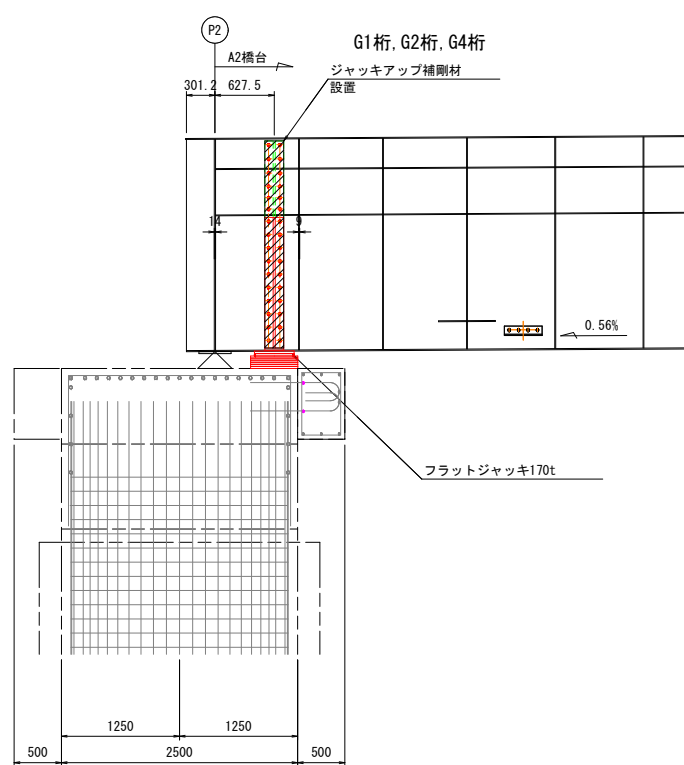
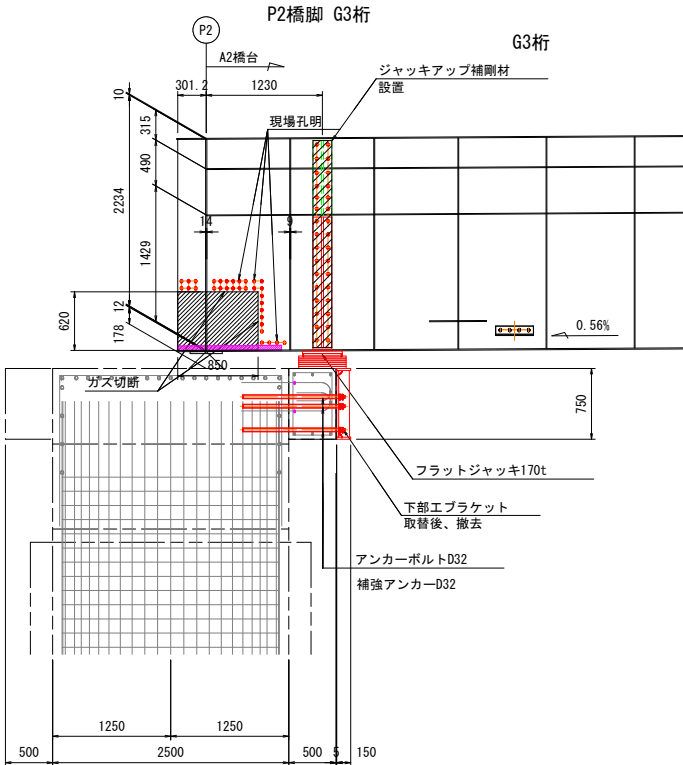
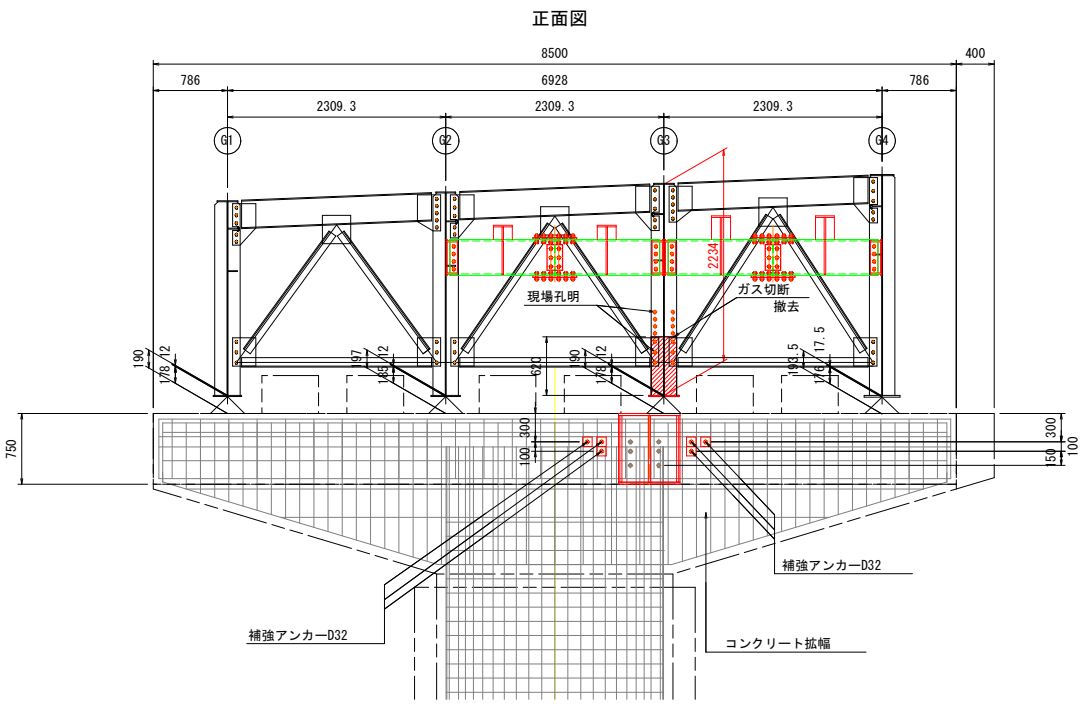
路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)		
図名	新黒坂橋 部材取替工 一般図(その2)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35 葉中の内 4		
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時: 表示縮尺×50%

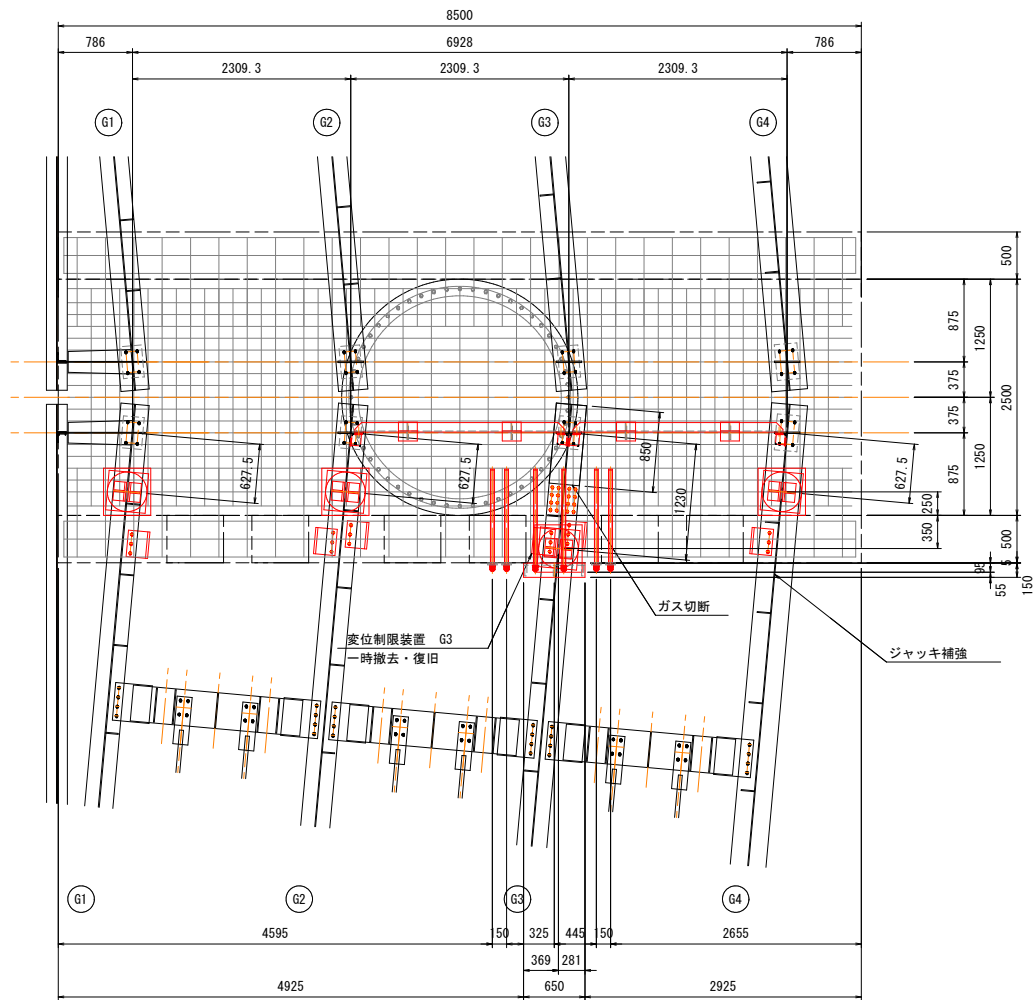
新黒坂橋 部材取替工 一般図(その3)

S=1:40

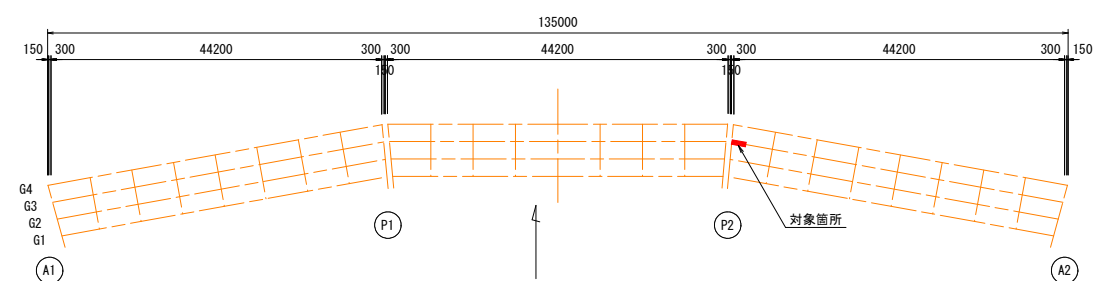
第3径間 撤去



平面図



配置図



令和6年度 公共 起工

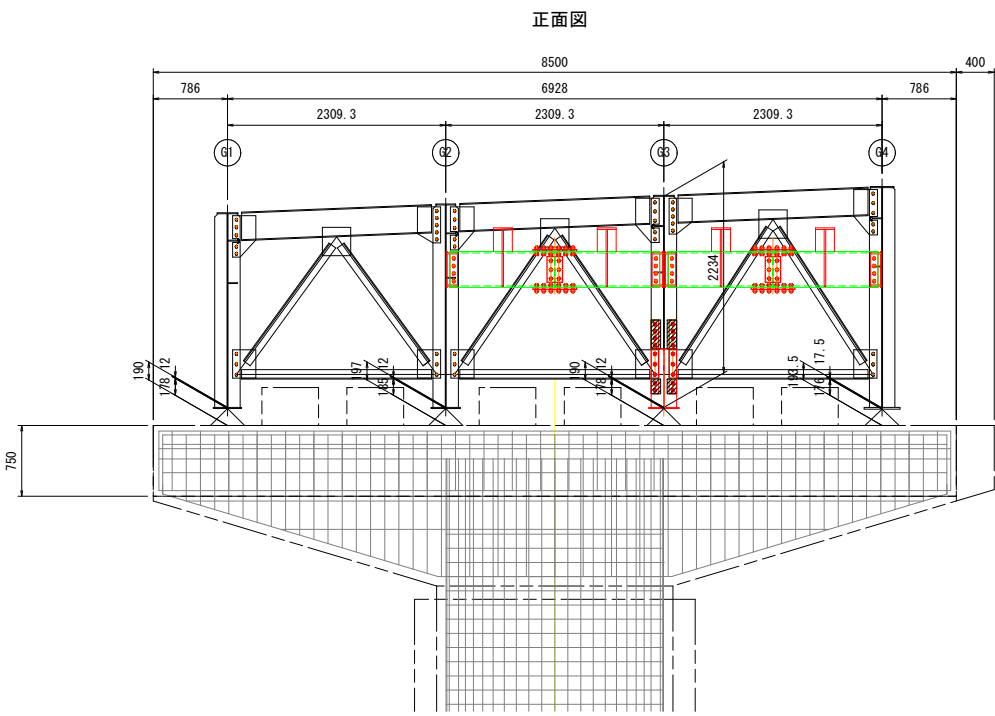
路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事 (2工区)(補助橋梁補修)		
図名	新黒坂橋 部材取替工 一般図(その3)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35 葉中の内 5		
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時：表示縮尺×50%

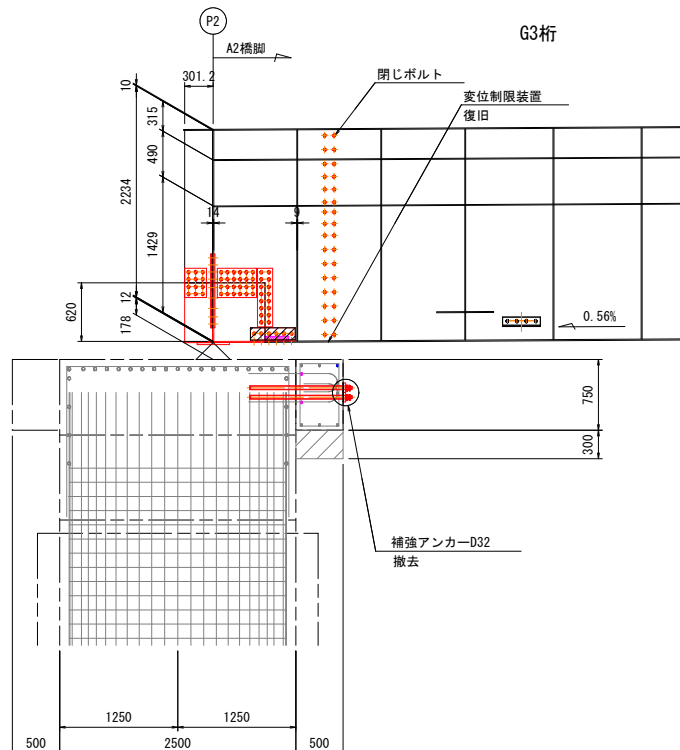
新黒坂橋 部材取替工 一般図(その4)

S=1:40

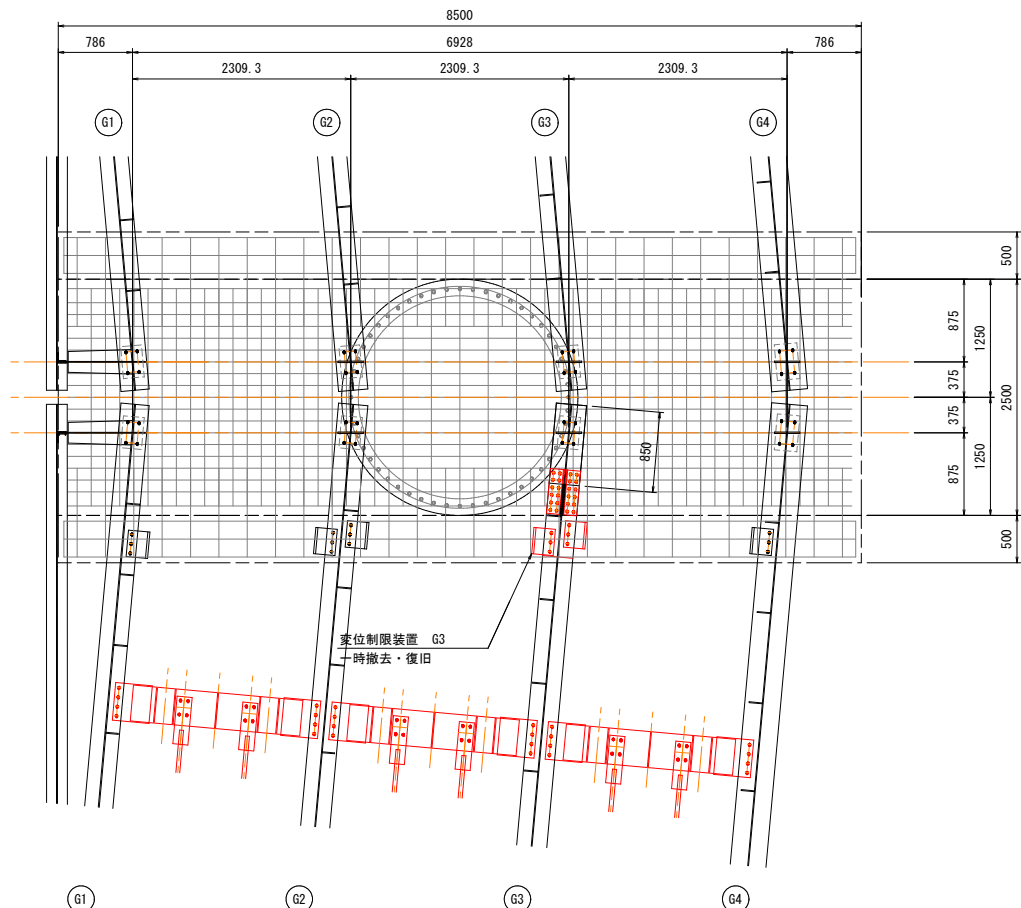
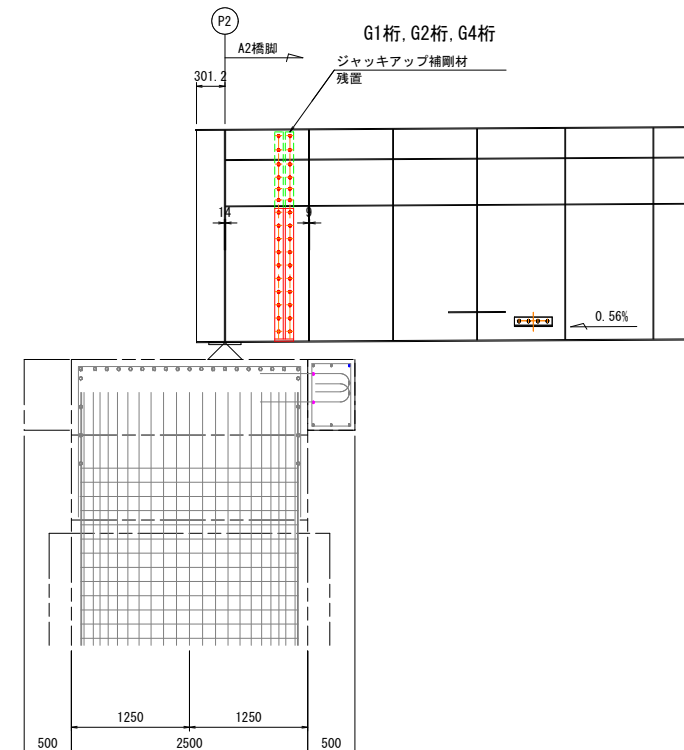
第3径間 復旧



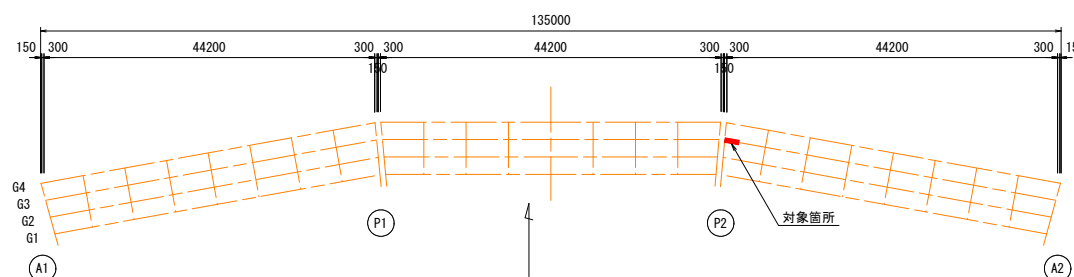
平面図



側面図



配置図



令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)		
図名	新黒坂橋 部材取替工 一般図(その4)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35 葉中の内 6		
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

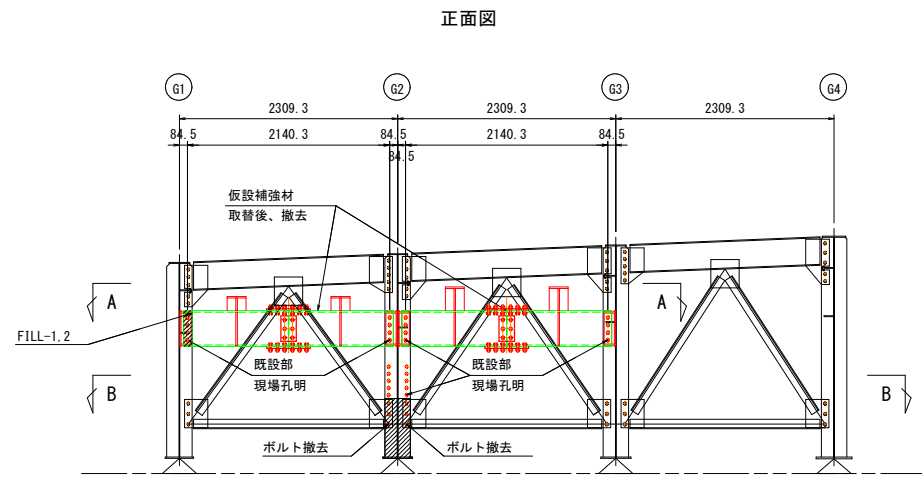
※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その1)

S=1:40

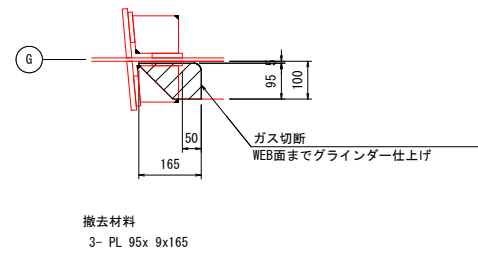
第1径間 撤去、補強要領図

A1橋台 G2桁

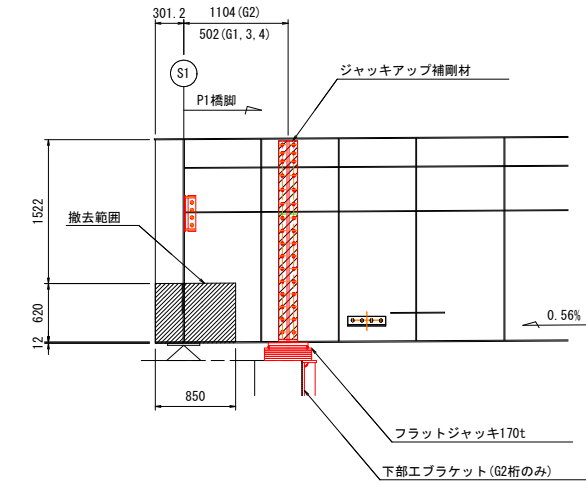


水平補剛材撤去要領

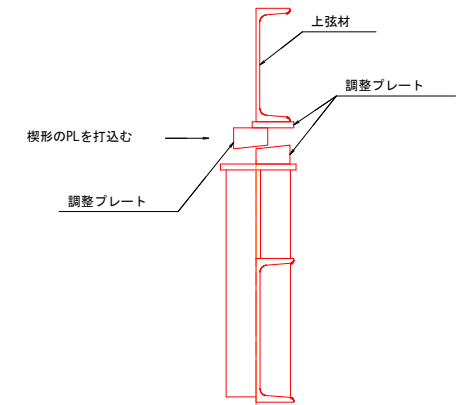
S=1:10



側面図 (Side View)

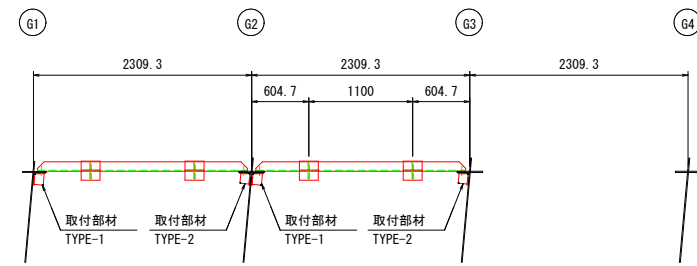


上弦材 支持要領

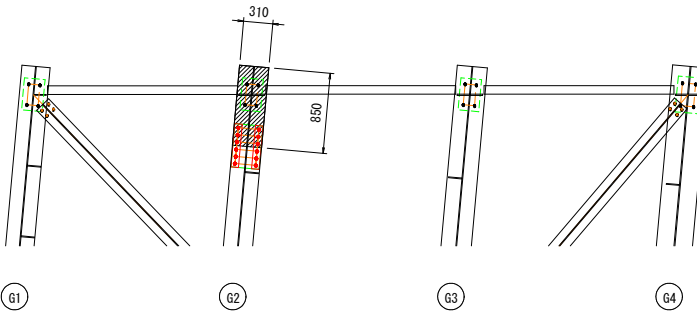


平面図 (Plan View)

A - A



B - B

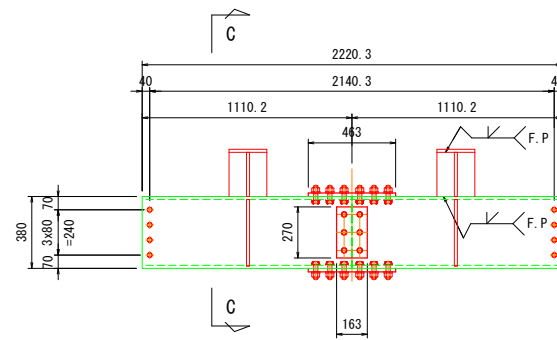


仮設補強詳細 (Temporary Reinforcement Details)

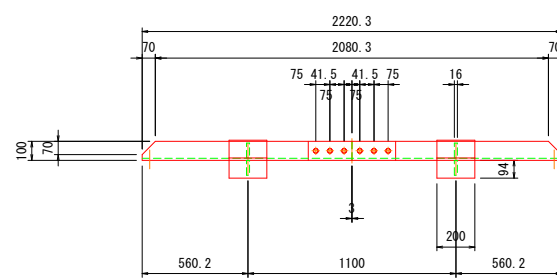
G2~G3 <G1~G2>

S=1:20

正面図 (Front View)

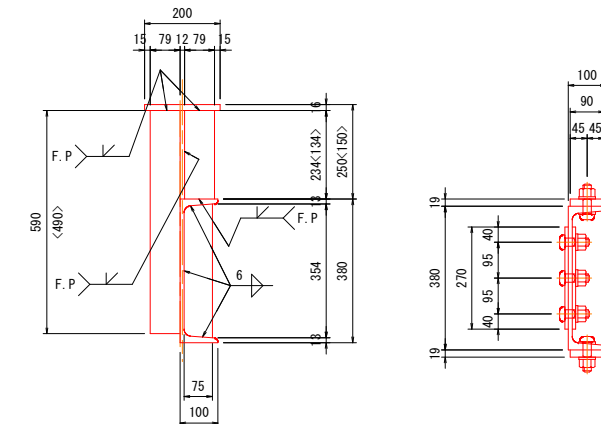


平面図 (Plan View)



C - C

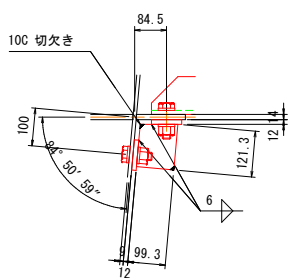
S=1:10



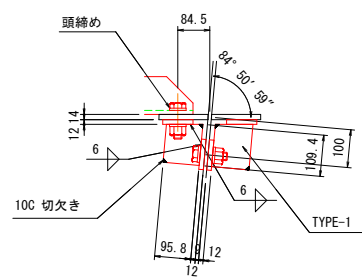
仮設補強 取付部詳細 (Temporary Reinforcement Attachment Details)

S=1:10

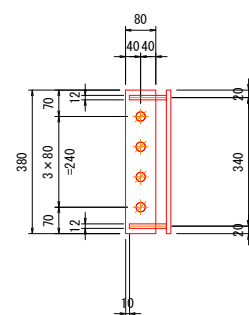
TYPE-1



TYPE-2



WEB側、支点上補剛材側 共通



- 仮設材料
- ◎ 4- [380x100x10.5x16x1111 (SS400)
 - ◎ 4- PL 200x16x200
 - ◎ 2- PL 200x12x134
 - ◎ 2- PL 200x12x234
 - ◎ 2- PL 79x16x590
 - ◎ 2- PL 79x16x490
 - ◎ 4- PL 75x16x354
 - ◎ 2- PL 79x16x134
 - ◎ 2- PL 79x16x234
 - ◎ 8-HTB M22x65 (F10T)
 - ◎ 4-HTB M22x75 (F10T)
 - ◎ 16-HTB M22x80 (F10T)

- 添接板 (製作数:2箇所)
- ◎ 2- SPL PL 163x 9x270 (SS400)
 - ◎ 2- SPL PL 90x19x463 (SS400)
 - ◎ 6- TCB M22x65 (S10T)
 - ◎ 12- TCB M22x70 (S10T)

- 撤去材料
- 1- PL 622x 9x850
 - 2- PL 130x14x620
 - 1- PL 310x12x850
 - 1- PL 220x22x340
 - 6- リベット φ22

- 撤去材料
- 4- [380x100x10.5x16x1111 (SS400)
 - 4- PL 200x16x200
 - 2- PL 200x12x134
 - 2- PL 200x12x234
 - 2- PL 79x16x590
 - 2- PL 79x16x490
 - 4- PL 75x16x354
 - 2- PL 79x16x134
 - 2- PL 79x16x234
 - 4-HTB M22x65 (F10T)
 - 4-HTB M22x75 (F10T)
 - 16-HTB M22x80 (F10T)

- 撤去材料 (撤去数:2箇所)
- 2- SPL PL 163x 9x270 (SS400)
 - 2- SPL PL 90x19x463 (SS400)
 - 6- TCB M22x65 (S10T)
 - 12- TCB M22x70 (S10T)

- 注 記
1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 2. 特記なきスカーップは、全て R50 とする。
 3. φは、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。
 4. φは、高力ボルト HTB M22 (F10T) を示す。
 5. 高力ボルトの孔明けは、新設部材はφ26.5、既設部材はφ24.5とする。
 6. ◎ 印の鋼材は、全て無塗装とする。
 7. ※ 印の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZ45とし、
ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZ35とする。
 8. 本図面は、施工図および既存資料より復元しているため、
部材寸法及び取付位置は、現地計測後、最終決定すること。
また、必要に応じて応力計算を行うこと。
 9. 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
() 印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。

令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事 (2工区)(補助橋梁補修)		
図名	新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その1)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35 葉中の内 7		
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野土整備局			

※A3出力時: 表示縮尺×50%

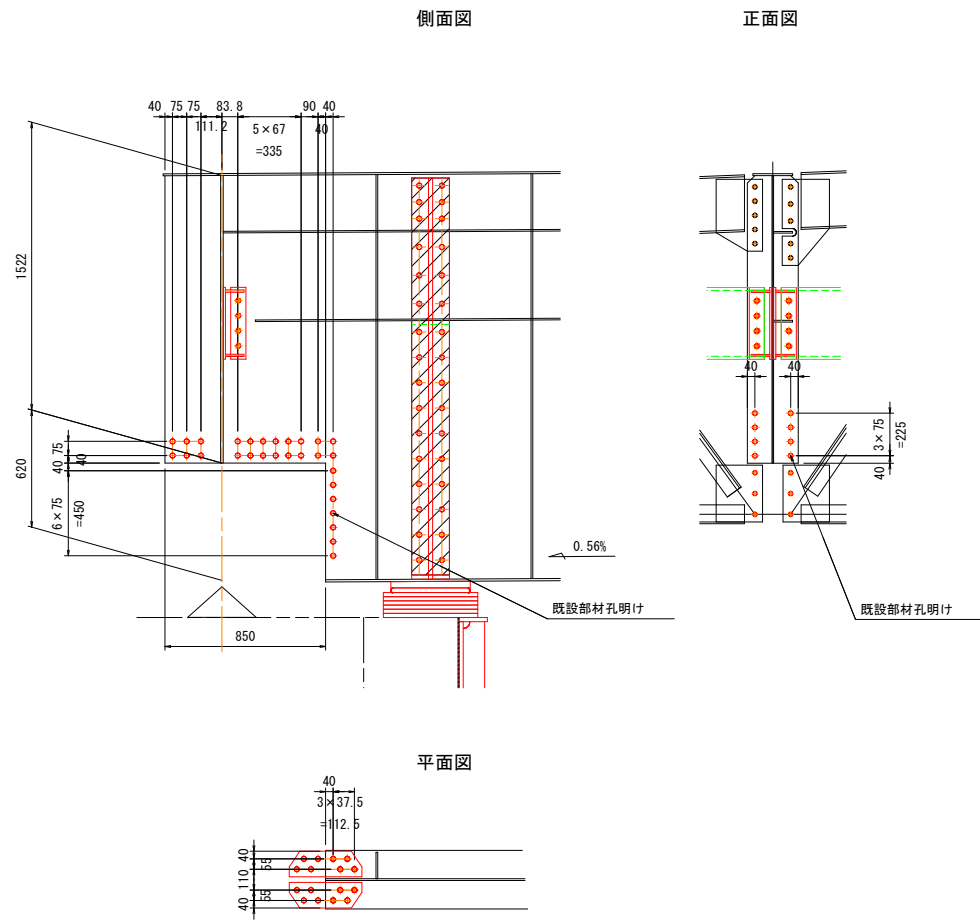
新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その2)

S=1:20

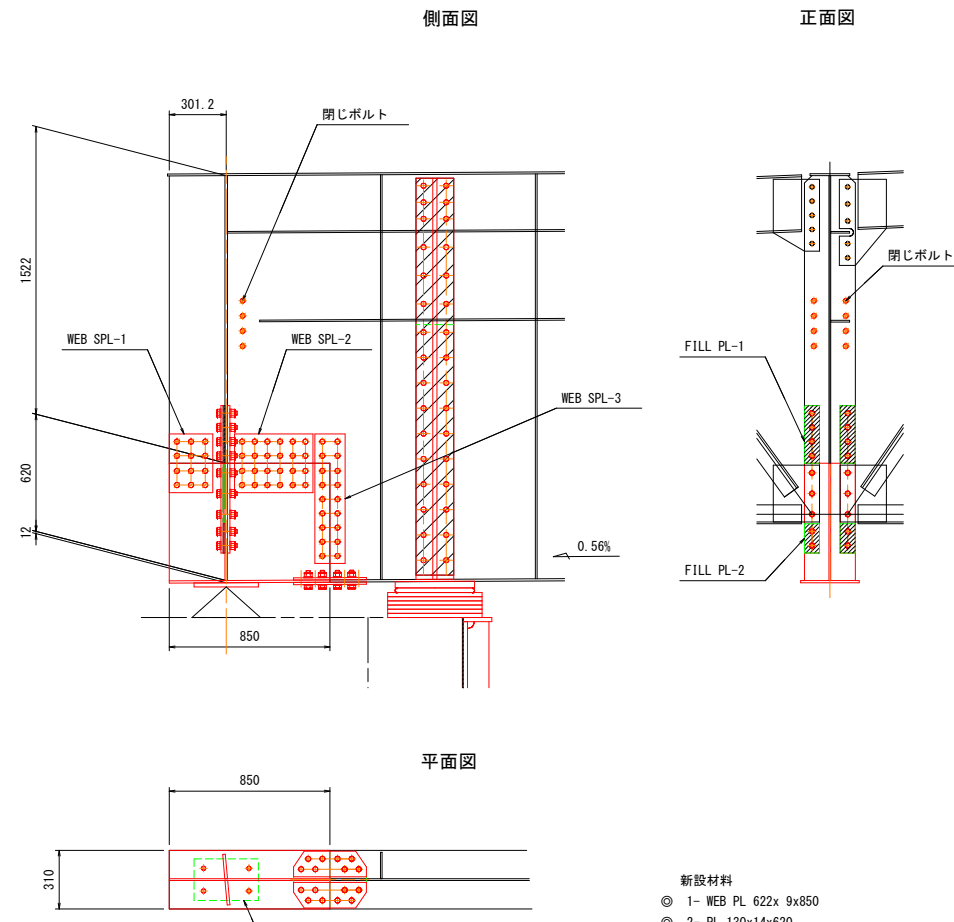
第1径間 撤去、補強要領図

A1橋台 G2桁

取付前詳細

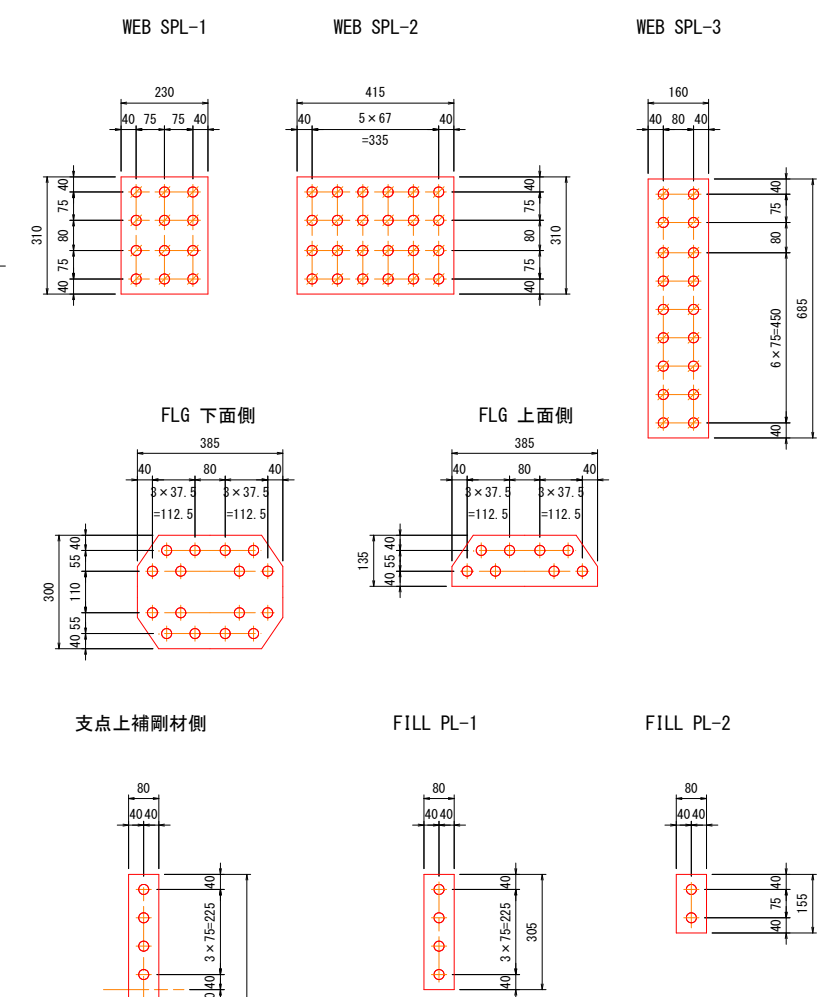


取付後詳細



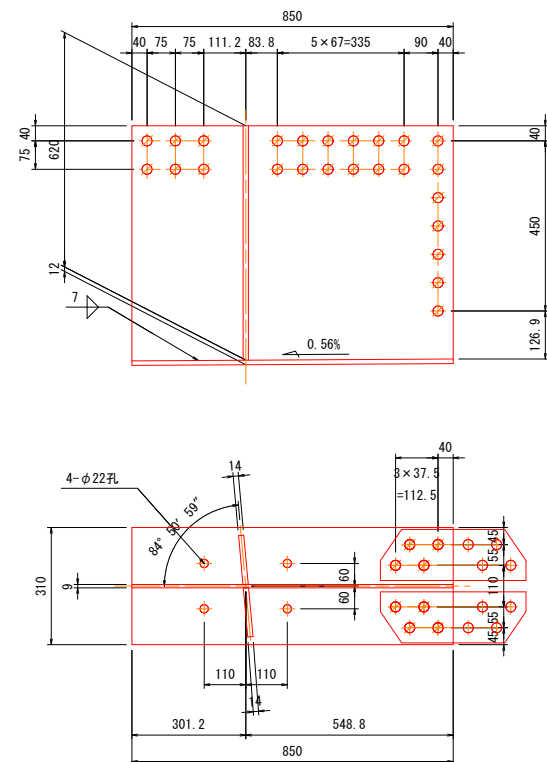
添接板詳細

S=1:10



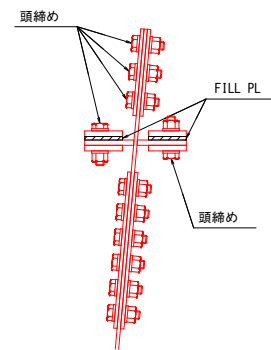
新設部材詳細

S=1:10



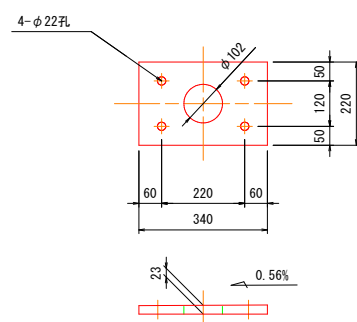
ボルト取付要領図

S=1:10



SOLE-PL 詳細

S=1:10



- 新設材料
- ◎ 1- WEB PL 622x 9x850
 - ◎ 2- PL 130x14x620
 - ◎ 1- FLG PL 310x12x850
 - ◎ 1-SOLE PL 220x25x340
- 添接板
- ◎ 2- SPL PL 230x 9x310 (SS400)
 - ◎ 2- SPL PL 310x 9x415 (SS400)
 - ◎ 2- SPL PL 160x 9x685 (SS400)
 - ◎ 54- HTB M22x70 (F10T)
 - ◎ 1- SPL PL 300x 9x385 (SS400)
 - ◎ 2- SPL PL 135x 9x385 (SS400)
 - ◎ 16- HTB M22x70 (F10T)
 - ◎ 4- SPL PL 80x 9x780 (SS400)
 - ◎ 2-FILL PL 80x 9x305 (SS400)
 - ◎ 2-FILL PL 80x 9x155 (SS400)
 - ◎ 18- HTB M22x85 (F10T)
- 閉じボルト
- ◎ 12- HTB M22x50 (F10T)
 - ◎ 16- HTB M22x55 (F10T)

注 記

- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
- 特記なきスカーラップは、全て R50 とする。
- φは、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。
- φは、高力ボルト HTB M22 (F10T) を示す。
- 高力ボルトの孔明けは、新設部材はφ26.5、既設部材はφ24.5とする。
- ◎ 印の鋼材は、全て無塗装とする。
- ◎ 印の鋼材は、全て溶融垂れつきとする。
垂れ付きの付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZ45とし、
ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZ35とする。
- 本図面は、施工図および既存資料より復元しているため、
部材寸法及び取付位置は、現地計測後、最終決定すること。
また、必要に応じて応力計算を行うこと。
- 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
()印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。

令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号		
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事 (2工区)(補助橋梁補修)			
図名	新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その2)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35 葉中の内 8		
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その3)

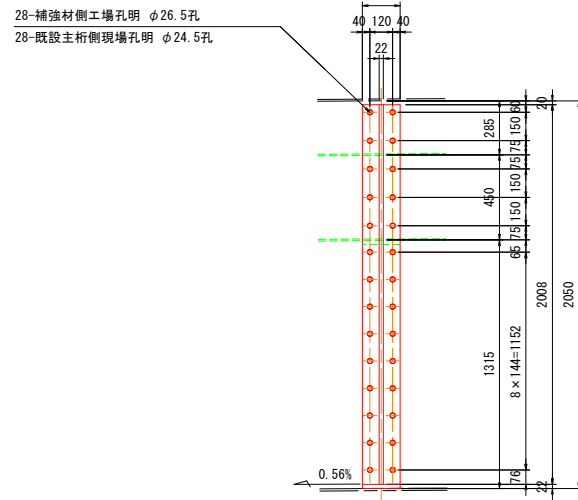
S=1:20

第1径間 ジャッキアップ補剛材 詳細

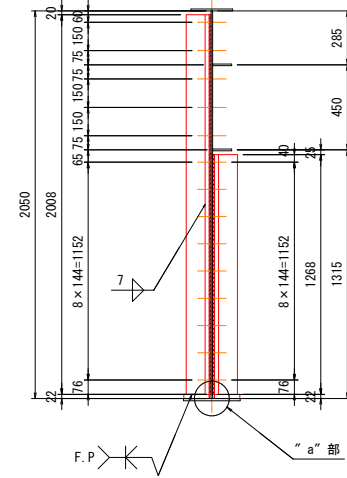
A1橋台 G1桁, G2桁

G1桁

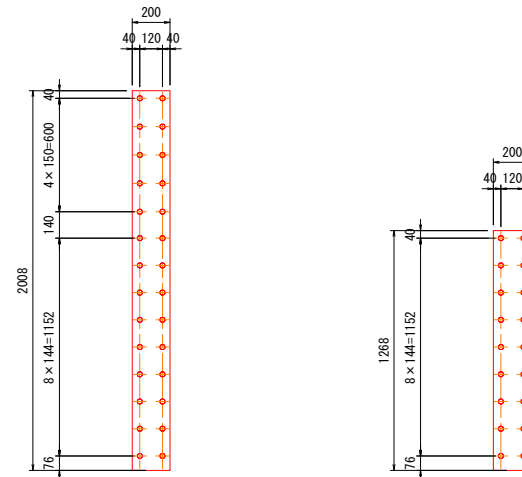
側面図



断面図

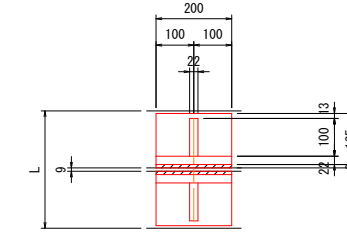


FILL-PL詳細



平面図

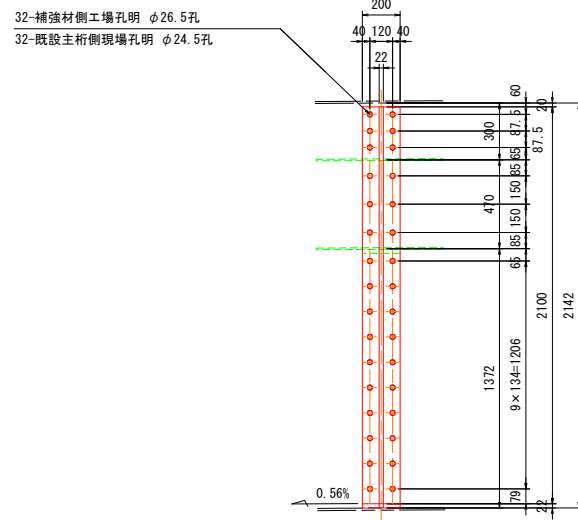
S=1:10



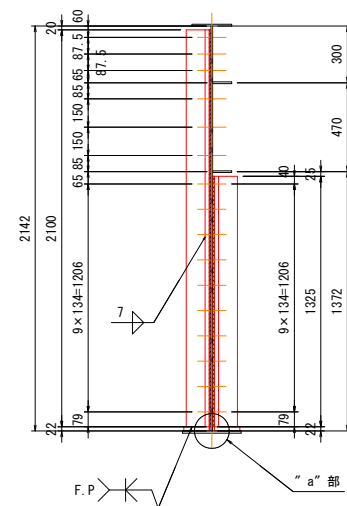
	G1	G2	G3	G4
L	300	310	320	380

G2桁

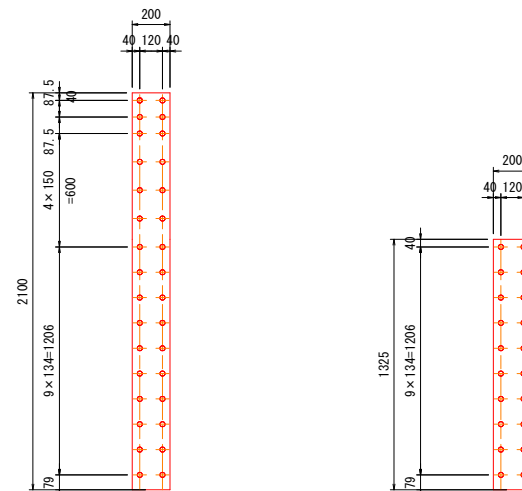
側面図



断面図

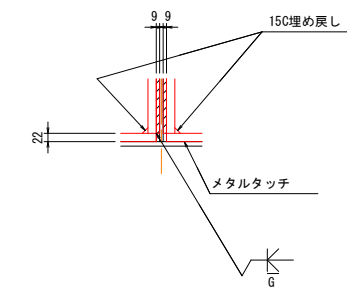


FILL-PL詳細



"a"部詳細

S=1:10



注記

- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
- 特記なきスカーラップは、全て R50 とする。
- φは、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。
- φは、高力ボルト HTB M22 (F10T) を示す。
- 高力ボルトの孔明けは、新設部材はφ26.5、既設部材はφ24.5とする。
- ◎ 印の鋼材は、全て無塗装とする。
- ※ 印の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZ45とし、
ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZ35とする。
- 本図面は、施工図および既存資料より復元しているため、
部材寸法及び取付位置は、現地計測後、最終決定すること。
また、必要に応じて応力計算を行うこと。
- 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
()印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。

令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事 (2工区)(補助橋梁補修)	
図名	新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その3)
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 35 葉中の内 9
令和 6 年度施行	
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

※A3出力時：表示縮尺×50%

- 仮設材料(製作数:1箇所)
- ◎ 1-PL 200x22x2009
 - 1-PL 100x22x2008
 - ◎ 1-PL 200x22x1269
 - 1-PL 100x22x1268
 - ◎ 2-PL 135x22x200
 - ◎ 1-FILL PL 200x9x2009(SS400)
 - ◎ 1-FILL PL 200x9x1269(SS400)
 - ◎ 28-TCB M22x110(S10T)

- 仮設材料(製作数:1箇所)
- ◎ 1-PL 200x22x2101
 - 1-PL 100x22x2100
 - ◎ 1-PL 200x22x1326
 - 1-PL 100x22x1325
 - ◎ 2-PL 135x22x200
 - ◎ 1-FILL PL 200x9x2101(SS400)
 - ◎ 1-FILL PL 200x9x1326(SS400)
 - ◎ 32-TCB M22x110(S10T)

- 撤去材料(製作数:1箇所)
- 1-PL 200x22x2101
 - 1-PL 100x22x2100
 - 1-PL 200x22x1326
 - 1-PL 100x22x1325
 - 2-PL 135x22x200
 - 1-FILL PL 200x9x2101(SS400)
 - 1-FILL PL 200x9x1326(SS400)
 - 32-TCB M22x110(S10T)

閉じボルト
32-TCB M22x45(S10T)

新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その4)

S=1:20

第1径間 ジャッキアップ補剛材 詳細

A1橋台 G3桁, G4桁

G3桁

側面図

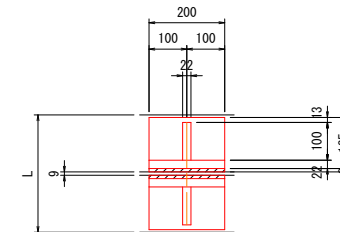
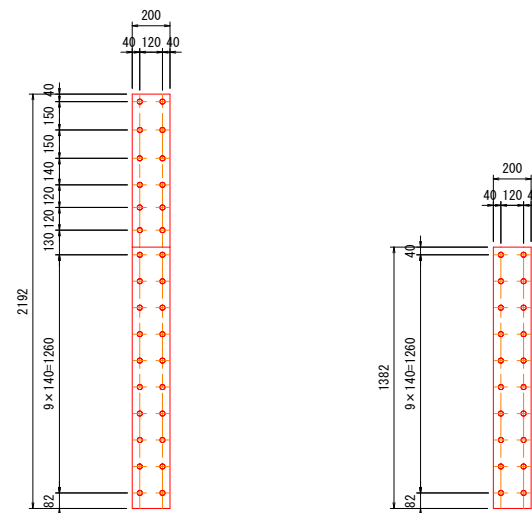
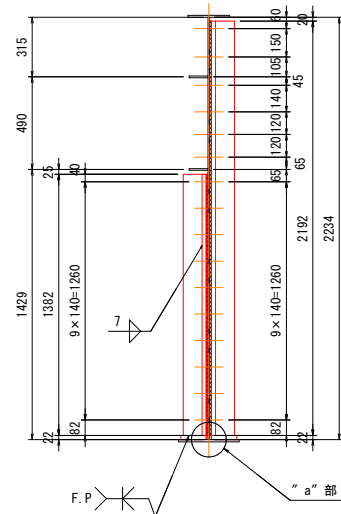
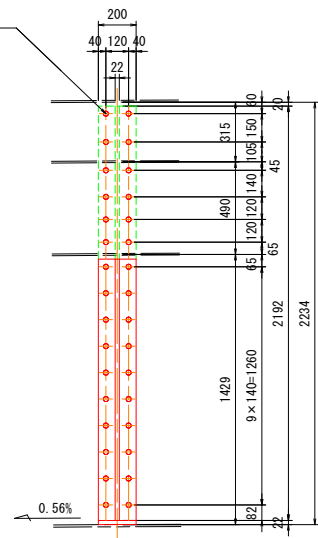
断面図

FILL-PL詳細

平面図

S=1:10

32-補強材側工場孔明 φ26.5孔
32-既設主桁側現場孔明 φ24.5孔



	G1	G2	G3	G4
L	300	310	320	380

- 仮設材料 (製作数: 1箇所)
 ◎ 1-PL 200x22x2193
 1-PL 100x22x2192
 ◎ 1-PL 200x22x1383
 1-PL 100x22x1382
 ◎ 2-PL 135x22x200
 ◎ 1-FILL PL 200x9x2193 (SS400)
 ◎ 1-FILL PL 200x9x1383 (SS400)
 ◎ 32-TCB M22x110 (S10T)

G4桁

側面図

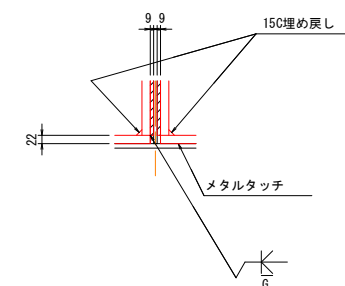
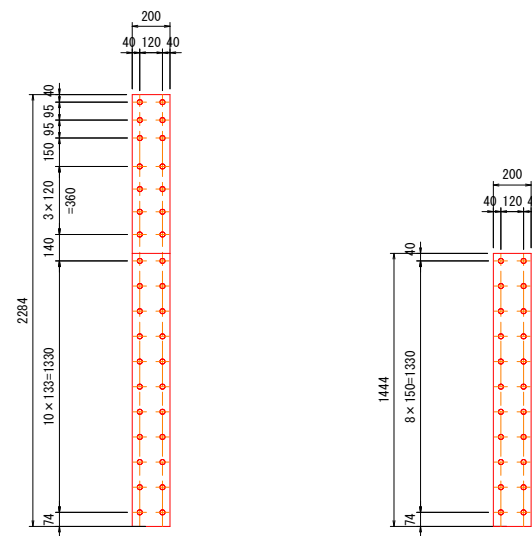
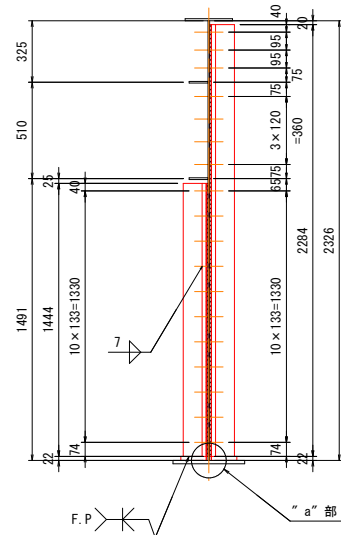
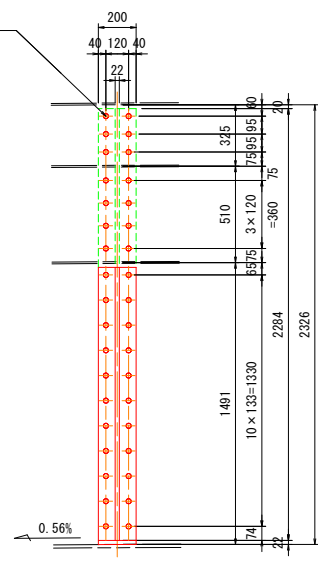
断面図

FILL-PL詳細

"a"部詳細

S=1:10

36-補強材側工場孔明 φ26.5孔
36-既設主桁側現場孔明 φ24.5孔



- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R50 とする。
 - ◎は、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。
 - ◎は、高力ボルト HTB M22 (F10T) を示す。
 - 高力ボルトの孔明けは、新設部材はφ26.5、既設部材はφ24.5とする。
 - ◎印の鋼材は、全て無塗装とする。
 - ※印の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZ45とし、
ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZ35とする。
 - 本図面は、施工図および既存資料より復元しているため、
部材寸法及び取付位置は、現地計測後、最終決定すること。
また、必要に応じて応力計算を行うこと。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
()印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。

- 仮設材料 (製作数: 1箇所)
 ◎ 1-PL 200x22x2285
 1-PL 100x22x2284
 ◎ 1-PL 200x22x1445
 1-PL 100x22x1444
 ◎ 2-PL 135x22x200
 ◎ 1-FILL PL 200x9x2285 (SS400)
 ◎ 1-FILL PL 200x9x1445 (SS400)
 ◎ 36-TCB M22x110 (S10T)

令和6年度 公共 起工			
路線名	国道180号		
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)			
図名	新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その4)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35 葉中の内 10		
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

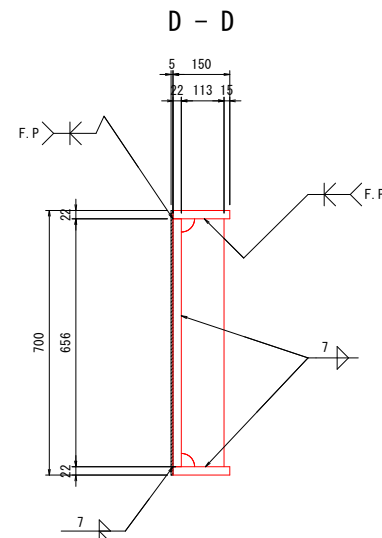
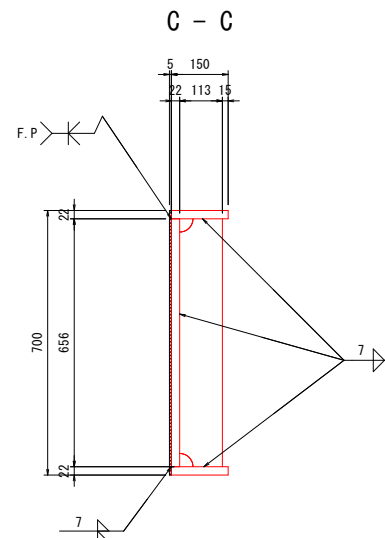
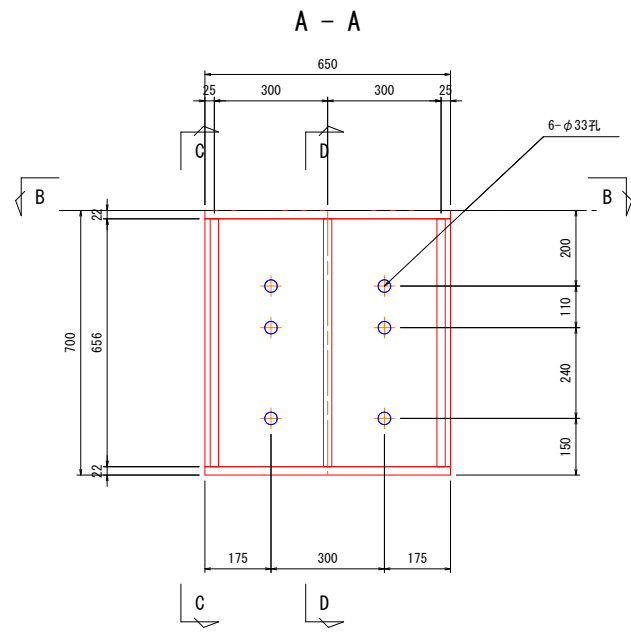
※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その5)

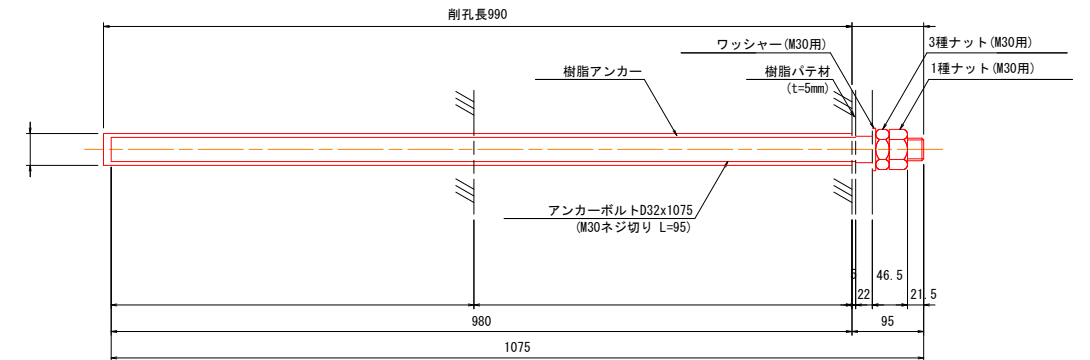
S=1:10

第1径間 鋼製ブラケット、補強アンカー 詳細

A1橋台



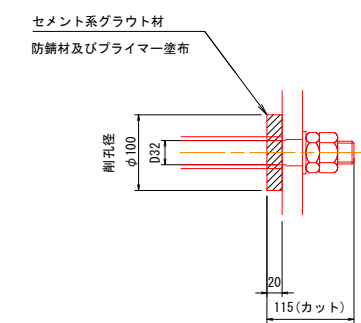
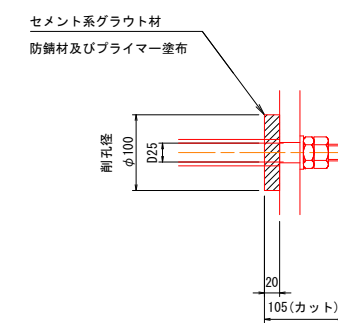
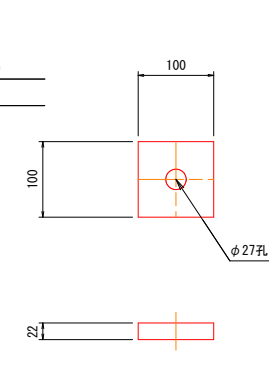
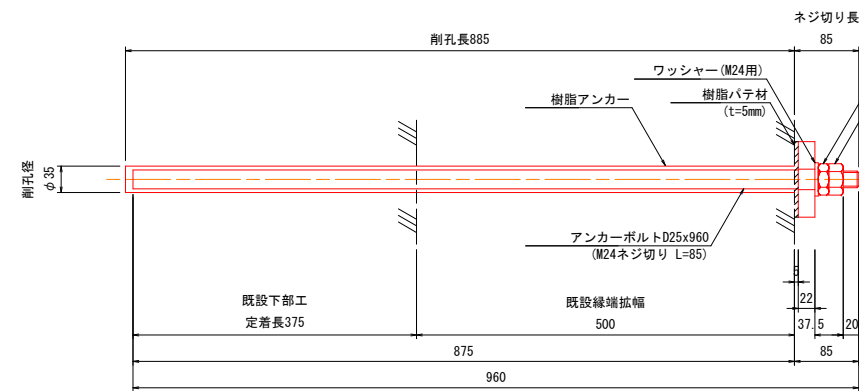
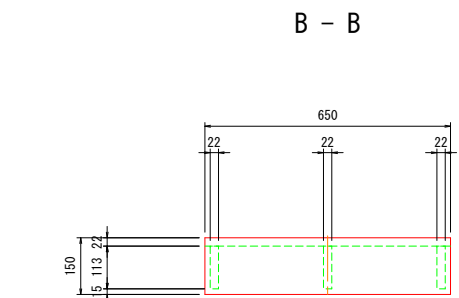
アンカーボルト詳細 S=1:5



補強アンカーボルト詳細 S=1:5

BASE PL詳細 S=1:5

アンカーボルト撤去 詳細図 S=1:5

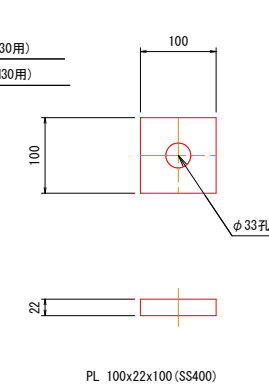
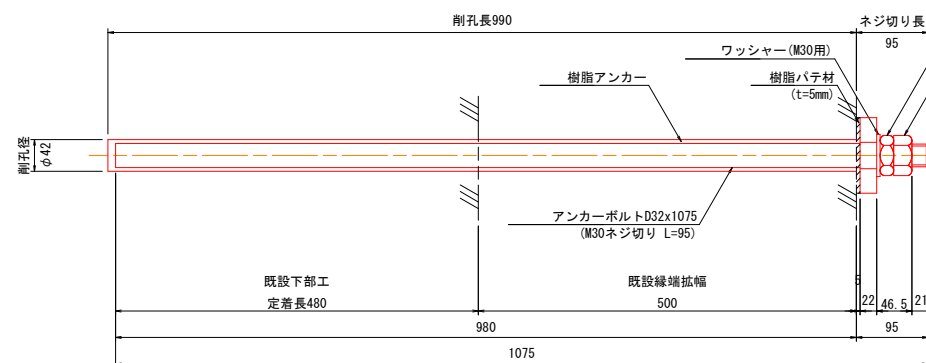


- | | |
|--|--|
| 仮設材料
2- FLG PL 150x22x650
1-BASE PL 650x22x656
3- RIB PL 113x22x656
6-ANC BT D32x1075 (SD345)
6-NUT M30 (1種) (SS400)
6-NUT M30 (3種) (SS400)
6-WASHER M30 (SS400) | 撤去材料
2- FLG PL 150x22x650
1-BASE PL 650x22x656
3- RIB PL 113x22x656
6-ANC BT D32x115 (SD345)
6-ANC BT D32x1075 (SD345)
6-NUT M30 (1種) (SS400)
6-NUT M30 (3種) (SS400)
6-WASHER M30 (SS400) |
|--|--|

- | | |
|--|--|
| 仮設材料 (G4桁)
2-ANC BT D25x960 (SD345)
2-NUT M24 (1種) (SS400)
2-NUT M24 (3種) (SS400)
2-WASHER M24 (SS400)
2-PL 100x22x100 (SS400) | 撤去材料 (G4桁)
2-ANC BT D25x105 (SD345)
2-NUT M24 (1種) (SS400)
2-NUT M24 (3種) (SS400)
2-WASHER M24 (SS400)
2-PL 100x22x100 (SS400) |
|--|--|

補強アンカーボルト詳細 S=1:5

BASE PL詳細 S=1:5



- | | |
|---|--|
| 仮設材料 (G2桁)
4-ANC BT D32x1075 (SD345)
4-NUT M30 (1種) (SS400)
4-NUT M30 (3種) (SS400)
4-WASHER M30 (SS400)
4-PL 100x22x100 (SS400) | 撤去材料 (G2桁)
4-ANC BT D32x115 (SD345)
4-NUT M30 (1種) (SS400)
4-NUT M30 (3種) (SS400)
4-WASHER M30 (SS400)
4-PL 100x22x100 (SS400) |
|---|--|

- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R50 とする。
 - φは、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。
 - φは、高力ボルト HTB M22 (F10T) を示す。
 - 高力ボルトの孔明けは、新設部材はφ26.5、既設部材はφ24.5とする。
 - ◎ 印の鋼材は、全て無塗装とする。
 - ※ 印の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZ45とし、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZ35とする。
 - 本図面は、施工図および既存資料より復元しているため、部材寸法及び取付位置は、現地計測後、最終決定すること。また、必要に応じて応力計算を行うこと。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
() 印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。

令和6年度 公共 起工			
路線名	国道180号		
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)			
図名	新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その5)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35 葉中の内 11		
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

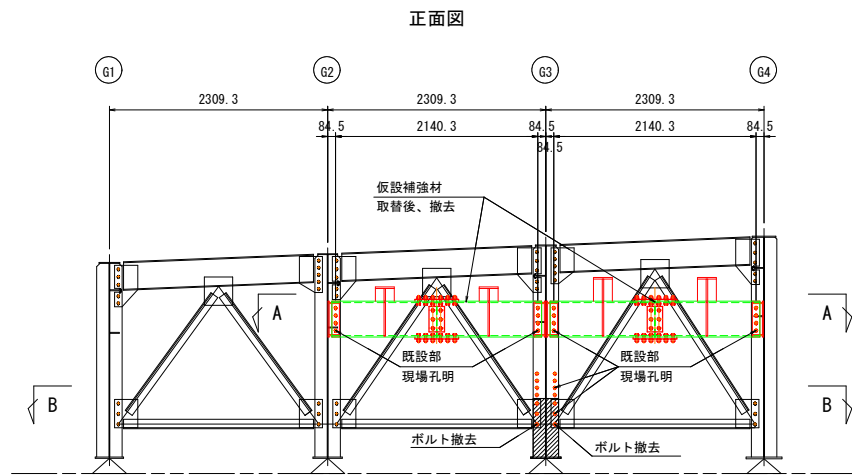
※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その6)

S=1:40

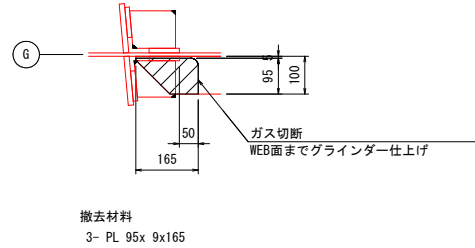
第3径間 撤去、補強要領図

P2橋脚 G3桁

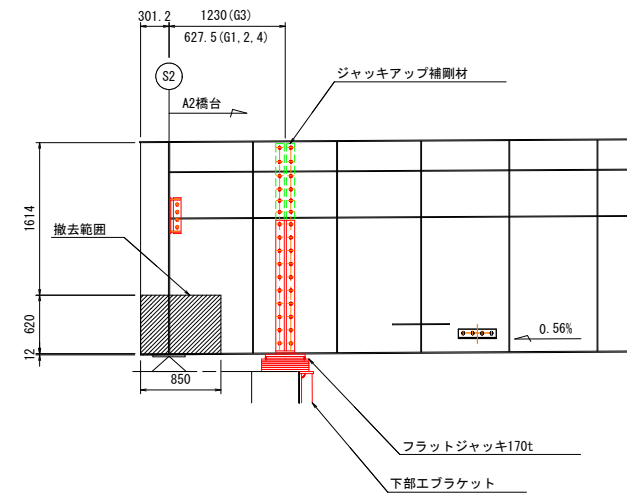


水平補剛材撤去要領

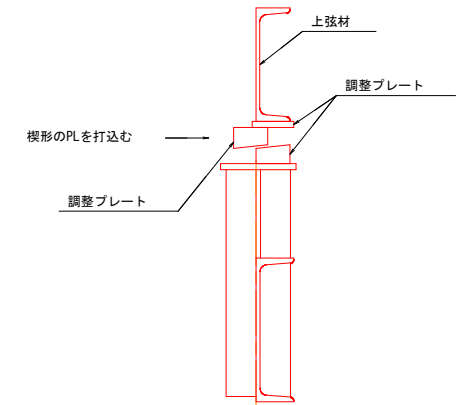
S=1:10



側面図 (Side View)

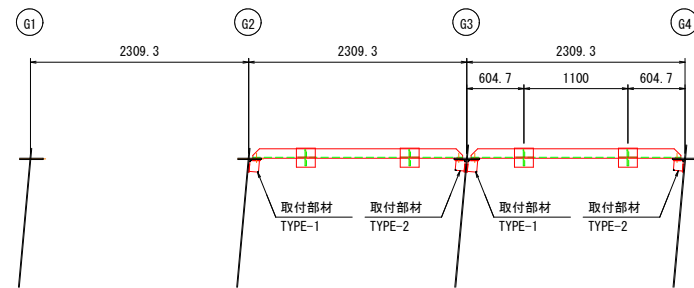


上弦材 支持要領



平面図 (Plan View)

A - A

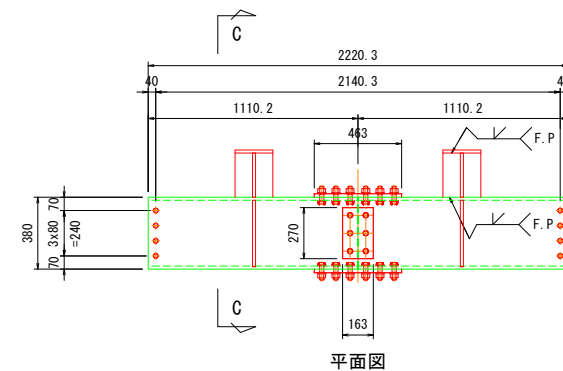


仮設補強詳細

G3~G4 <G2~G3>

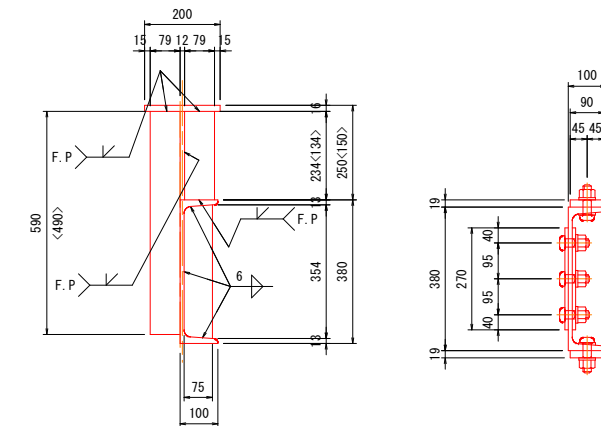
S=1:20

正面図 (Front View)



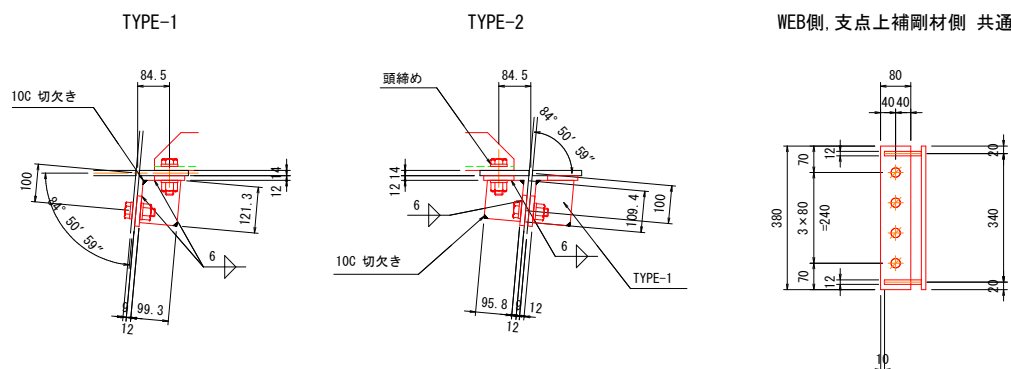
C - C

S=1:10



仮設補強 取付部詳細

S=1:10



- 仮設材料
- ◎ 4- [380x100x10.5x16x1111 (SS400)
 - ◎ 4- PL 200x16x200
 - ◎ 2- PL 200x12x134
 - ◎ 2- PL 200x12x234
 - ◎ 2- PL 79x16x590
 - ◎ 2- PL 79x16x490
 - ◎ 4- PL 75x16x354
 - ◎ 2- PL 79x16x134
 - ◎ 2- PL 79x16x234
 - ◎ 8-HTB M22x65
 - ◎ 4-HTB M22x75
 - ◎ 16-HTB M22x80
- 添接板 (製作数: 2箇所)
- ◎ 2- SPL PL 163x 9x270 (SS400)
 - ◎ 2- SPL PL 90x19x463 (SS400)
 - ◎ 6- TCB M22x65 (S10T)
 - ◎ 12- TCB M22x70 (S10T)

- 撤去材料
- 1- PL 620x 9x850
 - 2- PL 130x14x620
 - 1- PL 320x12x850
 - 1- PL 220x22x340
 - 6- リベット φ22
- 撤去材料
- 4- [380x100x10.5x16x1111 (SS400)
 - 4- PL 200x16x200
 - 2- PL 200x12x134
 - 2- PL 200x12x234
 - 2- PL 79x16x590
 - 2- PL 79x16x490
 - 4- PL 75x16x354
 - 2- PL 79x16x134
 - 2- PL 79x16x234
 - 8-HTB M22x65
 - 4-HTB M22x75
 - 16-HTB M22x80

- 撤去材料 (撤去数: 2箇所)
- 2- SPL PL 163x 9x270 (SS400)
 - 2- SPL PL 90x19x463 (SS400)
 - 6- TCB M22x65 (S10T)
 - 12- TCB M22x70 (S10T)

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーップは、全て R50 とする。
 - φは、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。
 - Φは、高力ボルト HTB M22 (F10T) を示す。
 - 高力ボルトの孔明けは、新設部材はφ26.5、既設部材はφ24.5とする。
 - ◎ 印の鋼材は、全て無塗装とする。
 - ※ 印の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZ45とし、
ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZ35とする。
 - 本図面は、施工図および既存資料より復元しているため、
部材寸法及び取付位置は、現地計測後、最終決定すること。
また、必要に応じて応力計算を行うこと。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
() 印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。

令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号		
位置	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)		
図名	新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その6)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅	縮尺	図示 単位 mm
図号	全 35 葉中の内 12	縮尺	単位 mm
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時: 表示縮尺×50%

新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その7)

S=1:20

第3径間 撤去、補強要領図

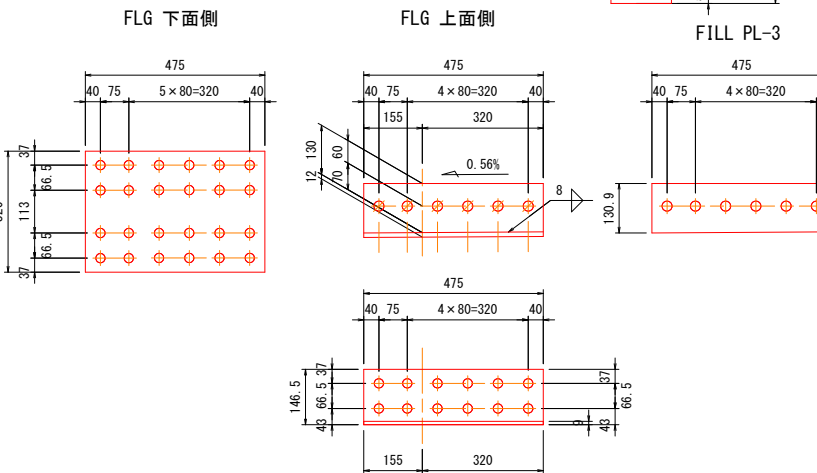
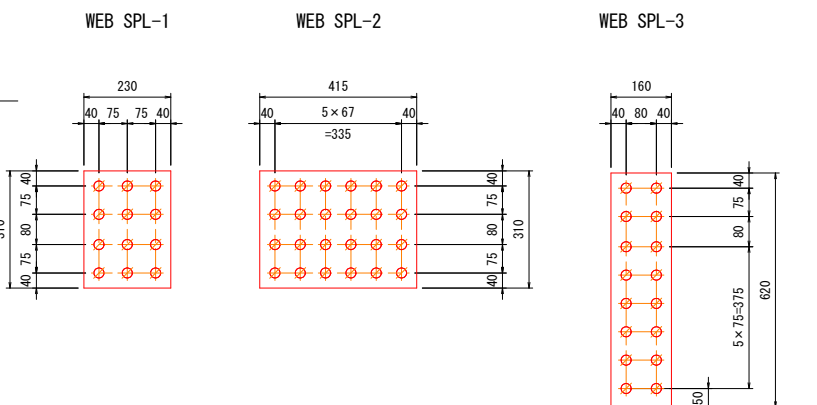
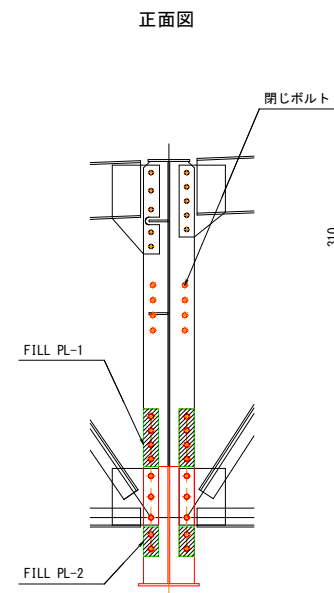
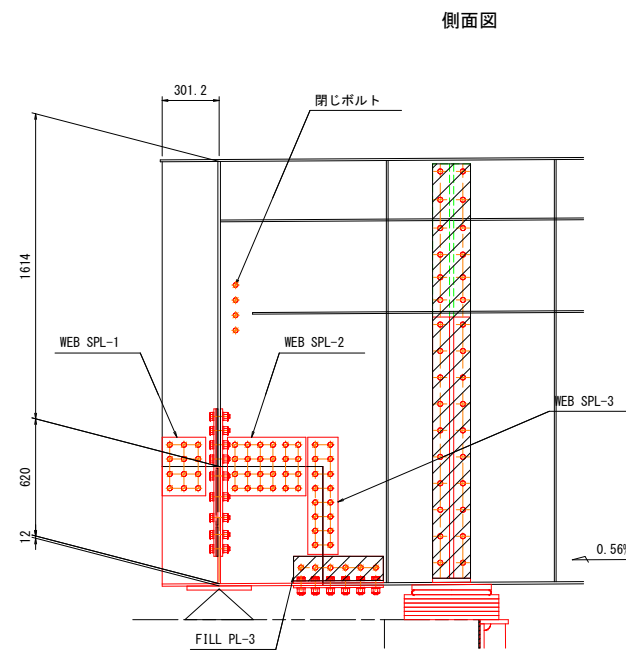
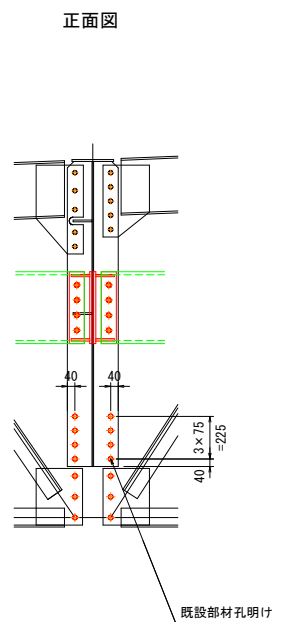
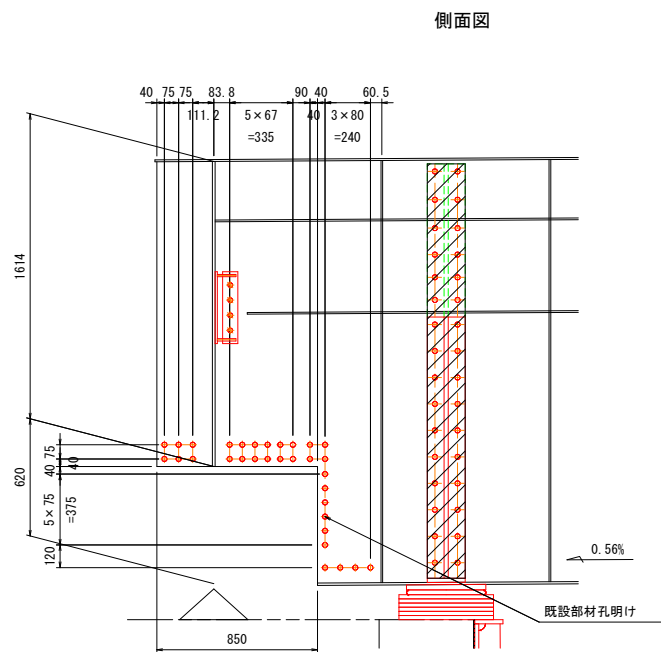
P2橋脚 G3桁

取付前詳細

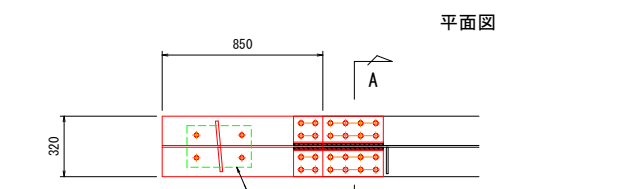
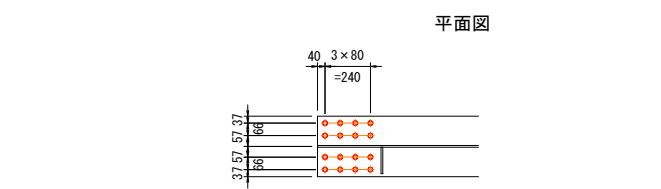
取付後詳細

添接板詳細

S=1:10



支点上補剛材側 FILL PL-1 FILL PL-2

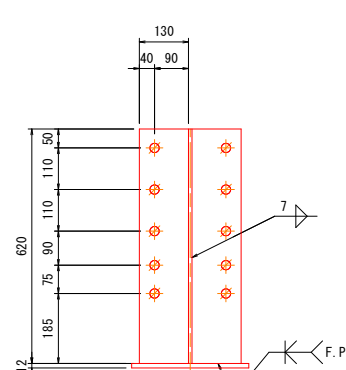
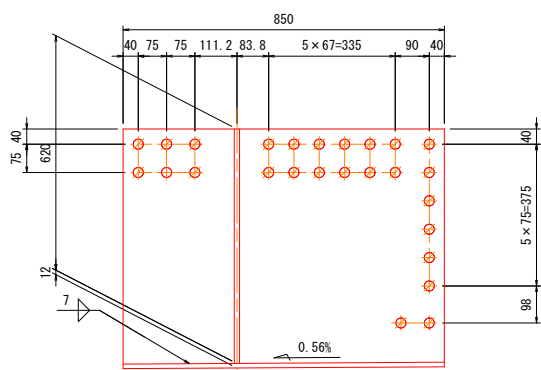


新設部材詳細

S=1:10

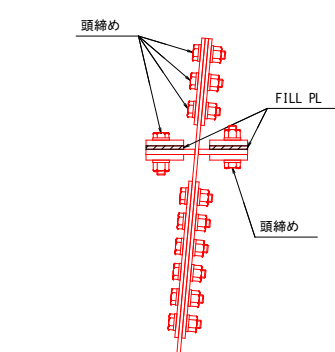
ボルト取付要領図

S=1:10



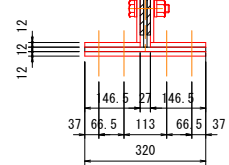
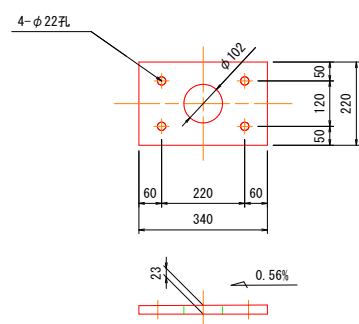
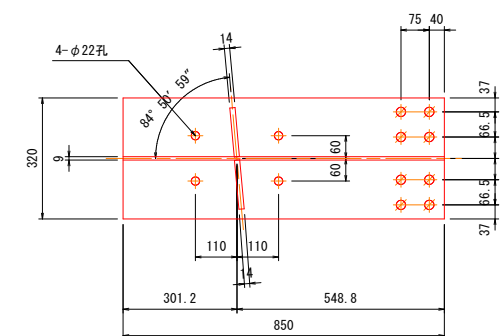
SOLE-PL 詳細

S=1:10



A - A

S=1:10



- 新設材料
- ① WEB PL 622x 9x850
 - ② PL 130x14x620
 - ③ FLG PL 320x12x850
 - ④ SOLE PL 220x25x340

- 添接板
- ① SPL PL 230x 9x310 (SS400)
 - ② SPL PL 310x 9x415 (SS400)
 - ③ SPL PL 160x 9x620 (SS400)
 - ④ HTB M22x70 (F10T)
 - ⑤ SPL PL 320x 9x475 (SS400)
 - ⑥ SPL PL 147x 9x475
 - ⑦ SPL PL 131x 9x475
 - ⑧ FILL PL 131x 9x475 (SS400)
 - ⑨ HTB M22x80 (F10T)
 - ⑩ HTB M22x85 (F10T)
 - ⑪ SPL PL 80x 9x780 (SS400)
 - ⑫ FILL PL 80x 9x305 (SS400)
 - ⑬ FILL PL 80x 9x155 (SS400)
 - ⑭ HTB M22x85 (F10T)

- 閉じボルト
- ① HTB M22x50 (F10T)
 - ② HTB M22x55 (F10T)

注記

- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
- 特記なきスカーラップは、全て R50 とする。
- φは、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。
- φは、高力ボルト HTB M22 (F10T) を示す。
- 高力ボルトの孔明けは、新設部材はφ26.5、既設部材はφ24.5とする。
- 印の鋼材は、全て無塗装とする。
- ※ 印の鋼材は、全て溶融垂れつきとする。
垂れつき量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZ45とし、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZ35とする。
- 本図面は、施工図および既存資料より復元しているため、部材寸法及び取付位置は、現地計測後、最終決定すること。
また、必要に応じて応力計算を行うこと。
- 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
()印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。

令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号		
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)			
図名	新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その7)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35 葉中の内 13		
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その8)

S=1:20

第3径間 ジャッキアップ補剛材 詳細

P2橋脚 G1桁, G2桁

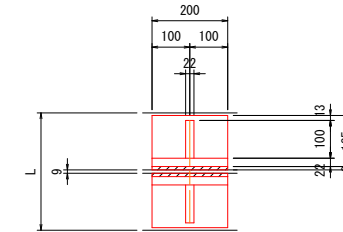
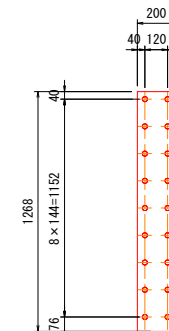
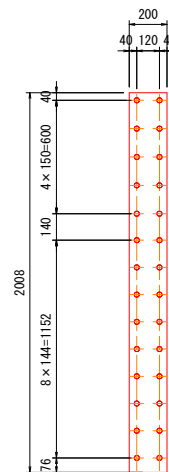
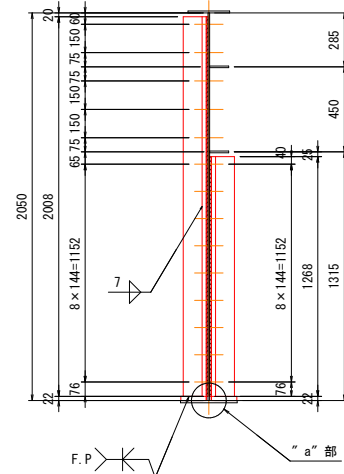
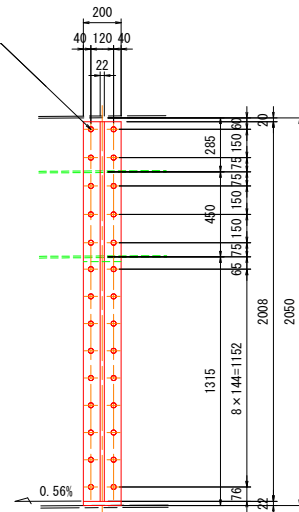
G1桁
側面図

断面図

FILL-PL詳細

平面図 S=1:10

28-補強材側工場孔明 φ26.5孔
28-既設主桁側現場孔明 φ24.5孔



	G1	G2	G3	G4
L	300	310	320	380

- 仮設材料 (製作数: 1箇所)
- ◎ 1-PL 200x22x2009
 - 1-PL 100x22x2008
 - ◎ 1-PL 200x22x1269
 - 1-PL 100x22x1268
 - ◎ 2-PL 135x22x200
 - ◎ 1-FILL PL 200x9x2009 (SS400)
 - ◎ 1-FILL PL 200x9x1269 (SS400)
 - ◎ 28-TCB M22x110 (S10T)

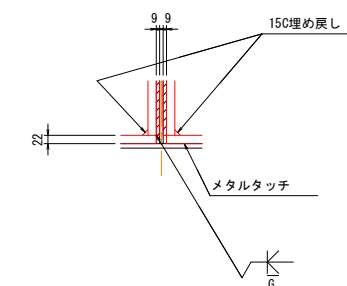
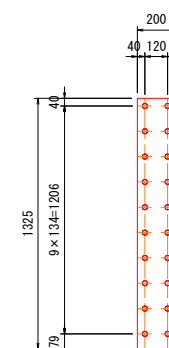
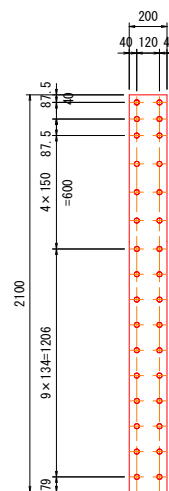
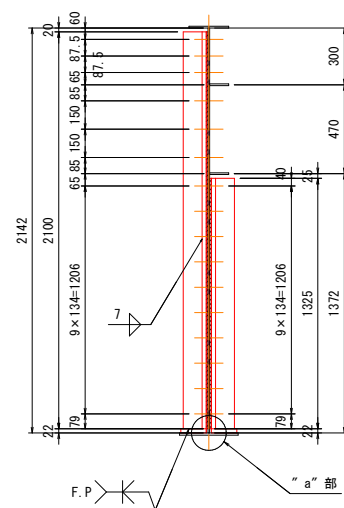
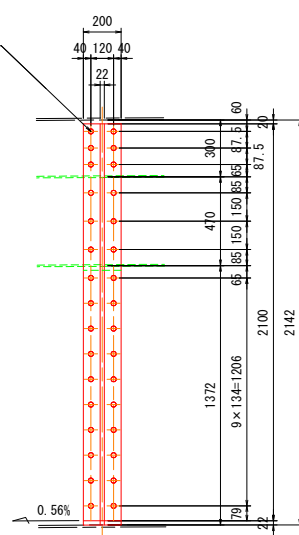
G2桁
側面図

断面図

FILL-PL詳細

"a"部詳細 S=1:10

32-補強材側工場孔明 φ26.5孔
32-既設主桁側現場孔明 φ24.5孔



- 仮設材料 (製作数: 1箇所)
- ◎ 1-PL 200x22x2101
 - 1-PL 100x22x2100
 - ◎ 1-PL 200x22x1326
 - 1-PL 100x22x1325
 - ◎ 2-PL 135x22x200
 - ◎ 1-FILL PL 200x9x2101 (SS400)
 - ◎ 1-FILL PL 200x9x1326 (SS400)
 - ◎ 32-TCB M22x110 (S10T)

- 注記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R50 とする。
 - ◎は、高力ボルト TC8 M22 (S10T) を示す。
 - ◎は、高力ボルト HTB M22 (F10T) を示す。
 - 高力ボルトの孔明けは、新設部材はφ26.5、既設部材はφ24.5とする。
 - ◎ 印の鋼材は、全て無塗装とする。
 - ※ 印の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZ5とす。
ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZ35とする。
 - 本図面は、施工図および既存資料より復元しているため、
部材寸法及び取付位置は、現地計測後、最終決定すること。
また、必要に応じて応力計算を行うこと。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
()印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。

令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事 (2工区)(補助橋梁補修)	
図名	新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その8)
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 35 葉中の内 14
令和 6 年度施行	
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

※A3出力時: 表示縮尺×50%

新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その9)

S=1:20

第3径間 ジャッキアップ補剛材 詳細

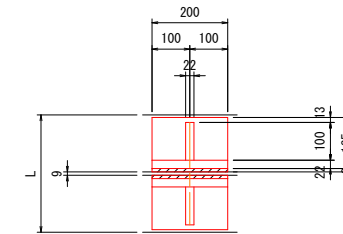
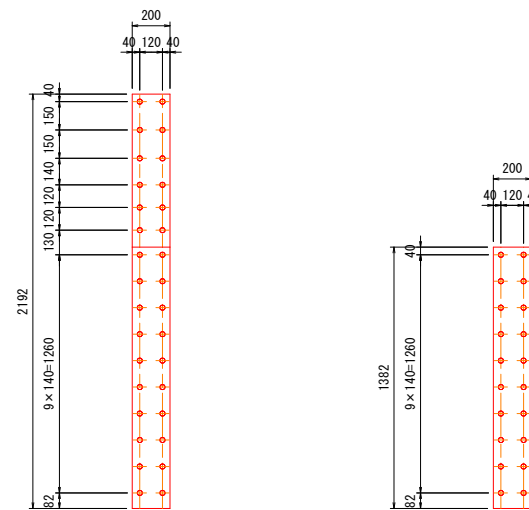
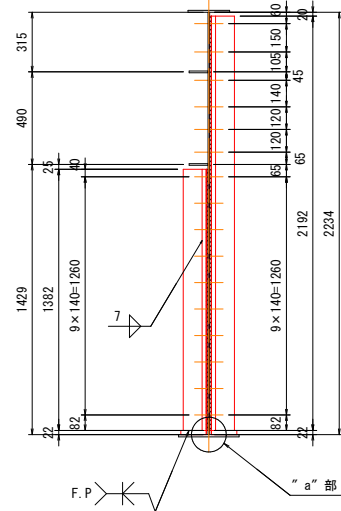
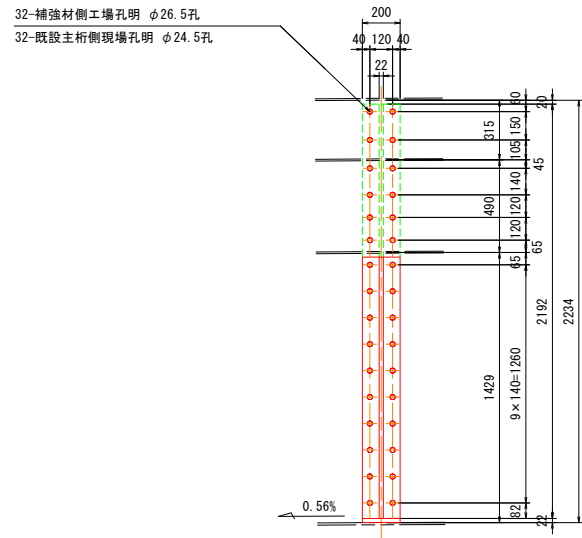
P2橋脚 G3桁, G4桁

G3桁
側面図

断面図

FILL-PL詳細

平面図 S=1:10



	G1	G2	G3	G4
L	300	310	320	380

仮設材料 (製作数: 1箇所)

- ◎ 1-PL 200x22x2193
- ◎ 1-PL 100x22x2192
- ◎ 1-PL 200x22x1383
- ◎ 1-PL 100x22x1382
- ◎ 2-PL 135x22x200
- ◎ 1-FILL PL 200x9x2193 (SS400)
- ◎ 1-FILL PL 200x9x1383 (SS400)
- ◎ 32-TCB M22x110 (S10T)

撤去材料

- 1-PL 200x22x2193
- 1-PL 100x22x2192
- 1-PL 200x22x1383
- 1-PL 100x22x1382
- 2-PL 135x22x200
- 1-FILL PL 200x9x2193 (SS400)
- 1-FILL PL 200x9x1383 (SS400)
- 32-TCB M22x110 (S10T)

閉じボルト

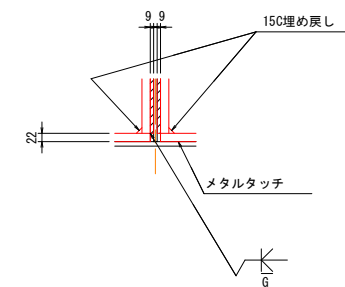
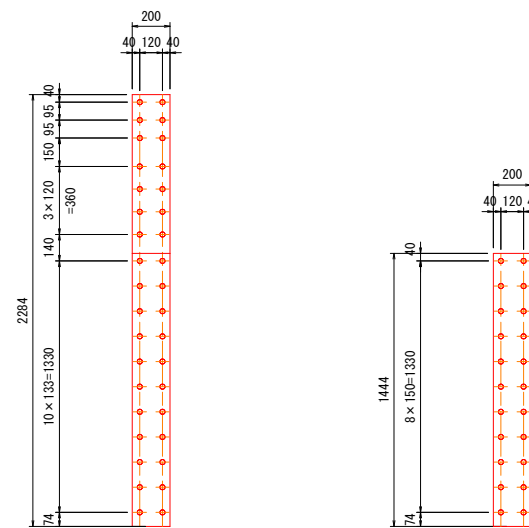
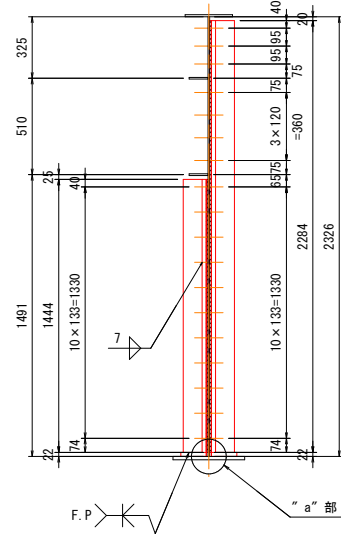
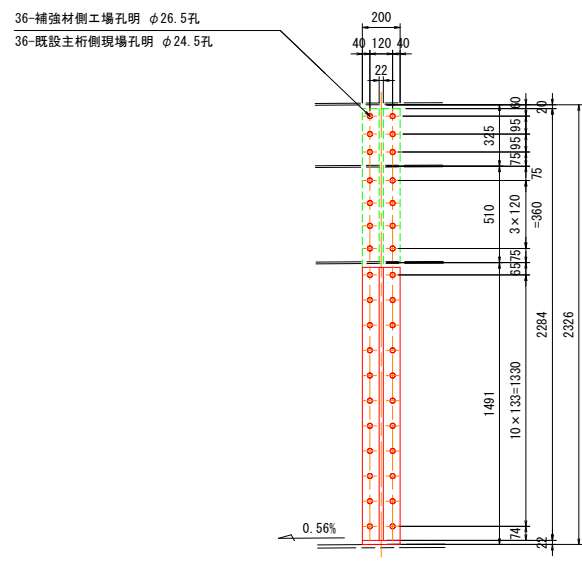
- 32-TCB M22x45 (S10T)

G4桁
側面図

断面図

FILL-PL詳細

"a"部詳細 S=1:10



仮設材料 (製作数: 1箇所)

- ◎ 1-PL 200x22x2285
- 1-PL 100x22x2284
- ◎ 1-PL 200x22x1445
- 1-PL 100x22x1444
- ◎ 2-PL 135x22x200
- ◎ 1-FILL PL 200x9x2285 (SS400)
- ◎ 1-FILL PL 200x9x1445 (SS400)
- ◎ 36-TCB M22x110 (S10T)

- 注記
1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 2. 特記なきスカーラップは、全て R50 とする。
 3. φは、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。
 4. φは、高力ボルト HTB M22 (F10T) を示す。
 5. 高力ボルトの孔明けは、新設部材はφ26.5、既設部材はφ24.5とする。
 6. ◎ 印の鋼材は、全て無塗装とする。
 7. ※ 印の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZ45とし、
ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZ35とする。
 8. 本図面は、施工図および既存資料より復元しているため、
部材寸法及び取付位置は、現地計測後、最終決定すること。
また、必要に応じて応力計算を行うこと。
 9. 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
()印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。

令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事 (2工区)(補助橋梁補修)	
図名	新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その9)
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 35 葉中の内 15
令和 6 年度施行	
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

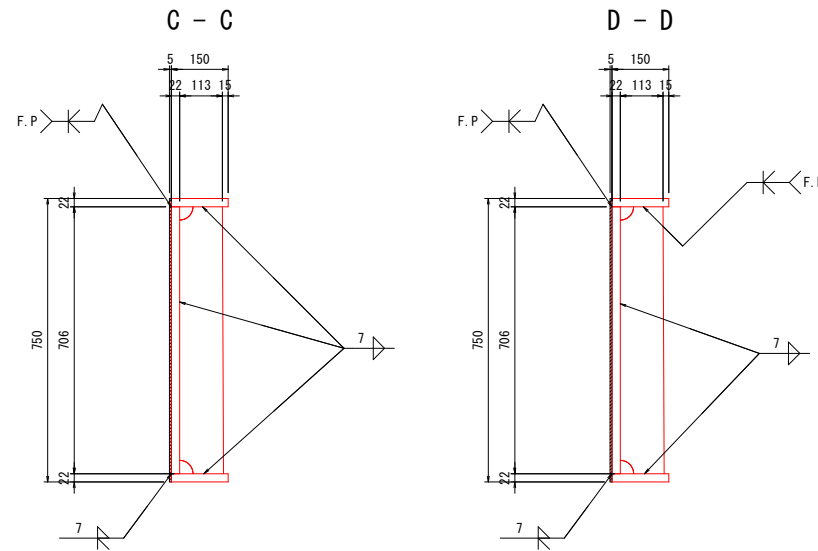
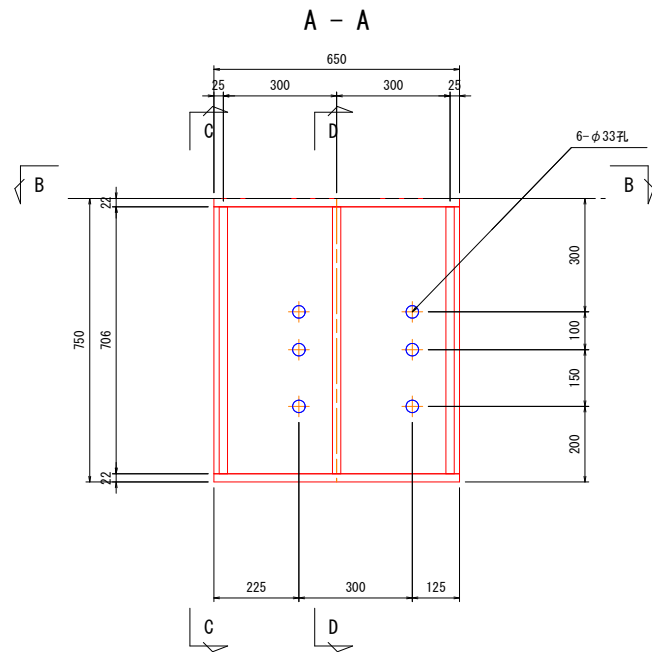
※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その10)

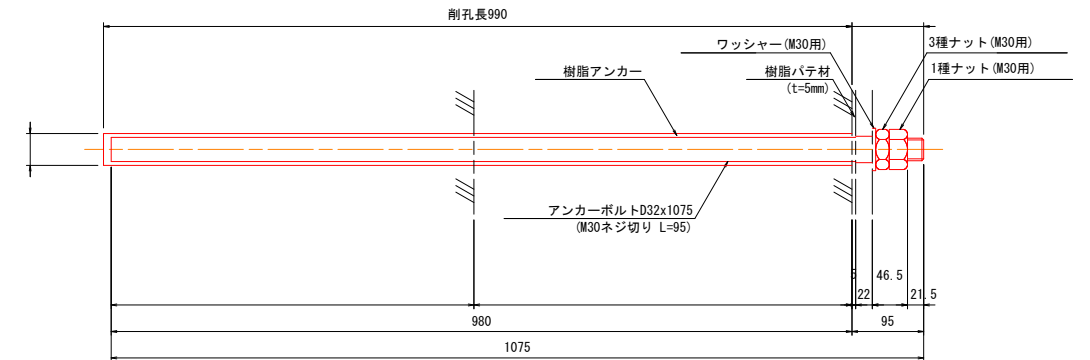
S=1:10

第3径間 鋼製ブラケット、補強アンカー 詳細

P2橋脚



アンカーボルト詳細 S=1:5

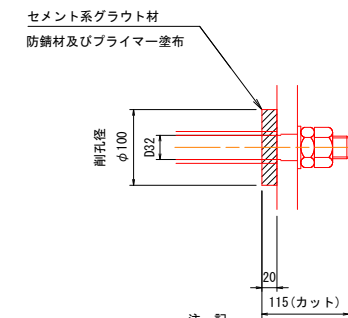
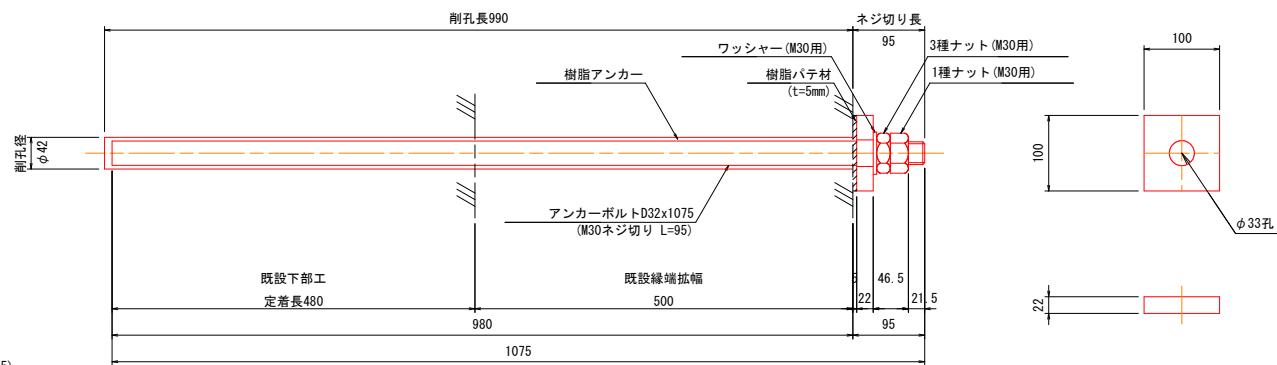
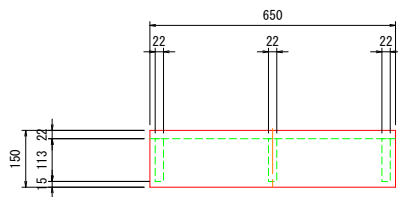


B - B

補強アンカーボルト詳細 S=1:5

BASE PL詳細 S=1:5

アンカーボルト撤去 詳細図 S=1:5



- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 仮設材料 | 撤去材料 |
| 2- FLG PL 150x22x650 | 2- FLG PL 150x22x650 |
| 1-BASE PL 650x22x706 | 1-BASE PL 650x22x706 |
| 3- RIB PL 113x22x706 | 3- RIB PL 113x22x706 |
| 6-ANC BT D32x1075 (SD345) | 6-ANC BT D32x115 (SD345) |
| 6-NUT M30 (1種) (SS400) | 6-NUT M30 (1種) (SS400) |
| 6-NUT M30 (3種) (SS400) | 6-NUT M30 (3種) (SS400) |
| 6-WASHER M30 (SS400) | 6-WASHER M30 (SS400) |

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 仮設材料 (G3桁) | 撤去材料 (G3桁) |
| 6-ANC BT D32x1075 (SD345) | 6-ANC BT D32x115 (SD345) |
| 6-NUT M30 (1種) (SS400) | 6-NUT M30 (1種) (SS400) |
| 6-NUT M30 (3種) (SS400) | 6-NUT M30 (3種) (SS400) |
| 6-WASHER M30 (SS400) | 6-WASHER M30 (SS400) |
| 6-PL 100x22x100 (SS400) | 6-PL 100x22x100 (SS400) |

- 注 記
- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 - 特記なきスカーラップは、全て R50 とする。
 - φは、高力ボルト TC8 M22 (S10T) を示す。
 - φは、高力ボルト HTB M22 (F10T) を示す。
 - 高力ボルトの孔明けは、新設部材はφ26.5、既設部材はφ24.5とする。
 - ◎ 印の鋼材は、全て無塗装とする。
 - ※ 印の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZ45とし、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZ35とする。
 - 本図面は、施工図および既存資料より復元しているため、部材寸法及び取付位置は、現地計測後、最終決定すること。また、必要に応じて応力計算を行うこと。
 - 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
 - () 印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。

令和6年度 公共 起工

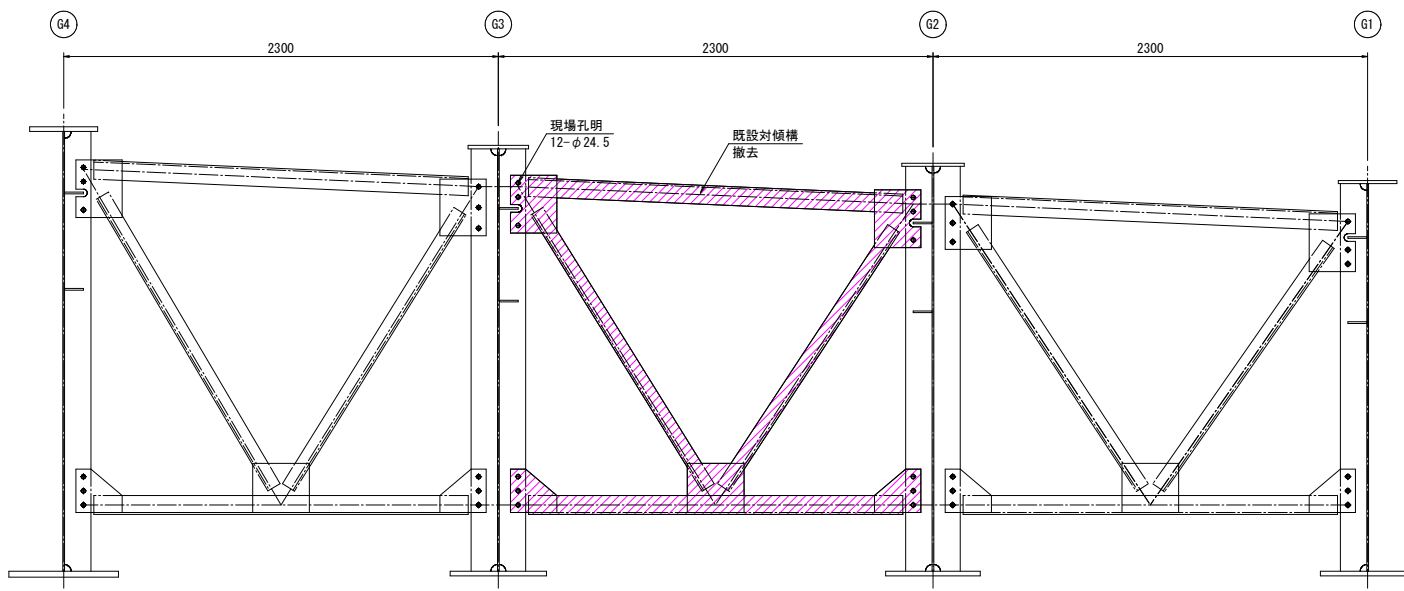
路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)	
図名	新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その10)
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 35 葉中の内 16
令和 6 年度施行	
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

※A3出力時：表示縮尺×50%

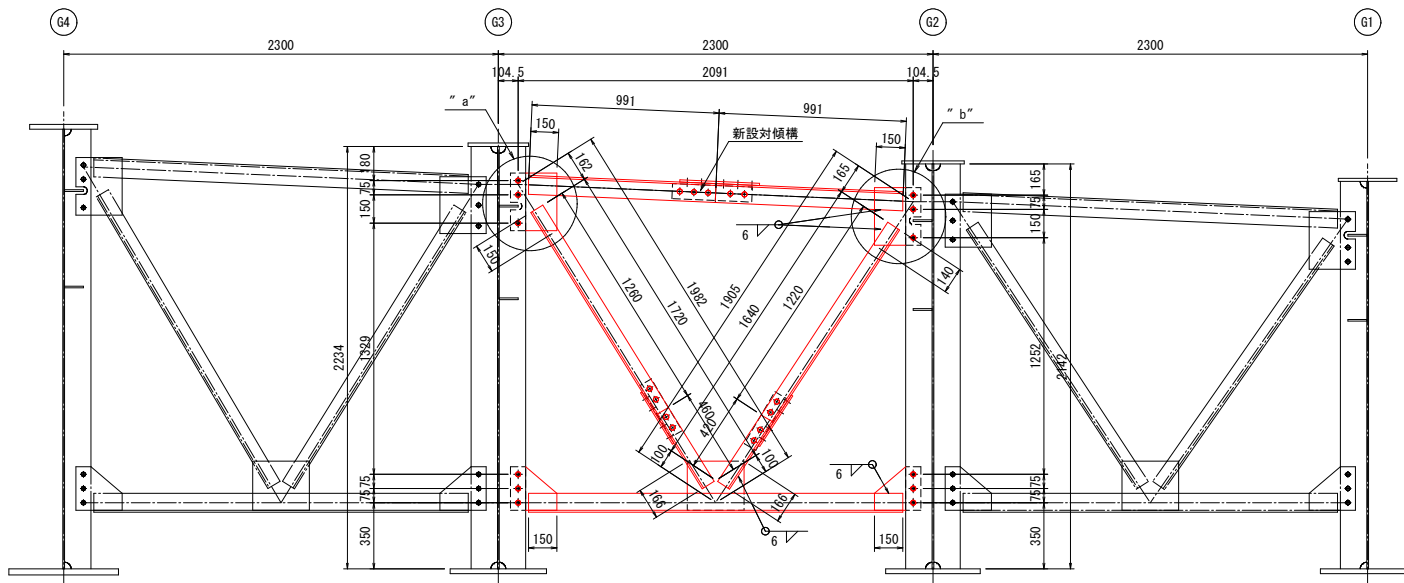
新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その11)

S=1:20

第2径間 部材取替(対傾構)



- 撤去材料(撤去数:1箇所)
- 1-L 90x90x10x1980
 - 2-PL 245x9x305
 - 6-リベット φ22
 - 1-L 75x75x9x1720
 - 1-L 75x75x9x1640
- 1-L 90x90x10x1980
 - 2-PL 230x9x245
 - 1-PL 260x9x300
 - 6-リベット φ22

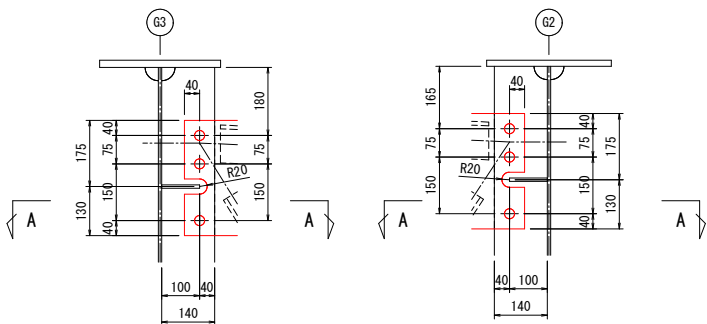


- TYPE1
新設材料(製作数:1箇所)
- 1-L 90x90x10x995(SS400)
 - 1-PL 245x9x305
 - 3-TCB M22x55(S10T)
 - 1-L 75x75x9x1260(SS400)
- TYPE2
新設材料(製作数:1箇所)
- 1-L 90x90x10x995(SS400)
 - 1-PL 245x9x305
 - 3-TCB M22x55(S10T)
 - 1-L 75x75x9x1220(SS400)
- TYPE3
新設材料(製作数:1箇所)
- 1-L 90x90x10x1980(SS400)
 - 2-PL 230x9x245
 - 1-PL 260x9x300
 - 6-TCB M22x55(S10T)
 - 1-L 75x75x9x460(SS400)
 - 1-L 75x75x9x420(SS400)

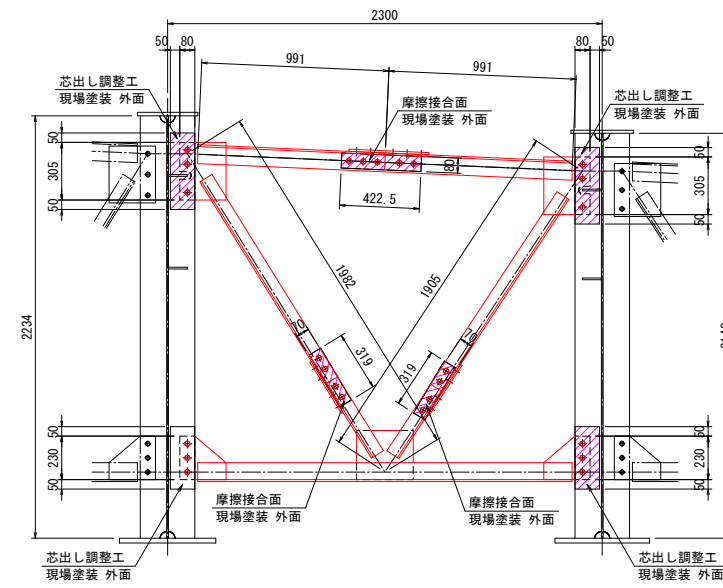
"a"部詳細 S=1:10

"b"部詳細 S=1:10

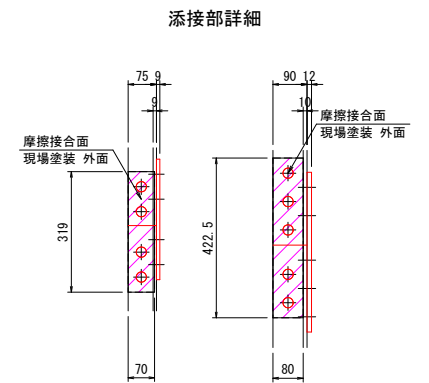
A-A S=1:10



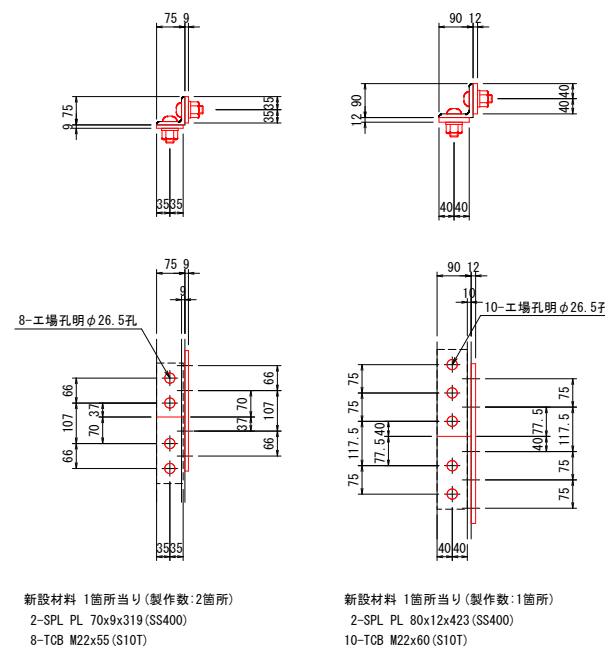
塗装区分図



塗装区分図 S=1:10

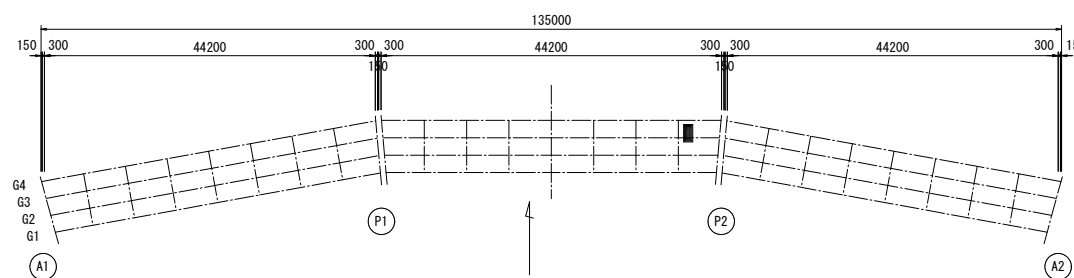


添接部詳細 S=1:10



- 注記
1. 特記なき材質は、全て SM400A とする。
 2. 特記なきスカーラップは、全て R35 とする。
 3. ⊕ は、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。
 4. ⊕ は、高力ボルト HTB M22 (F10T) を示す。
 5. 高力ボルトの孔明は、新設部材はφ26.5、既設部材はφ24.5とする。
 6. ⊙ 印の鋼材は、全て無塗装とする。
 7. ※ 印の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZ45とし、
ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZ35とする。
 8. 本図面は、施工図および既存資料より復元しているため、
部材寸法及び取付位置は、現地計測後、最終決定すること。
また、必要に応じて応力計算を行うこと。
 9. 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
() 印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。

配置図



令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)	
図名	新黒坂橋 部材取替工 詳細図(その11)
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 35 葉中の内 17
令和 6 年度施行	
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

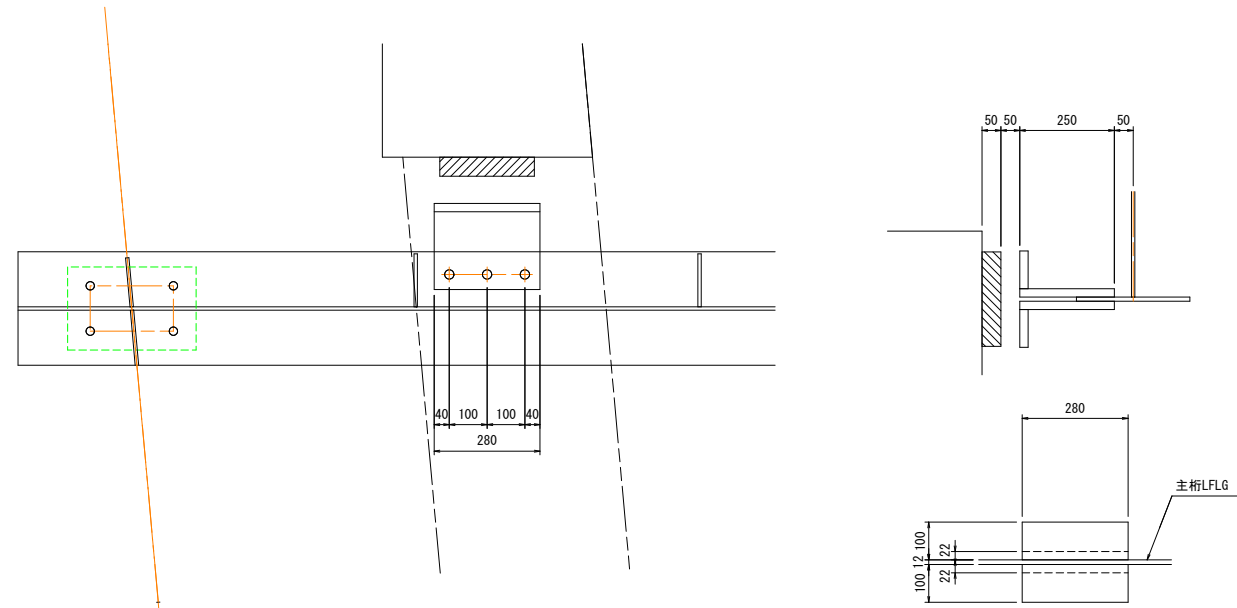
※A3出力時:表示縮尺×50%

新黒坂橋 撤去・復旧図

S=1:10

変位制限装置

一時撤去・復旧箇所 第1径間 A1-G2桁, 第3径間 P2-G3桁



第1径間 A1-G2桁 (2箇所), 第3径間 P2-G3桁 (2箇所)

(1箇所当たり)

一時撤去材料

2-PL 228x22x280 (SS400)

2-PL 100x22x280 (SS400)

撤去材料

3-HTB M22x95 (F10T)

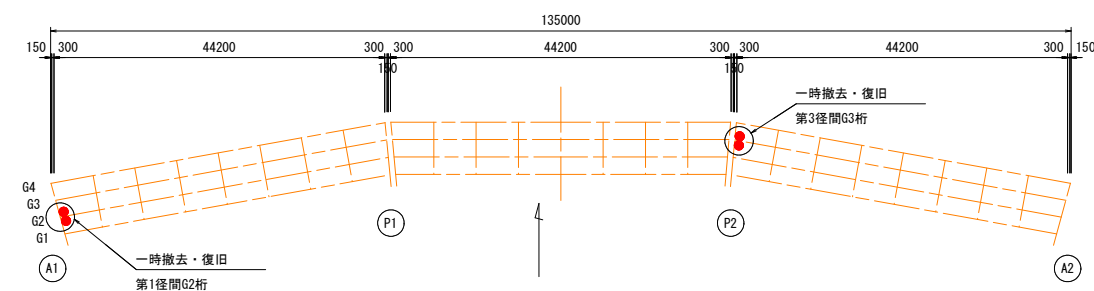
新設材料

3-TCB M22x95 (S10T)

注記

- 特記なき材質は、全て SM400A とする。
- 特記なきスカーラップは、全て R50 とする。
- Φは、高力ボルト TCB M22 (S10T) を示す。
- Φは、高力ボルト HTB M22 (F10T) を示す。
- 高力ボルトの孔明けは、新設部材はφ26.5、既設部材はφ24.5とする。
- ◎ 印の鋼材は、全て無塗装とする。
- ※ 印の鋼材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、HDZ45とし、
ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の鋼材は、HDZ35とする。
- 本図面は、施工図および既存資料より復元しているため、
部材寸法及び取付位置は、現地計測後、最終決定すること。
また、必要に応じて応力計算を行うこと。
- 溶接記号に「F.P.」表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。
() 印内の数字は、部分溶込み溶接の開先深さを示す。

配置図



令和6年度 公共 起工

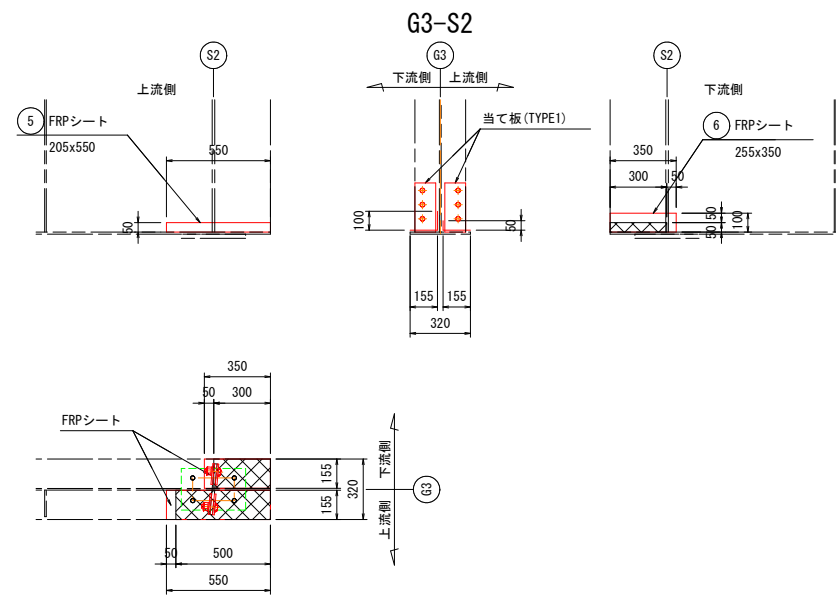
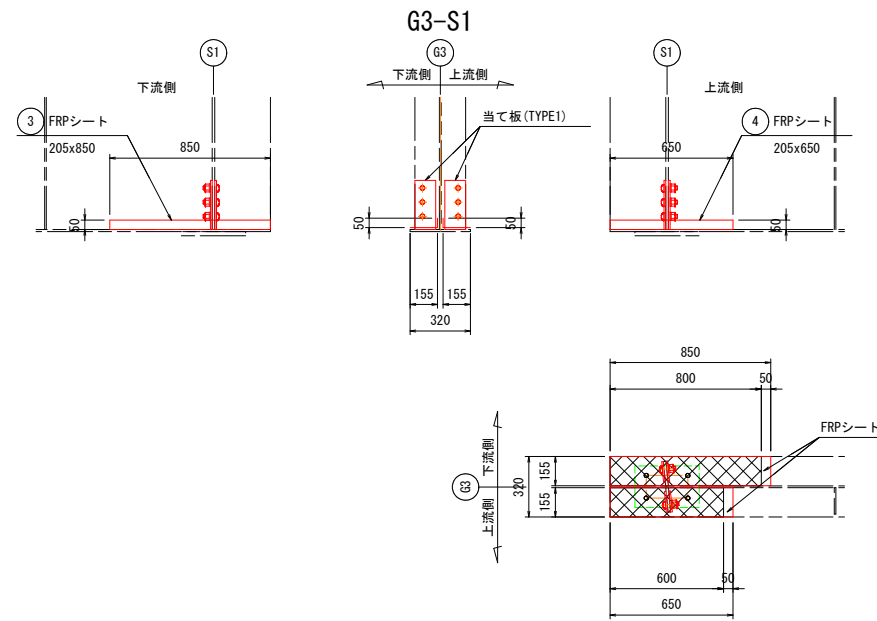
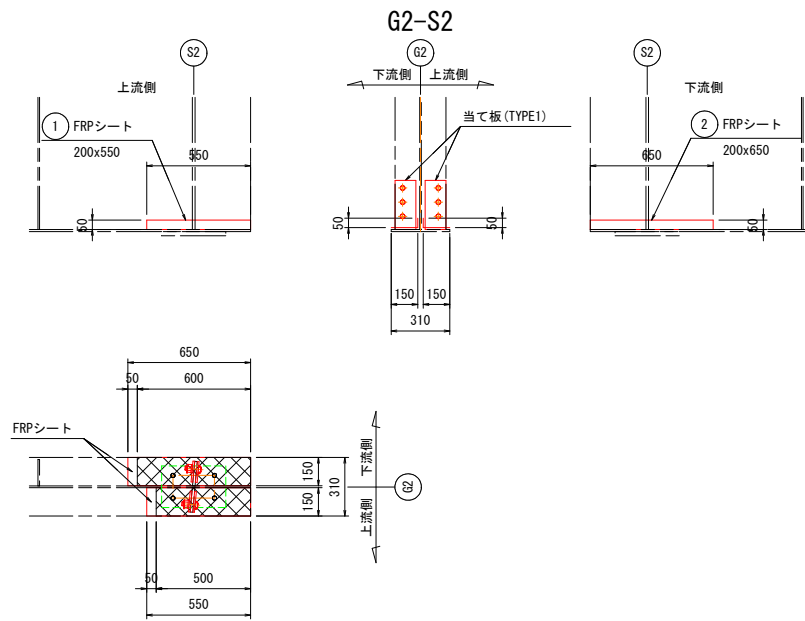
路線名	国道180号		
図名	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35 葉中の内 18		
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 FRPシート・当て板補強詳細図(その1)

S=1:20

第1径間



第1径間数量表(A1-P1間)

部位名	サイズ(m)	面積(m ²)	区分	枚数	小計(m ²)
① G2-S2 上流側	0.200 x 0.550	0.110	B	1	0.110
② G2-S2 下流側	0.200 x 0.650	0.130	B	1	0.130
③ G3-S1 下流側	0.205 x 0.850	0.174	C	1	0.174
④ G3-S1 上流側	0.205 x 0.650	0.133	B	1	0.133
⑤ G3-S2 上流側	0.205 x 0.550	0.113	B	1	0.113
⑥ G3-S2 下流側	0.255 x 0.350	0.089	B	1	0.089
⑦ TYPE1	0.110 x 0.100	0.011	A	12	0.132
合計面積(m ²)					0.882
紫外線照射あり					
区分A合計(0.01㎡以上0.07㎡未満/箇所)					0.132
区分B合計(0.07㎡以上0.15㎡未満/箇所)					0.575
区分C合計(0.15㎡以上/箇所)					0.174

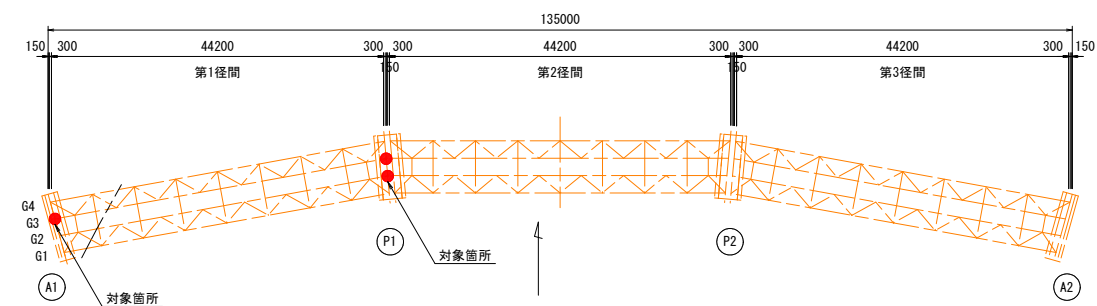
注) 施工に際しては、現場測定を行い、既設の形状を確認の上実施すること。

紫外線硬化型ポリエステル樹脂製FRPシート仕様

要求項目

NETIS NO. 旧 C8-990022-V同等品以上のポリエステル樹脂製(土木コスト情報:標準単価適用のため)
難燃性UL94規格:V-0以上(道路構造令の解説と運用 防災空間としての道路構造)
酸素透過率:10? =6.5cc/(m ² ・24h・atm)以下(鋼道路防食便覧)

配置図



注記

1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. 各部詳細は、「新黒坂橋 FRPシート・当て板補強詳細図(その4)」参照のこと。

令和6年度 公共 起工

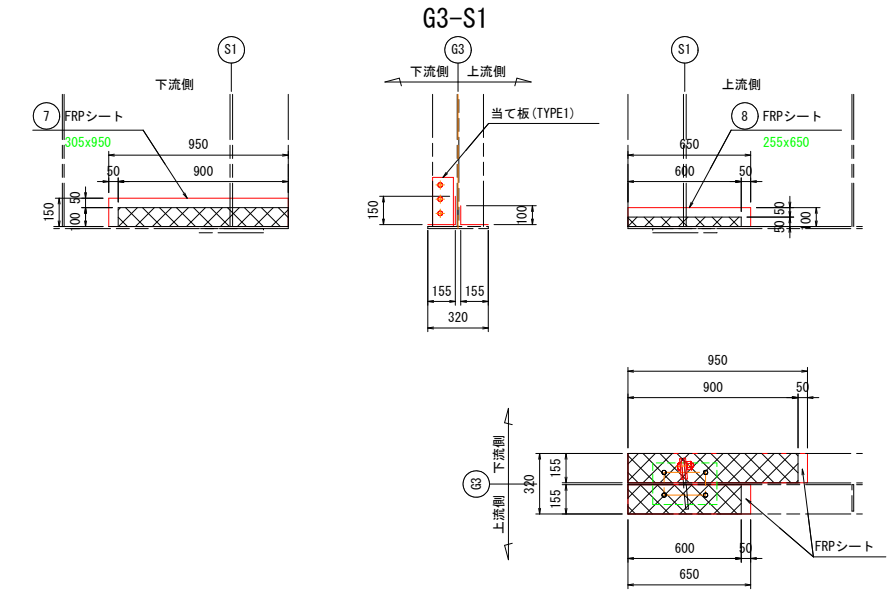
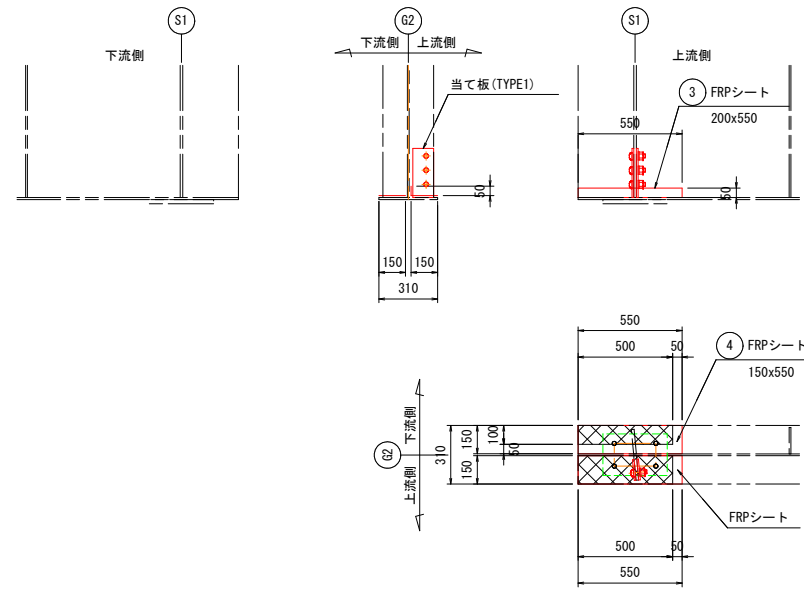
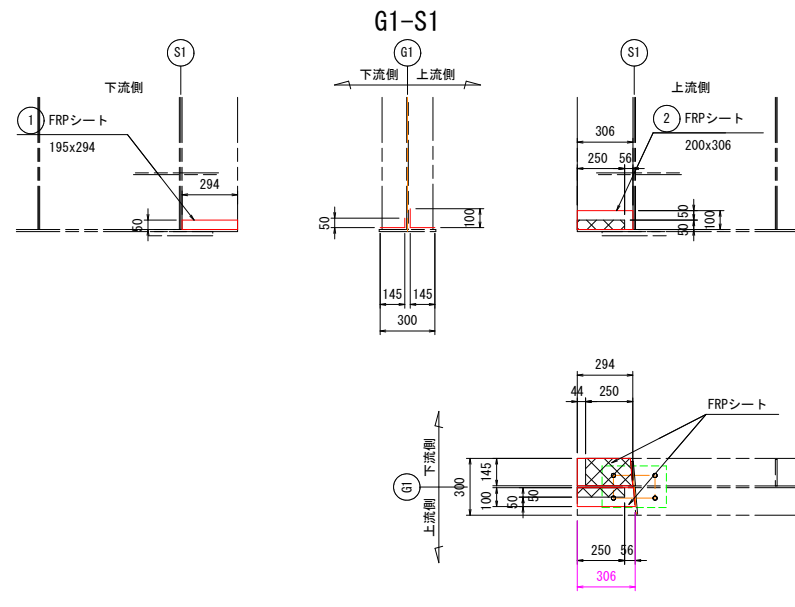
路線名	国道180号		
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)			
図名	新黒坂橋 FRPシート・当て板補強詳細図(その1)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35 葉中の内 19		
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時:表示縮尺×50%

新黒坂橋 FRPシート・当て板補強詳細図(その2)

S=1:20

第2径間



第2径間数量表 (P1-P2間)

紫外線照射あり

部位名	サイズ (m)	面積 (㎡)	区分	枚数	小計 (㎡)
① G1-S1 下流側	0.195 x 0.294	0.057	A	1	0.057
③ G2-S1 上流側	0.200 x 0.550	0.110	B	1	0.110
④ G2-S1 下流側	0.150 x 0.550	0.083	B	1	0.083
⑤ G2-S2 上流側	0.200 x 0.350	0.070	B	1	0.070
⑥ G2-S2 下流側	0.200 x 0.550	0.110	B	1	0.110
⑦ G3-S1 下流側	0.305 x 0.950	0.290	C	1	0.290
⑧ G3-S1 上流側	0.255 x 0.650	0.166	C	1	0.166
⑨ G3-S2 上流側	0.205 x 0.850	0.174	C	1	0.174
⑩ G3-S2 下流側	0.205 x 0.455	0.093	B	1	0.093
⑪ TYPE1	0.110 x 0.100	0.011	A	6	0.066
⑫ TYPE2	0.110 x 0.100	0.011	A	2	0.022
合計面積 (㎡)					1.241
紫外線照射あり					
区分A合計 (0.01㎡以上0.07㎡未満/箇所)					0.145
区分B合計 (0.07㎡以上0.15㎡未満/箇所)					0.466
区分C合計 (0.15㎡以上/箇所)					0.630

注) 施工に際しては、現場測定を行い、既設の形状を確認の上実施すること。

紫外線照射なし

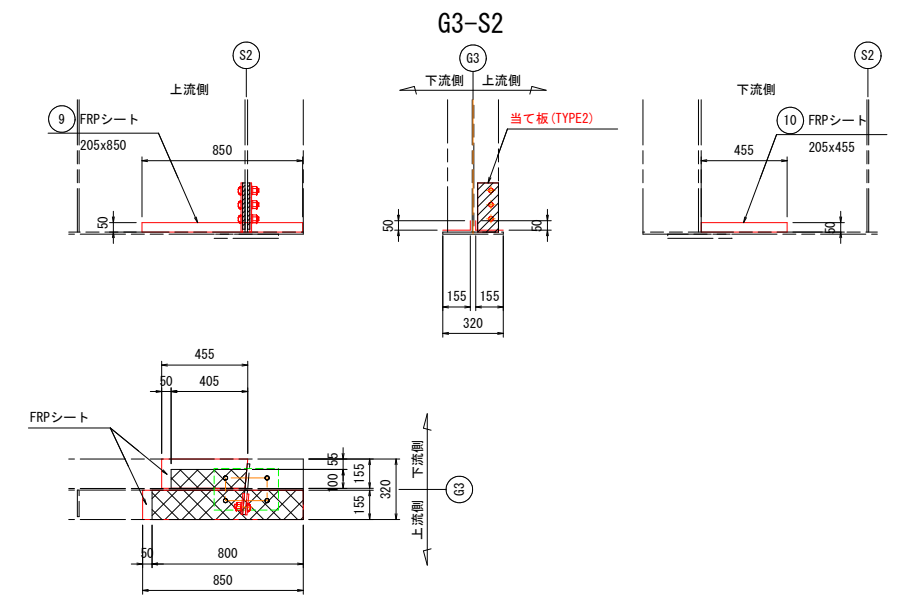
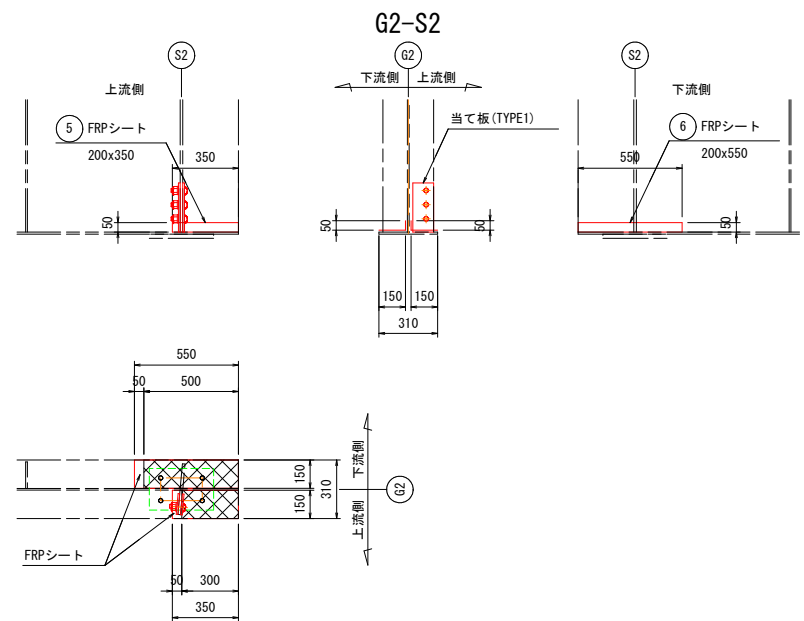
部位名	サイズ (m)	面積 (㎡)	区分	枚数	小計 (㎡)
② G1-S1 上流側	0.200 x 0.306	0.061	A	1	0.061
合計面積 (㎡)					0.061
紫外線照射なし					
区分A合計 (0.01㎡以上0.07㎡未満/箇所)					0.061
区分B合計 (0.07㎡以上0.15㎡未満/箇所)					0.000
区分C合計 (0.15㎡以上/箇所)					0.000

注) 施工に際しては、現場測定を行い、既設の形状を確認の上実施すること。

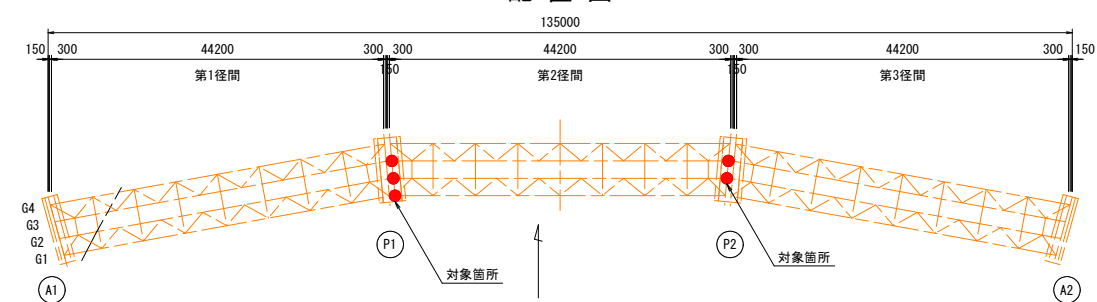
紫外線硬化型ポリエステル樹脂製FRPシート仕様

要求項目

NETIS NO. 旧 CB-990022-V同等品以上のポリエステル樹脂製 (土木コスト情報:標準準備適用のため)
難燃性UL94規格-V-0以上 (道路構造令の解説と運用 防火空間としての道路構造)
酸素透過率:10? =6.5cc/(㎡・24h・atm)以下 (鋼道防食便覧)



配置図



注記

1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
2. 各部詳細は、「新黒坂橋 FRPシート・当て板補強詳細図(その4)」参照のこと。

令和6年度 公共 起工

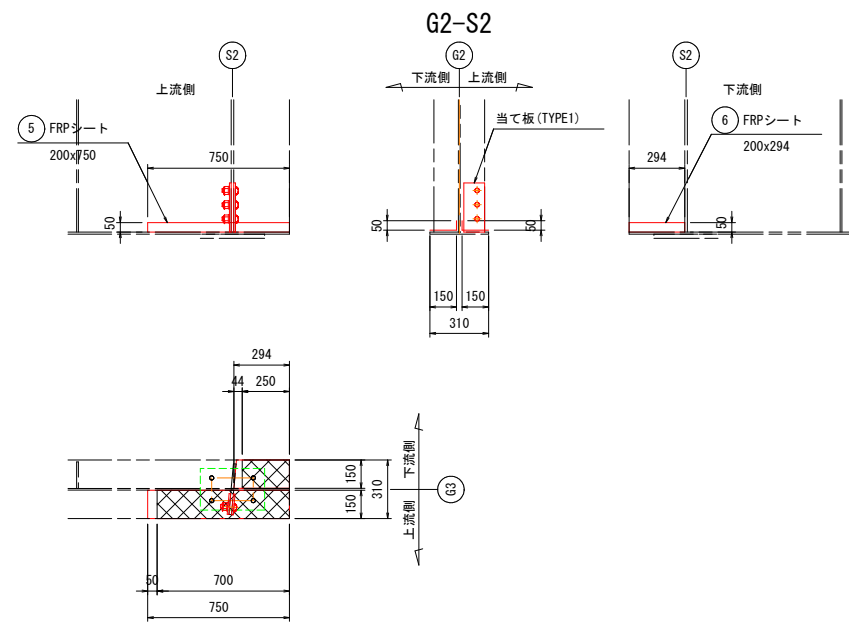
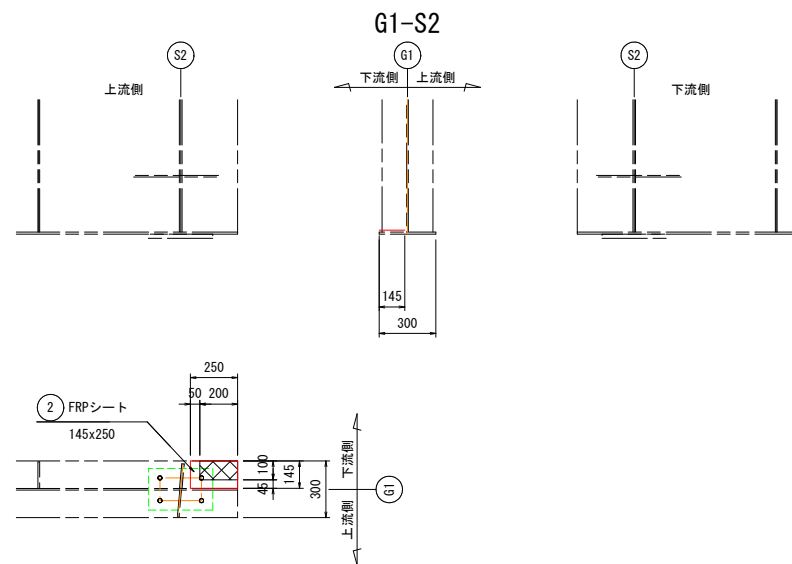
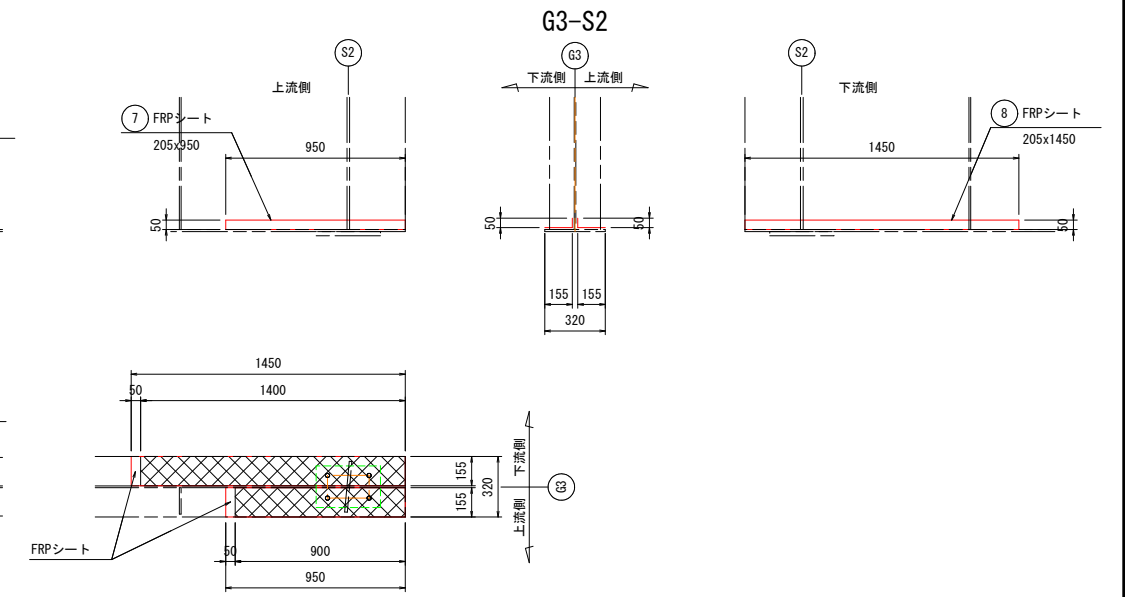
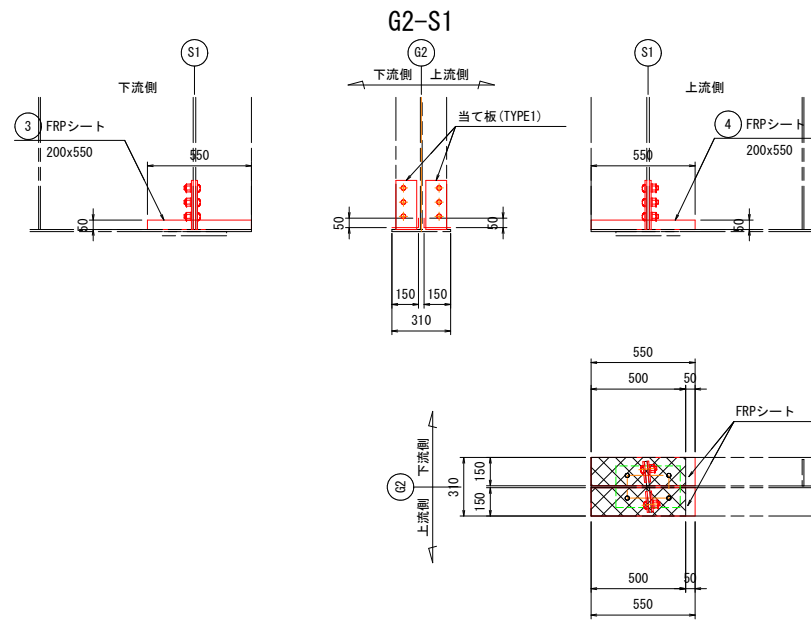
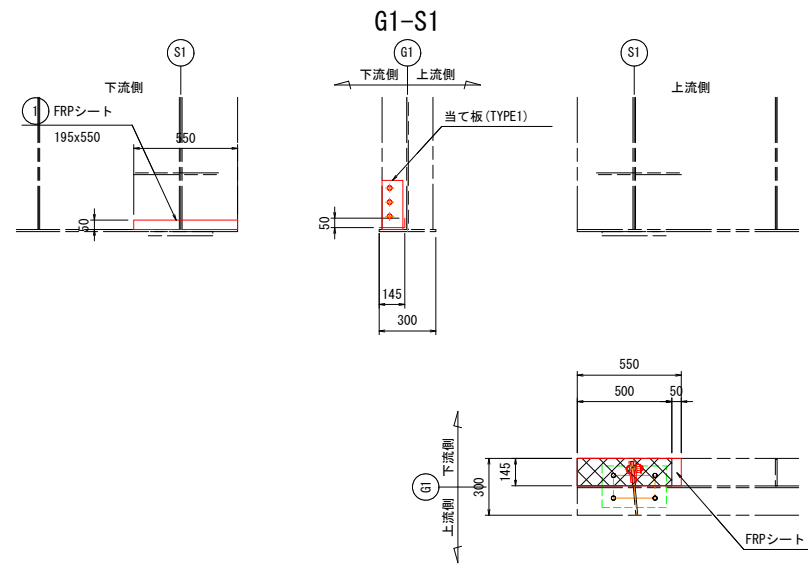
路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)	
図名	新黒坂橋 FRPシート・当て板補強詳細図(その2)
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 35 葉中の内 20
令和 6 年度施行	
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

※A3出力時:表示縮尺×50%

新黒坂橋 FRPシート・当て板補強詳細図(その3)

S=1:20

第3径間



第3径間数量表 (P2-A2間)

部位名	サイズ (m)	面積 (㎡)	区分	枚数	小計 (㎡)
① G1-S1 下流側	0.195 x 0.550	0.107	B	1	0.107
② G1-S2 下流側	0.145 x 0.250	0.036	A	1	0.036
③ G2-S1 下流側	0.200 x 0.550	0.110	B	1	0.110
④ G2-S1 上流側	0.200 x 0.550	0.110	B	1	0.110
⑤ G2-S2 上流側	0.200 x 0.750	0.150	C	1	0.150
⑥ G2-S2 下流側	0.200 x 0.294	0.059	A	1	0.059
⑦ G3-S2 上流側	0.205 x 0.950	0.195	C	1	0.195
⑧ G3-S2 下流側	0.205 x 1.450	0.297	C	1	0.297
⑨ TYPE1	0.110 x 0.100	0.011	A	8	0.088
合計面積 (㎡)					1.152
紫外線照射あり					
区分A合計 (0.01㎡以上0.07㎡未満/箇所)					0.183
区分B合計 (0.07㎡以上0.15㎡未満/箇所)					0.327
区分C合計 (0.15㎡以上/箇所)					0.642

注) 施工に際しては、現場測定を行い、既設の形状を確認の上実施すること。

紫外線硬化型ポリエステル樹脂製FRPシート仕様

要求項目

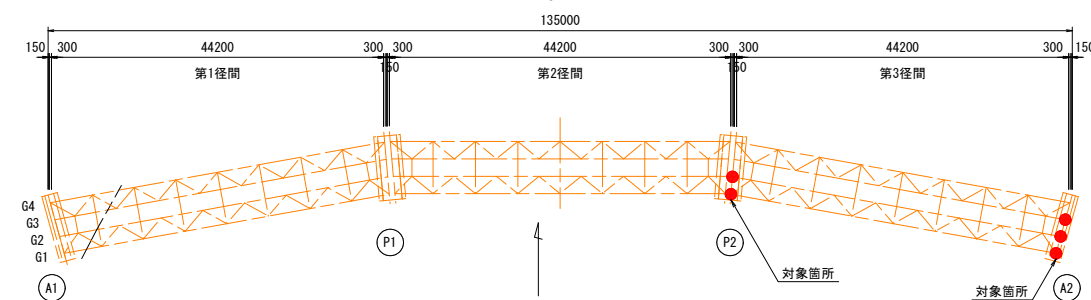
NETIS NO. ID CB-990022-V同等品以上のポリエステル樹脂製(土木コスト情報:標準単価適用のため)
難燃性UL94規格:V-0以上(道路構造令の解説と運用 防火空間としての道路構造)
酸素透過率:10? =6.5cc/(㎡14.24h・atm)以下(鋼道防食便覧)

注記

- 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。
- 各部詳細は、「新黒坂橋 FRPシート・当て板補強詳細図(その4)」参照のこと。

令和6年度 公共 起工

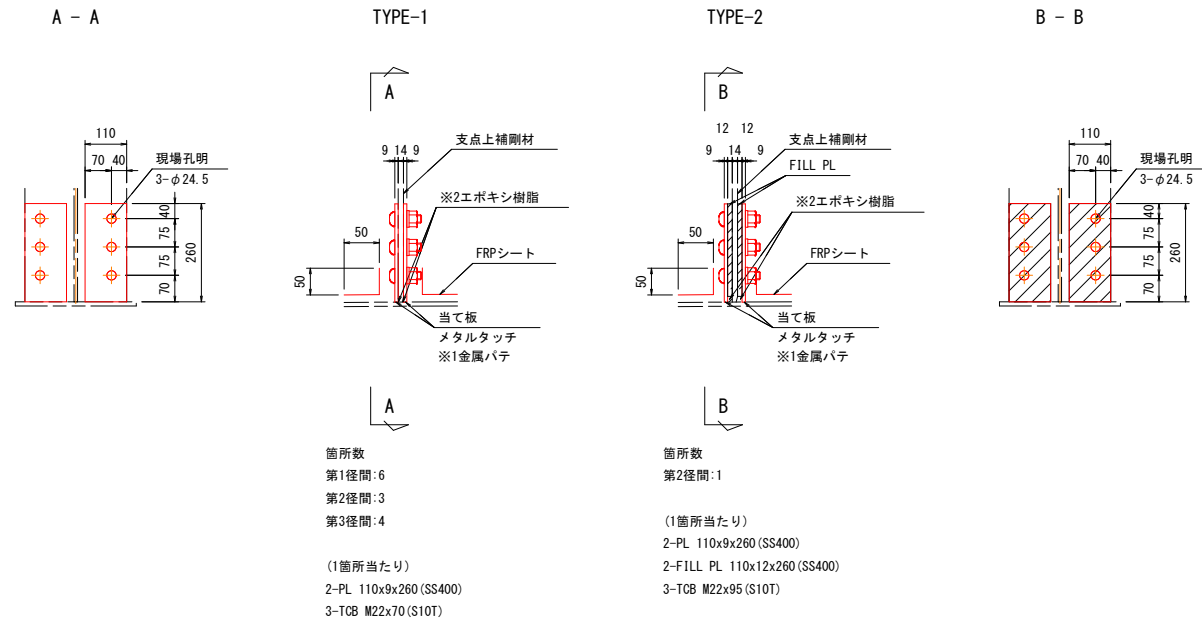
配置図



路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)	
図名	新黒坂橋 FRPシート・当て板補強詳細図(その3)
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 35 葉中の内 21
令和 6 年度施行	
西部総合事務所日野振興センター日野土整備局	

※A3出力時:表示縮尺×50%

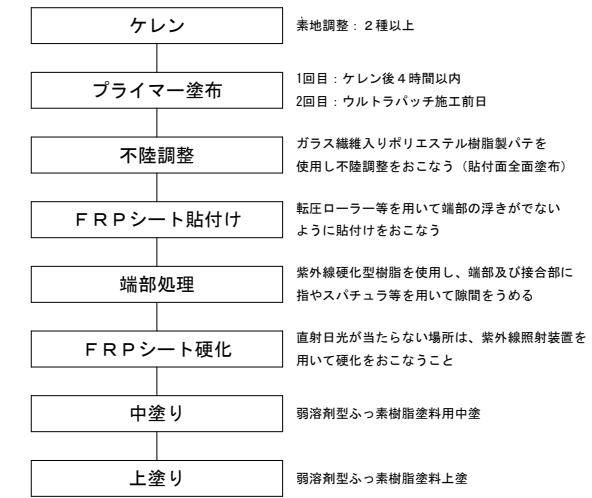
当て板詳細図



※1メタルタッチ面は金属パテにより不陸調整を行うこと。
※2既設支点上補剛材面はエポキシ樹脂により隙間を充填すること。

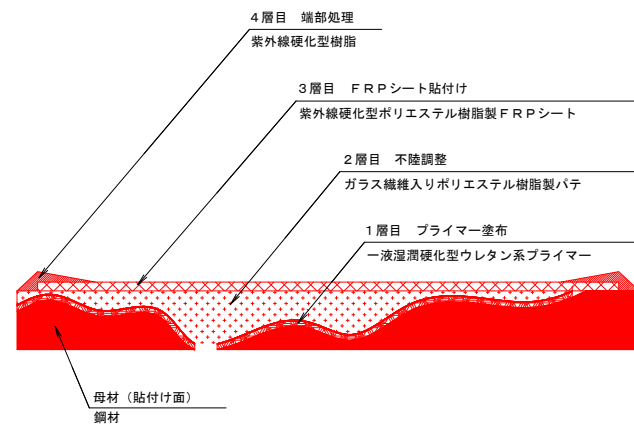
紫外線硬化型ポリエステル製FRPシート

施工フロー図

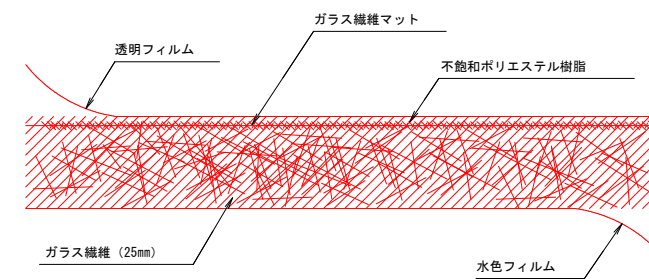


紫外線硬化型ポリエステル製FRPシート

断面図



紫外線硬化型ポリエステル製FRPシート



注記
1. 図中詳細寸法は、現地実測の上決定のこと。

令和6年度 公共 起工

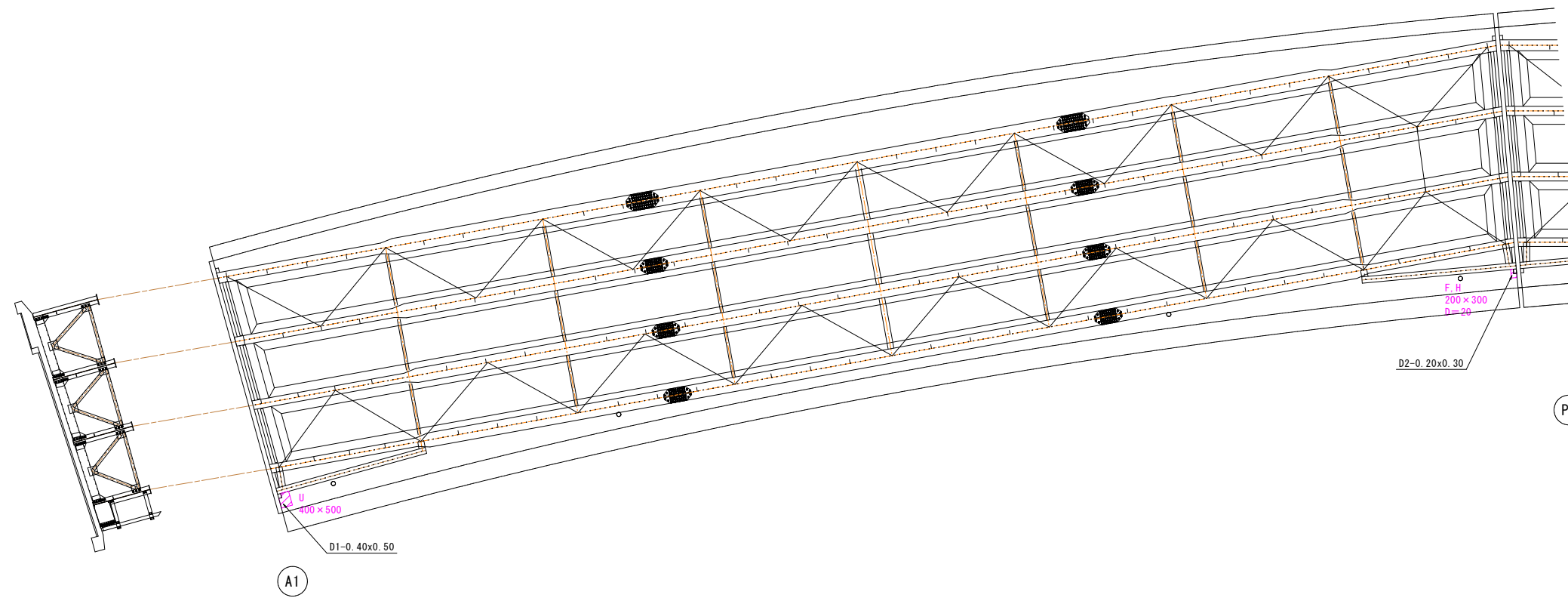
路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)		
図名	新黒坂橋 FRPシート・当て板補強詳細図(その4)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35	葉中の内	22
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時: 表示縮尺×50%

新黒坂橋 補修図(1)

桁 下 S=1/100

(第1径間)



凡例

補修工法	
D	断面修復工(左官工法)
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

令和6年度 公共 起工

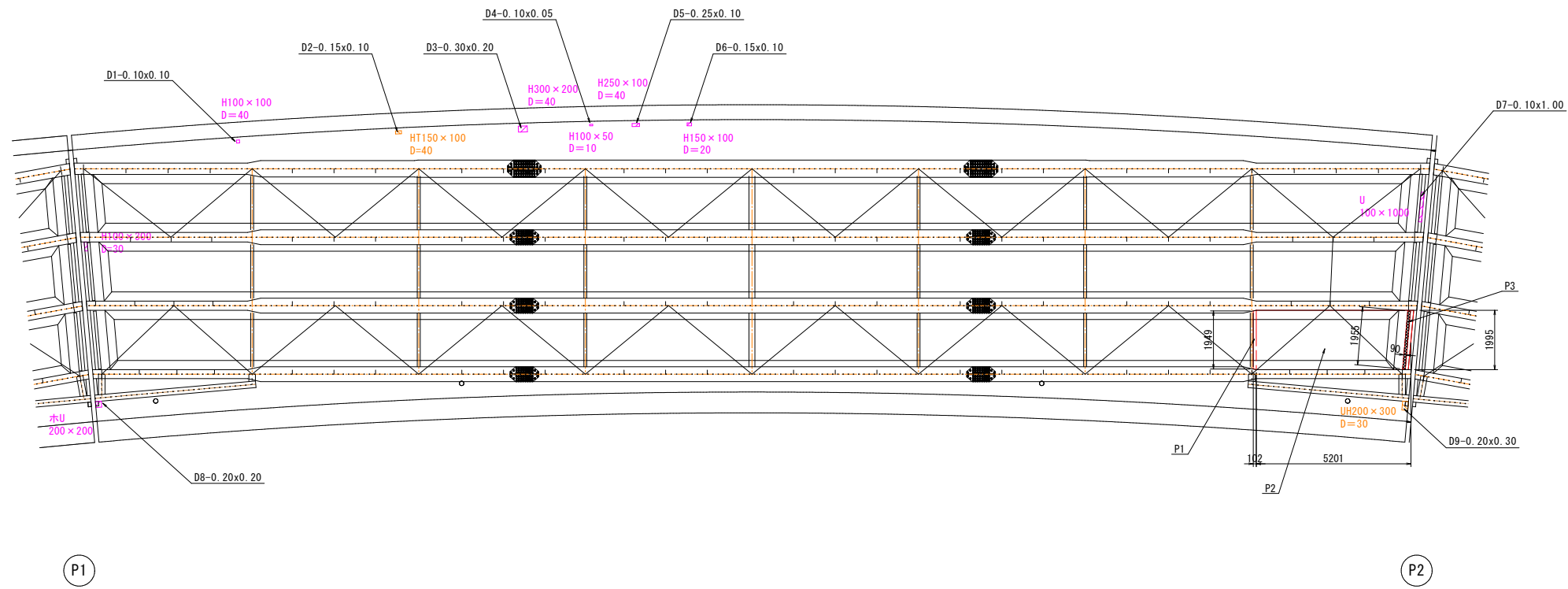
路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事 (2工区)(補助橋梁補修)	
図名	新黒坂橋 補修図(1)
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 35 葉中の内 23
令和 6 年度施行	
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 補修図(2)

桁 下 S=1/100

(第2径間)



下流
↑
上流

凡例

補修工法	
D	断面修復工(左官工法)
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

凡例

P	表面保護工
P0	補修工法 補修番号

- ※ 表面保護材は高分子系浸透性防水材とする。
- ※ コンクリート表面の高圧洗浄・ケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温0℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.25kg/m²以上とすること。

令和6年度 公共 起工

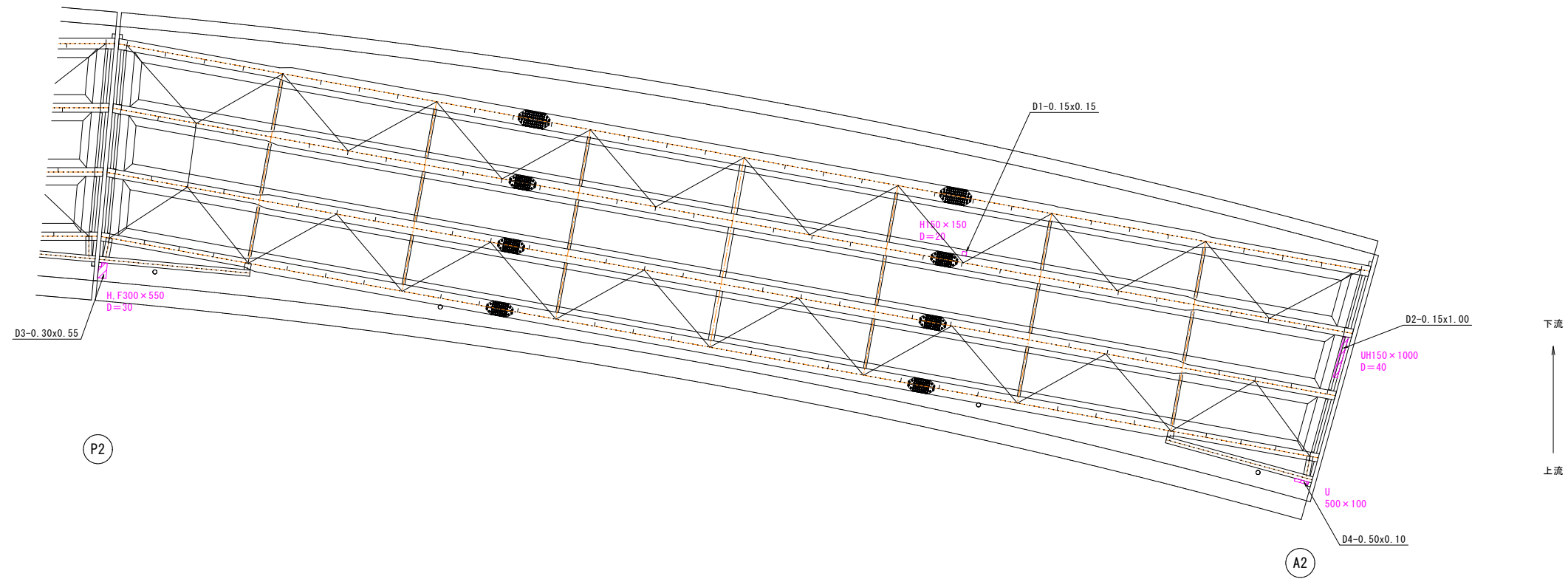
路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)	
図名	新黒坂橋 補修図(2)
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 35 葉中の内 24
令和 6 年度施行	
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 補修図(3)

桁 下 S=1/100

(第3径間)



凡例

補修工法	
D	断面修復工(左官工法)
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

令和6年度 公共 起工

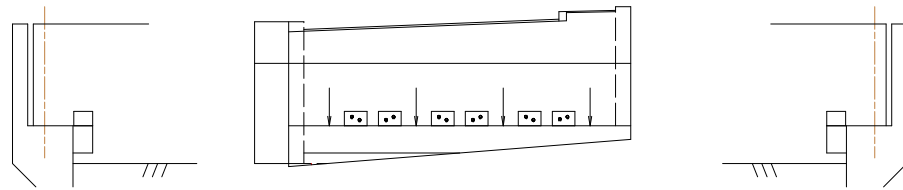
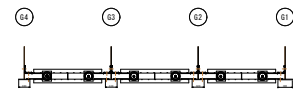
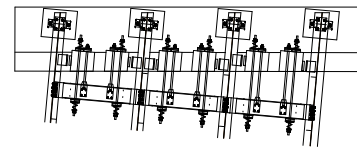
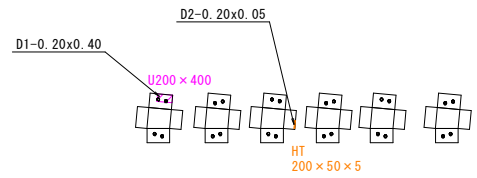
路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)		
図名	新黒坂橋 補修図(3)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35	葉中の内	25
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 補修図(4)

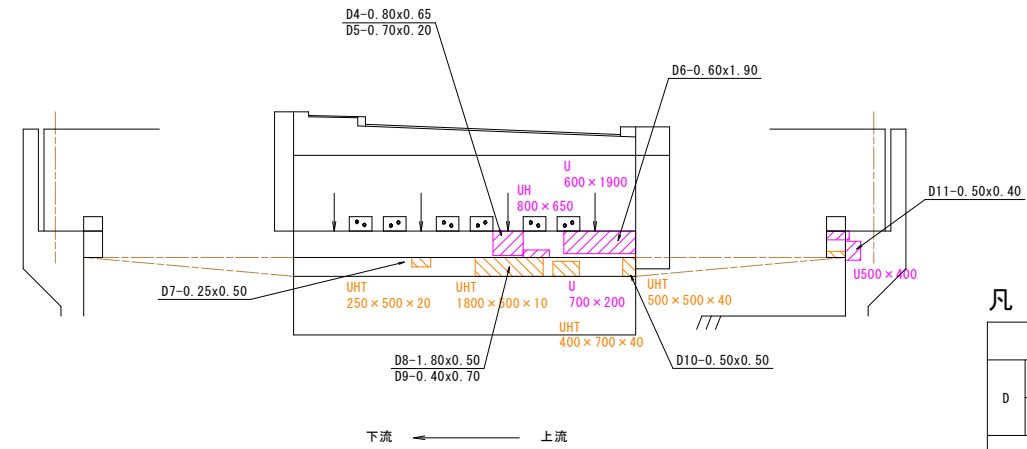
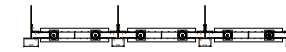
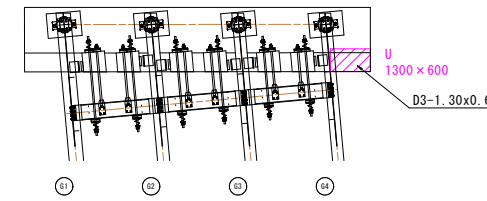
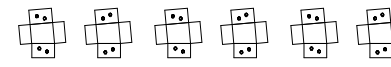
下部工 S=1/100

A1橋台



上流 → 下流

A2橋台



下流 ← 上流

凡例

補修工法	
D	断面修復工(左官工法)
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、補生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

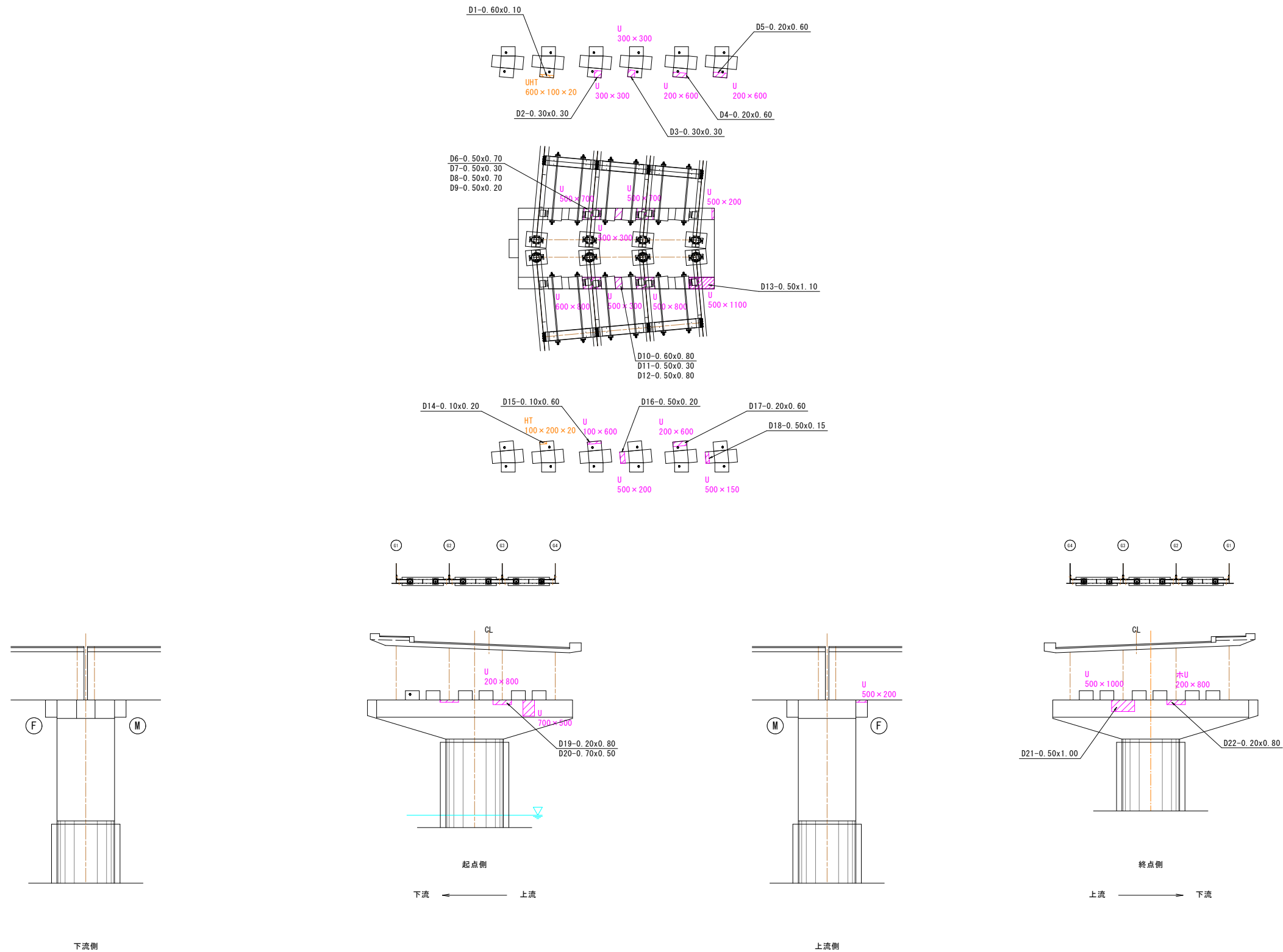
令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)		
図名	新黒坂橋 補修図(4)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35	葉中の内	26
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 補修図(5)

P1橋脚 S=1/100



凡例

補修工法	
D	断面修復工(左官工法)
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

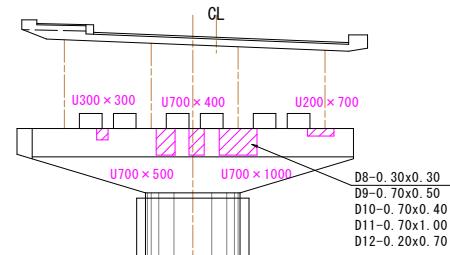
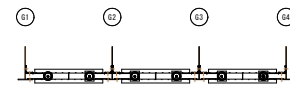
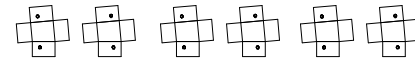
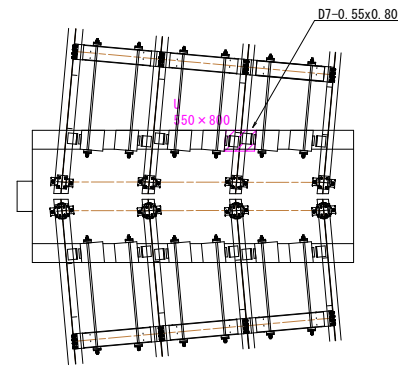
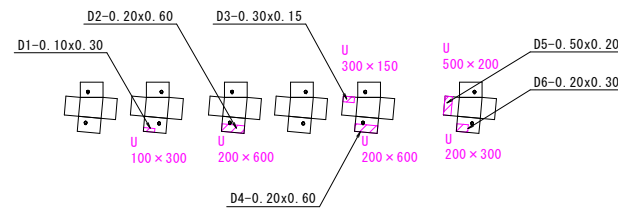
令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)		
図名	新黒坂橋 補修図(5)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35 葉中の内 27		
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

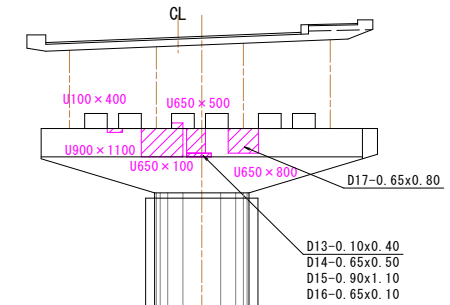
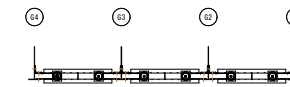
※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 補修図(6)

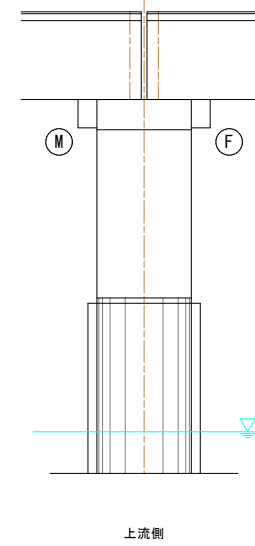
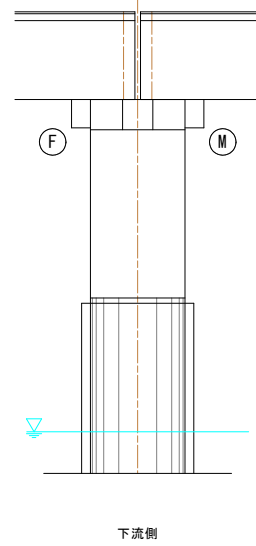
P2橋脚 S=1/100



起点側
下流 ← 上流



終点側
上流 → 下流



凡例

補修工法	
D	断面修復工(左官工法)
D0-0.00x0.00	補修工法 補修番号-補修幅x補修幅

- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、補生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

令和6年度 公共 起工

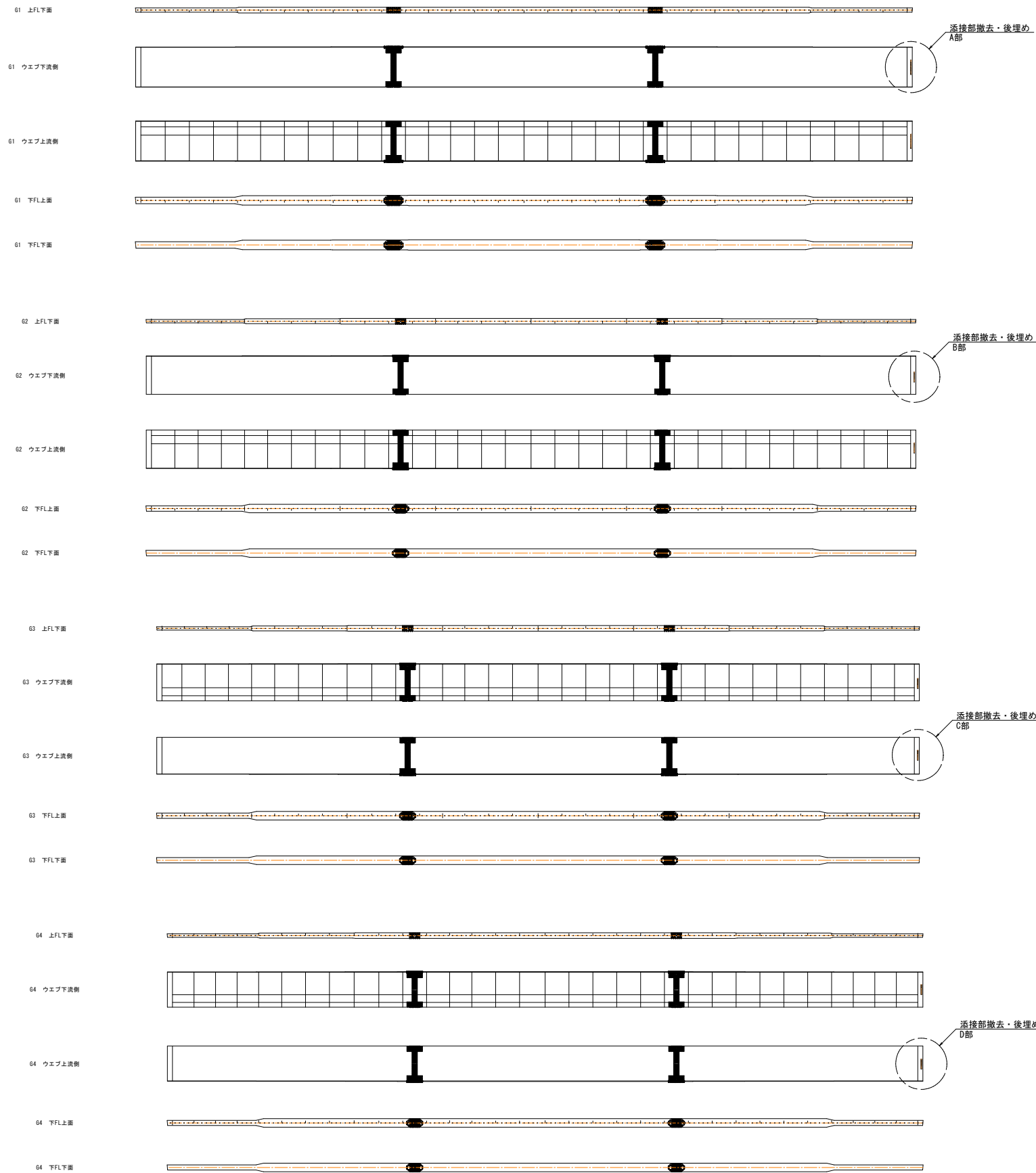
路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)	
図名	新黒坂橋 補修図(6)
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 35 葉中の内 28
令和 6 年度施行	
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 補修図(7)

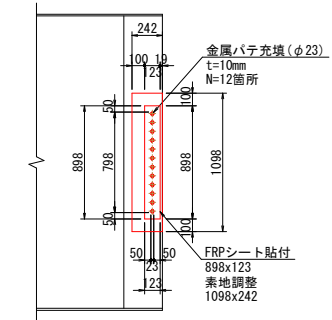
主 桁 S=1/150

(第1径間)

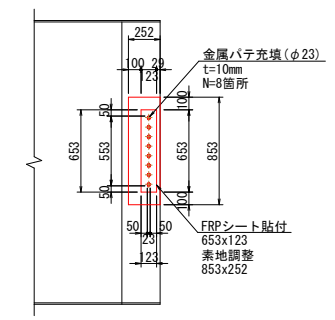


添接部撤去・後埋め 詳細図

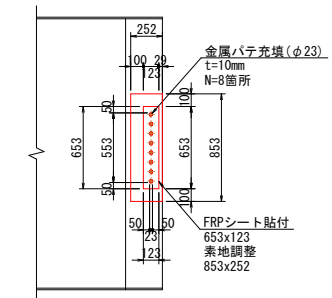
A部詳細図
G1主桁



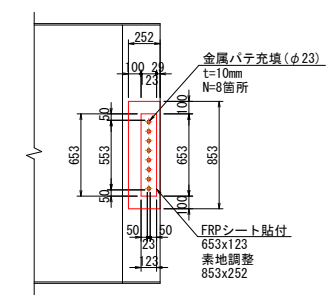
B部詳細図
G2主桁



C部詳細図
G3主桁



D部詳細図
G4主桁



- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、補生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

令和6年度 公共 起工

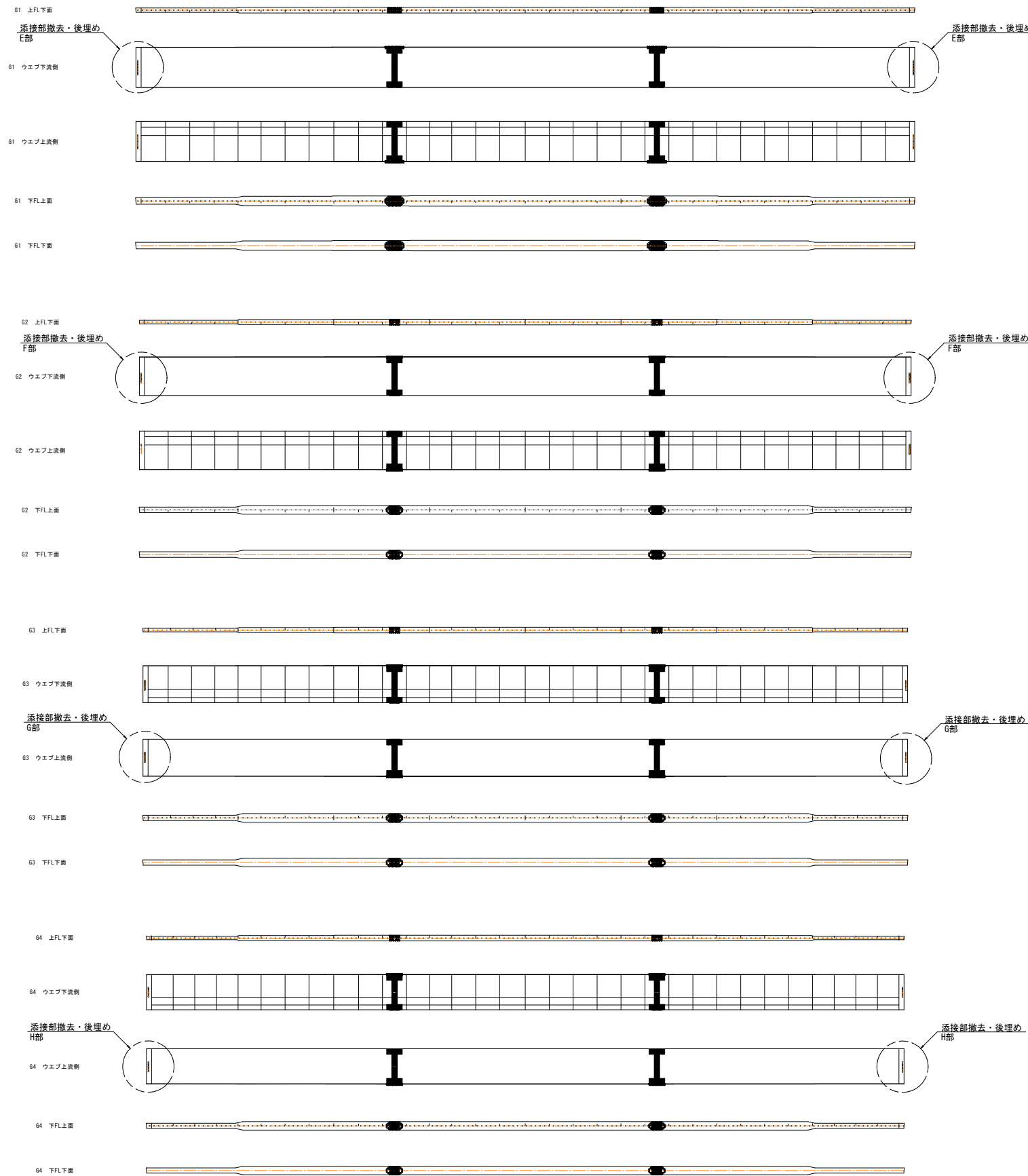
路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事 (2工区)(補助橋梁補修)		
図名	新黒坂橋 補修図(7)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35	葉中の内	29
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 補修図(8)

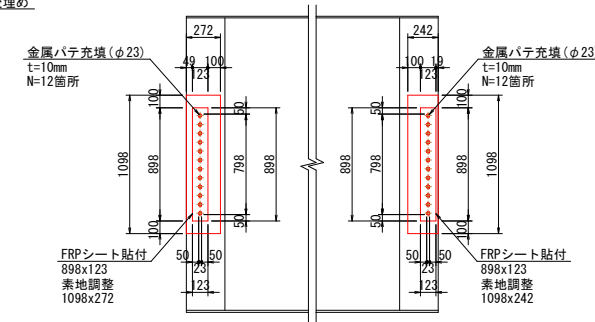
主 桁 S=1/150

(第2径間)

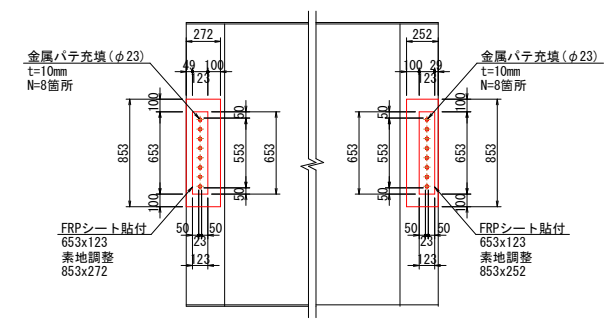


添接部撤去・後埋め 詳細図

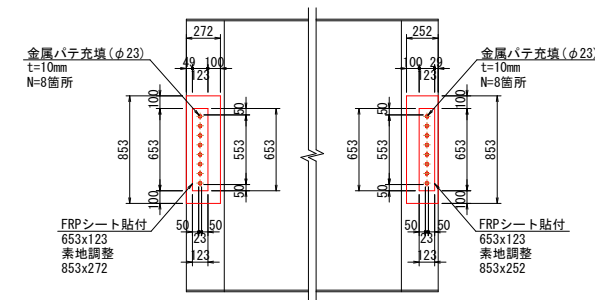
E部詳細図
G1主桁



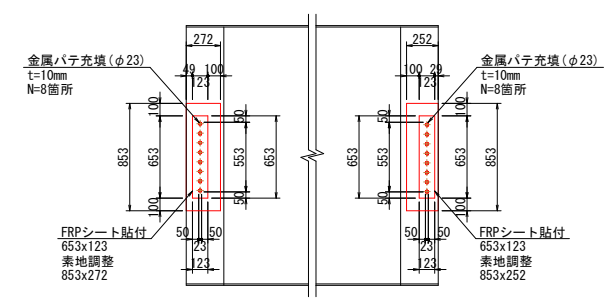
F部詳細図
G2主桁



G部詳細図
G3主桁



H部詳細図
G4主桁



- ※ 本図面は、現地に簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、補生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

令和6年度 公共 起工

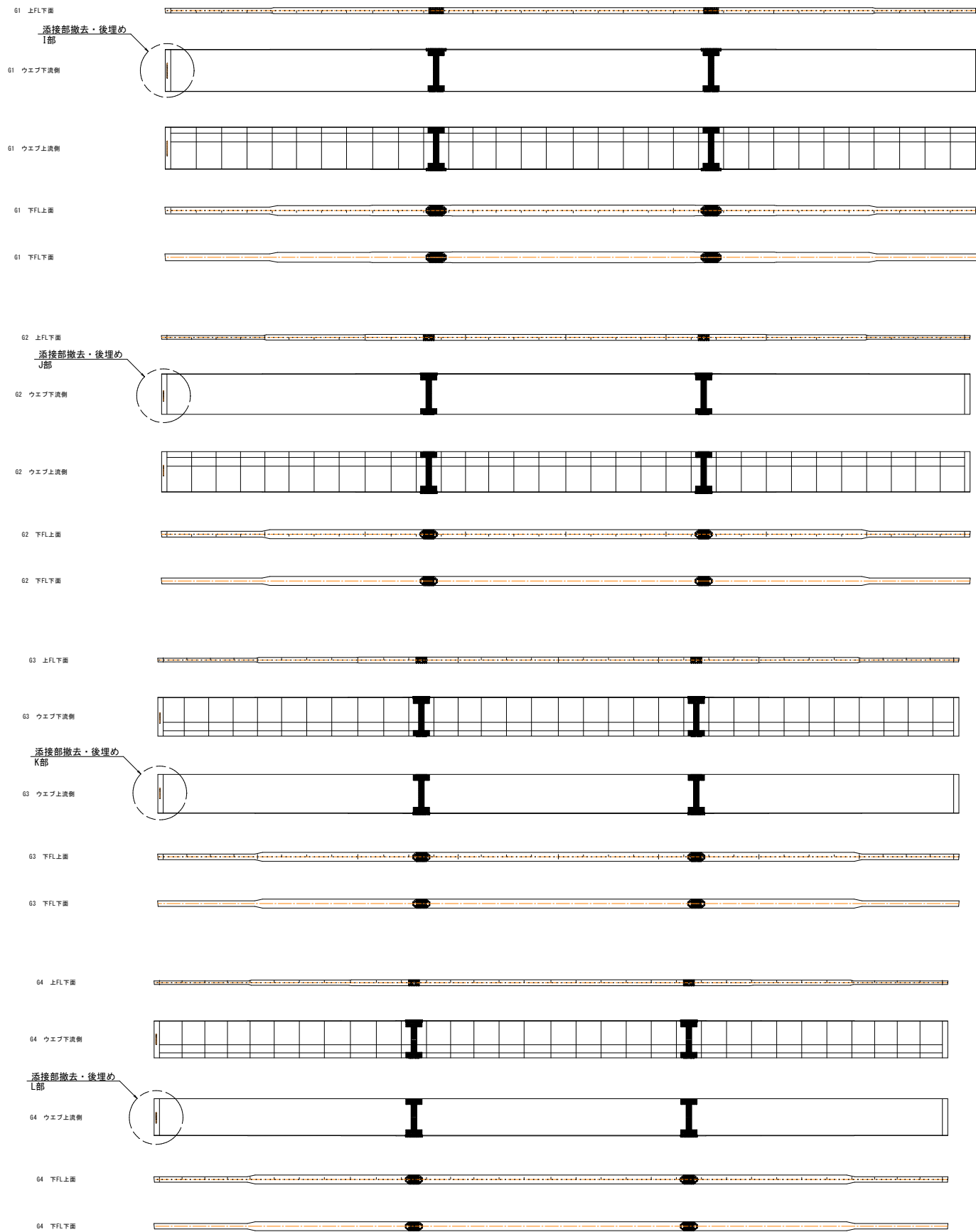
路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)		
図名	新黒坂橋 補修図(8)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35 葉中の内 30		
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野土整備局			

※A3出力時：表示縮尺×50%

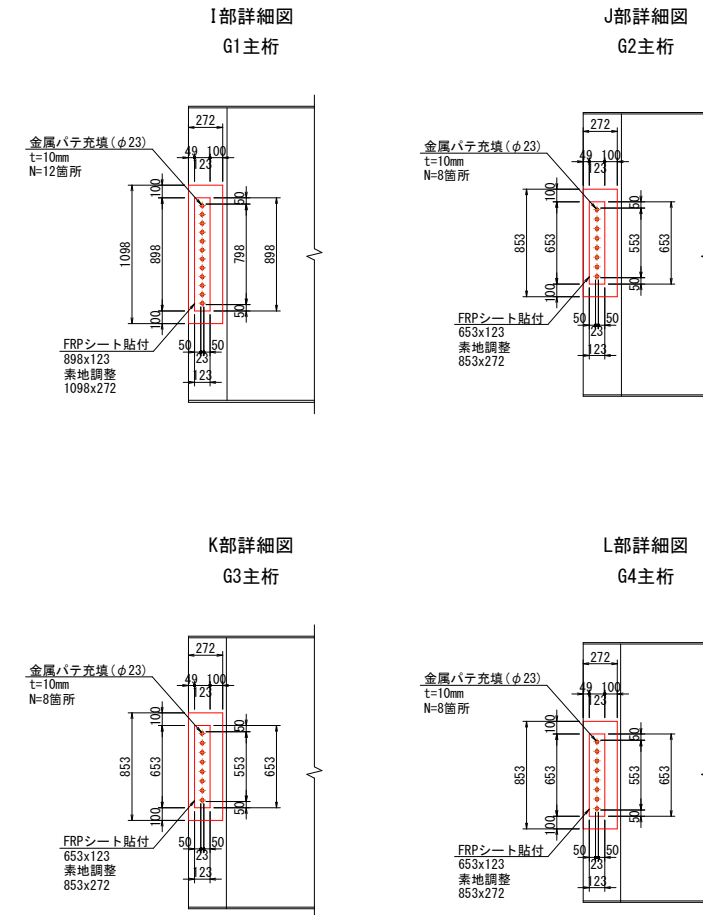
新黒坂橋 補修図(9)

主 桁 S=1/150

(第3径間)



添接部撤去・後埋め 詳細図



- ※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、補生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

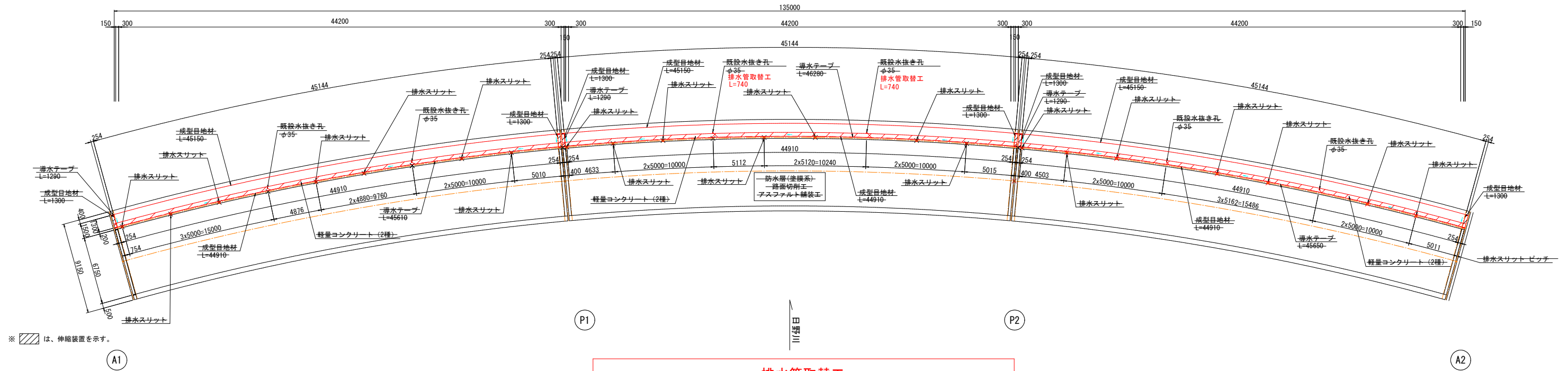
令和6年度 **公共** 起工

路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)		
図名	新黒坂橋 補修図(9)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35 葉中の内 31		
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

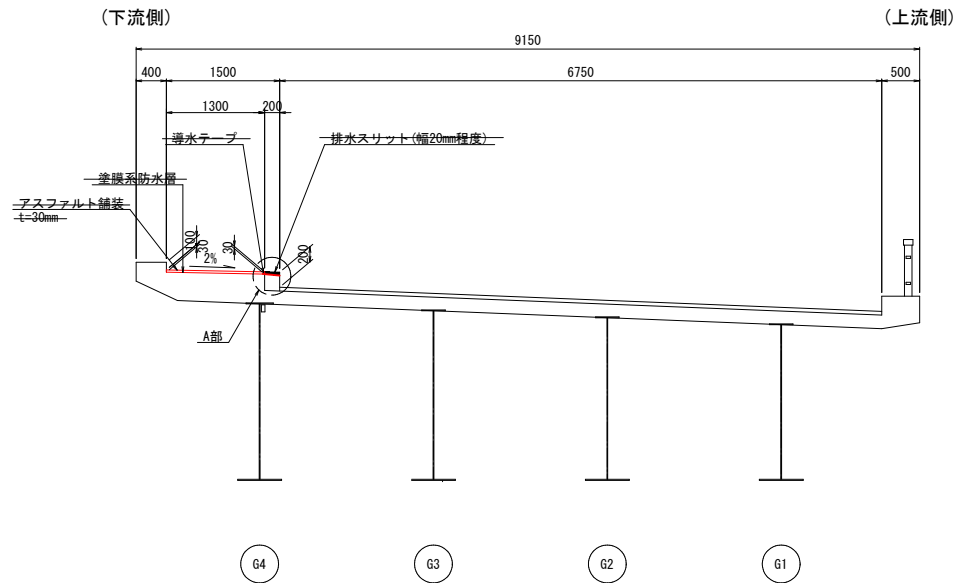
※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 防水・排水工詳細図

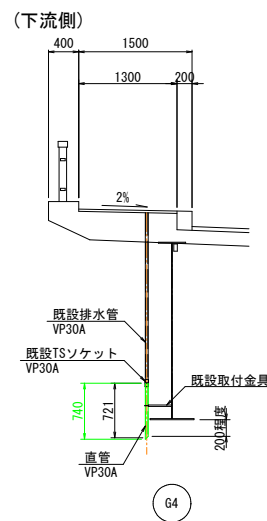
平面図 S=1:200



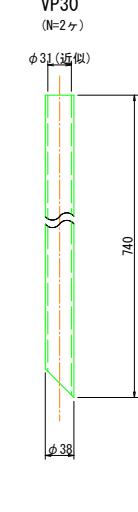
標準断面図 S=1:50



水抜き孔断面図 S=1:50



直管 S=1:5



舗装版破碎工数量表

名称	規格	単位	数量	備考
舗装版破碎	t=3cm	m ²	175.605	（1橋当り） アスファルト舗装(歩道部)
敷運搬(路面切削)	アスファルト敷	m ²	5.268	
敷処分	がれき類	m ²	5.268	

橋面防水工数量表

名称	規格	単位	数量	備考
橋面防水	塗膜系アスファルト加熱型防水層	m ²	175.605	（1橋当り）
ドレーン材	排水テープ 3x30	m	141.410	
目地工	成型目地材 b=30mm-t=5mm	m	277.980	
排水スリット工	幅20mm程度	箇所	21	
直管	VP30A	本	2	L = 0.740 x 2 = 1.480 流心延長 L=1.442m

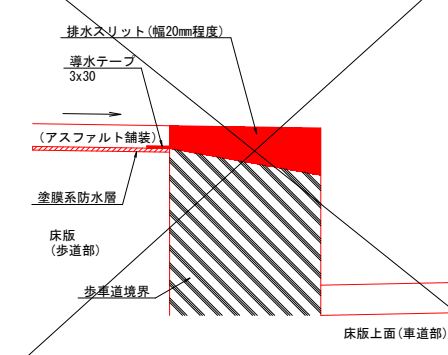
アスファルト舗装工数量表

名称	規格	単位	数量	備考
表層(歩道部)	密粒層As(13) t=3cm 瀝青材無し	m ²	175.605	（1橋当り） 平均幅員 1.3m

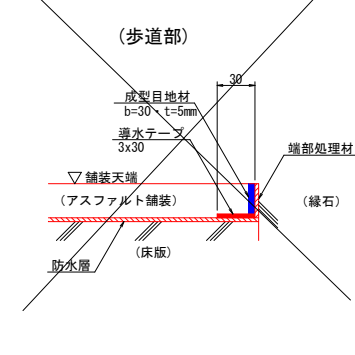
軽量コンクリート数量表

名称	規格	単位	数量	備考
軽量コンクリート	2種	m ³	9.139	（1橋当り） W=17KN/m ³

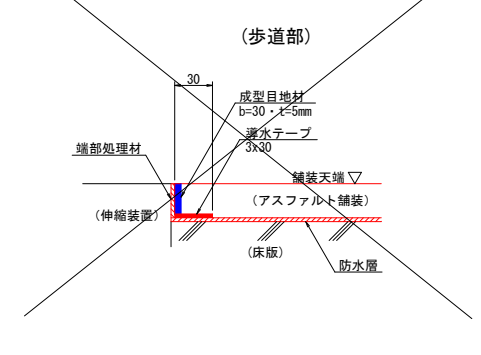
A部詳細 S=1:5



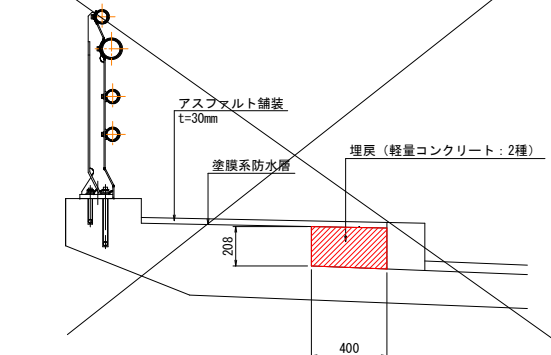
縦断排水部詳細図 S=1:3



横断排水部詳細図 S=1:3



軽量コンクリート断面図 S=1:20



令和6年度 公共 起工

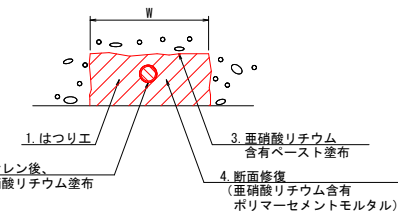
路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)	
図名	新黒坂橋 防水・排水工詳細図
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 35 葉中の内 32
令和 6 年度施行	
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

- ※ 本図面は、架橋時の設計図面を元に現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ、脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 舗装版取壊しを行う際は、床版等を破損しないよう注意すること。
- ※ 既設舗装撤去後に床版上面に不陸が見られる場合は、モルタル等で不陸修正を行うこと。
- ※ 排水勾配が逆勾配となる箇所については、施工時に排水勾配を設けること。
- ※ 防水材塗布時は表面水分量10%以下とすること。
- ※ 防水材塗布は、気温5℃以下では施工しないこと。

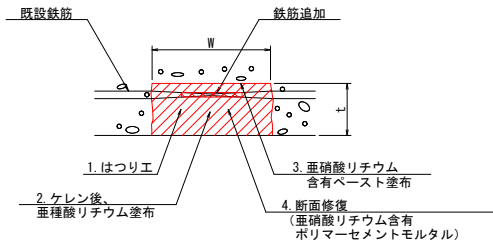
※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 補修詳細図(1)(参考図)

断面修復工(左官工法) (参考図)

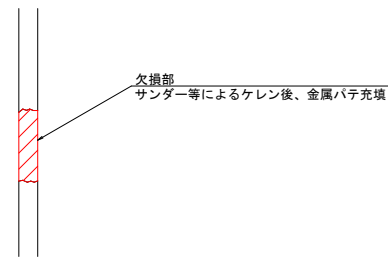


断面修復工(鉄筋追加)(左官工法) (参考図)



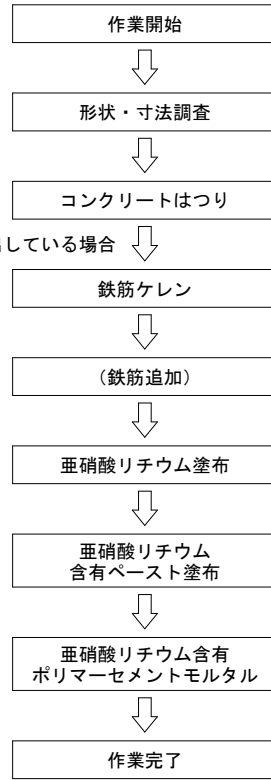
- ※ 鉄筋周辺のうきおよび劣化したコンクリートは除去すること。健全部までははつらないこと。
- ※ 端部は、L字カットを行い、フェザージェッジとならない処理を行うこと。
- ※ 腐食鉄筋のケレンに伴い鉄筋断面が著しく減少した箇所(25%以下)は、新たに同径の鉄筋を追加設置すること。
- ※ 鉄筋を追加する場合は、必要な鉄筋継ぎ手長を確保すること。
- ※ 断面修復工は、原形復旧を基本とするが、純かぶり10mm未満の箇所については、10mm以上のかぶり厚を確保させること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。

FRPシート設置工(金属パテ充填) (参考図)



- ※ 塗装面のケレンは十分に行うこと。
- ※ 十分な接着効果を得るために、施工対象となる鋼材面の不純物(油、ゴミ等)を十分に除去すること。
- ※ パテ充填は、気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 注入材は可使時間内に注入を行い、可使時間を過ぎた材料については使用しないこと。

施工手順



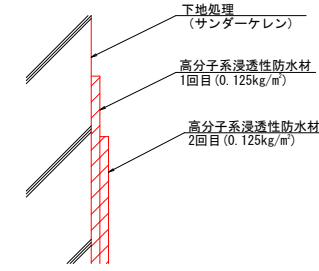
鉄筋が露出している場合 ↓
鉄筋が露出していない場合 ↓

ポリマーセメント系モルタル品質

項目	ポリマーセメントモルタル	
単位体積質量	1.8~2.2kg/l	
フロー	120~160	
硬化時間	3~8時間	
圧縮強度	24N/mm ² 以上	
付着強度	標準	1.8~3.4N/mm ²
	寒冷繰返し	1.6~2.4N/mm ²
弾性係数	16~21N/mm ²	
引張強度	3~6N/mm ²	
収縮率	200~1000(×10 ⁻⁴)	
熱膨張率	8~17×10 ⁻⁶ /℃	

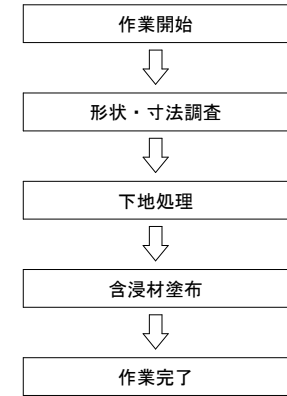
※出典：コンクリートライブラリー表面保護工法設計施工指針(案)H17.4(土木学会)

表面保護工 (参考図)

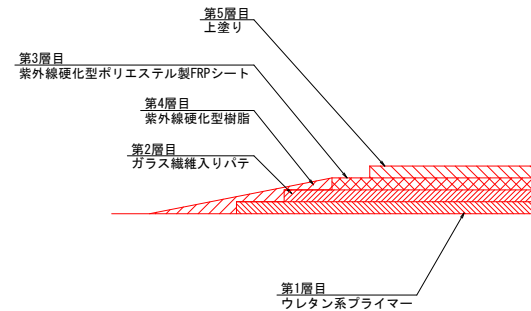


- ※ 表面含浸材は高分子系浸透性防水材とする。
- ※ コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- ※ 気温5℃以下では施工しないこと。
- ※ 標準塗布量：0.25kg/m²以上とすること。
- ※ 材料は可使時間内に使用し、可使時間を過ぎたものについては使用しないこと。

施工手順

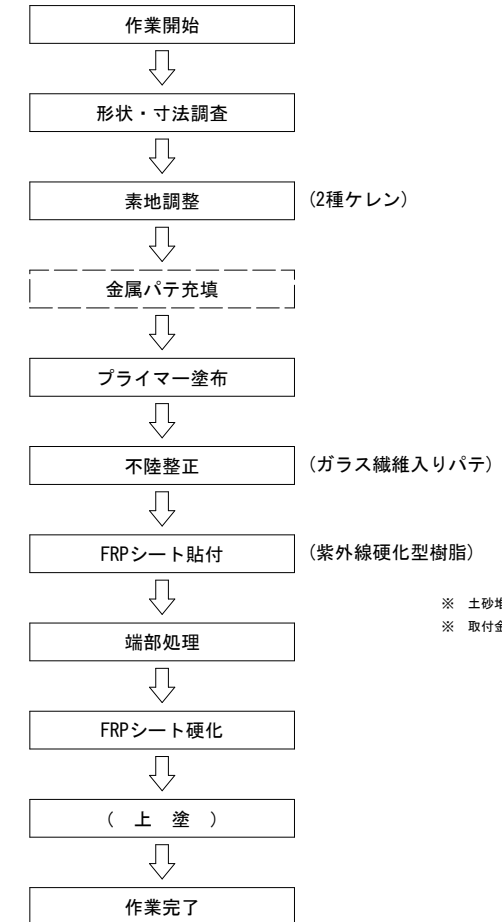


FRPシート設置工(紫外線硬化型FRPシート) (参考図)



※ 上塗り材料は、塗替え塗装と同様の材料を塗布すること。

施工手順



- ※ 土砂堆積、補生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

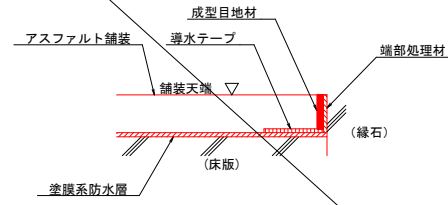
令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)	
図名	新黒坂橋 補修詳細図(1)(参考図)
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 35 葉中の内 33
令和 6 年度施行	
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

※A3出力時：表示縮尺×50%

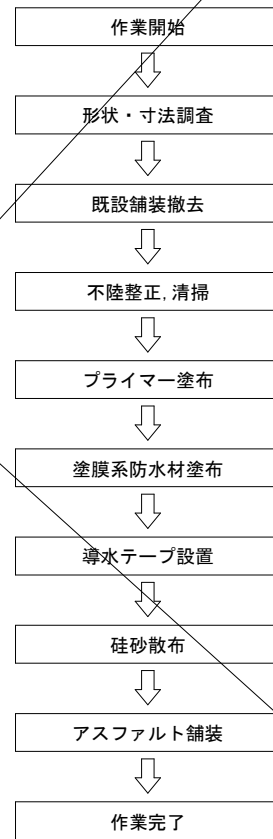
新黒坂橋 補修詳細図(2) (参考図)

橋面防水工 (参考図)

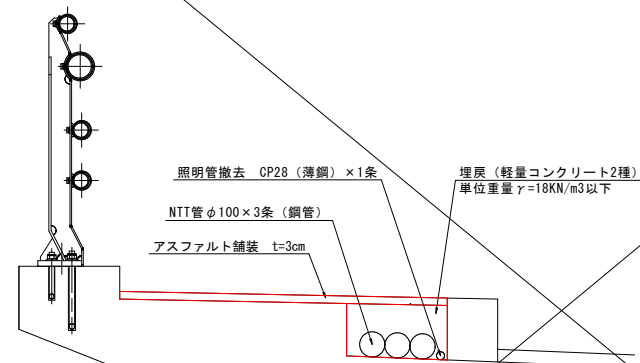


- ※ 舗装版取壊しを行う際は、床版等を破損しないよう注意すること。
- ※ コンクリートを削孔する際は、既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を実施し削孔位置を決定すること。
- ※ 排水装置設置の際に主構造と干渉する場合は、排水装置位置を調整すること。
- ※ 既設舗装撤去後に床版上面に不陸が見られる場合は、モルタル等で不陸修正を行うこと。
- ※ 排水勾配が逆勾配となる箇所については、施工時に排水勾配を設けること。
- ※ 防水材塗布時は表面水分量10%以下とすること。
- ※ 防水材塗布は、気温5℃未満では施工しないこと。
- ※ 導水テープの流末処理については、既設排水樹を穿孔し、排水樹内に差し込むこと。

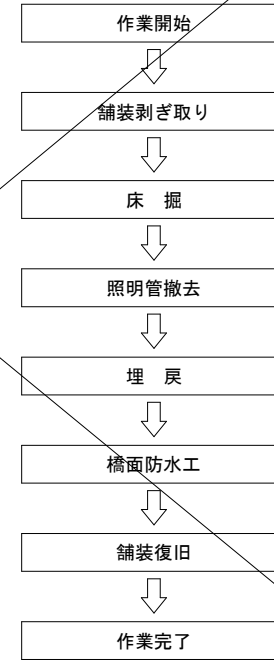
施工手順



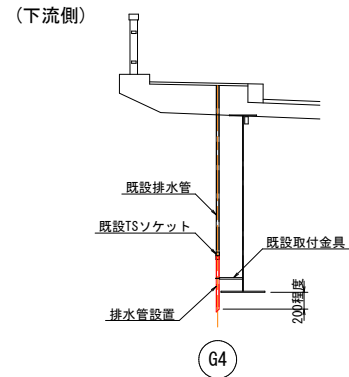
占用管部埋戻 (参考図)



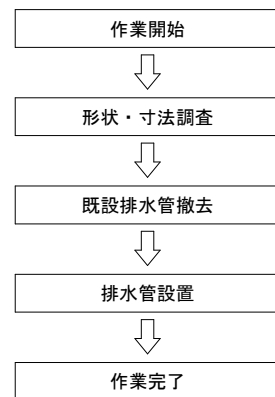
施工手順



排水管取替工 (参考図)



施工手順



- ※ 土砂堆積、補生、鳥の巣、ふん等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

令和6年度 公共 起工

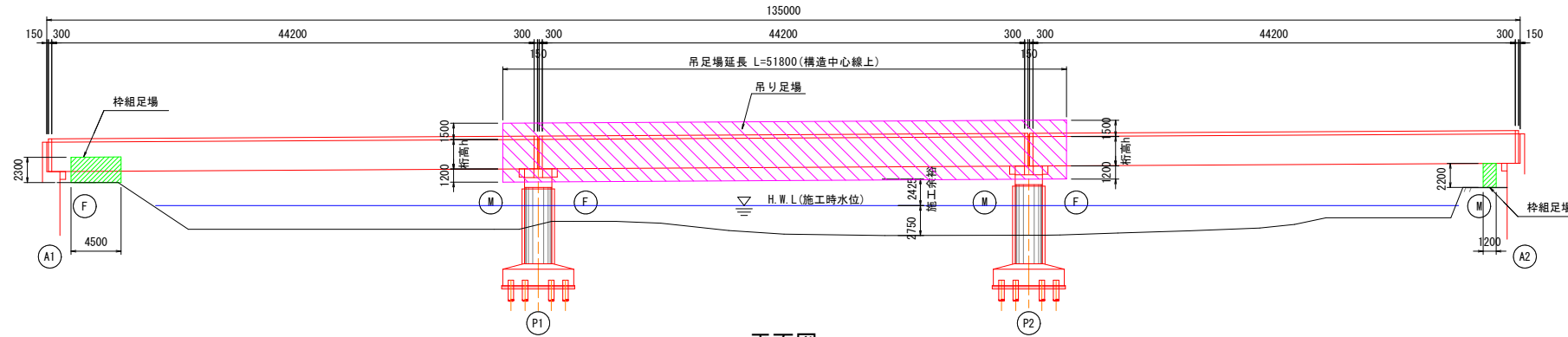
路線名	国道180号		
国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事 (2工区)(補助橋梁補修)			
図名	新黒坂橋 補修詳細図(2) (参考図)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35	葉中の内	34
令和 6 年度施行			
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時：表示縮尺×50%

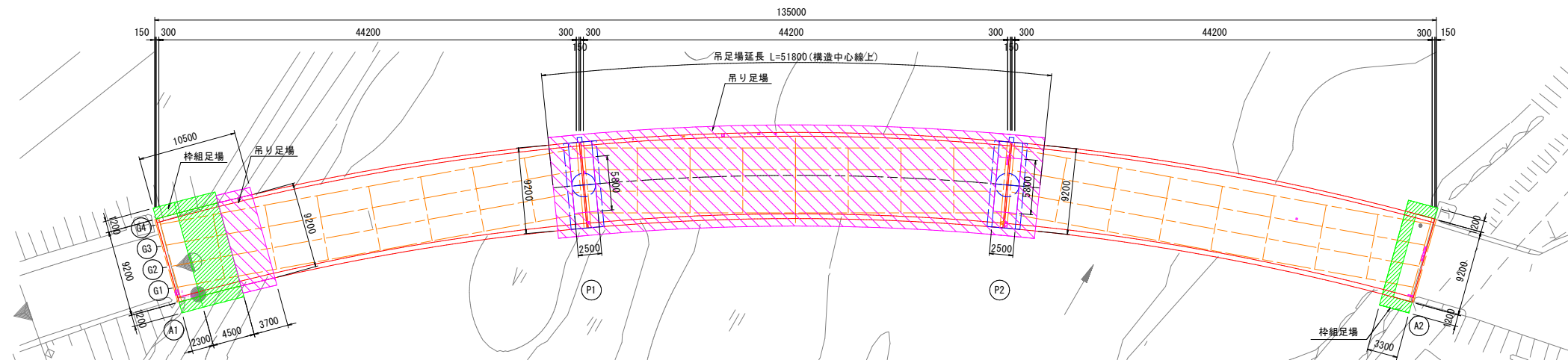
新黒坂橋 足場計画図 (参考図) S=1:300

側面図

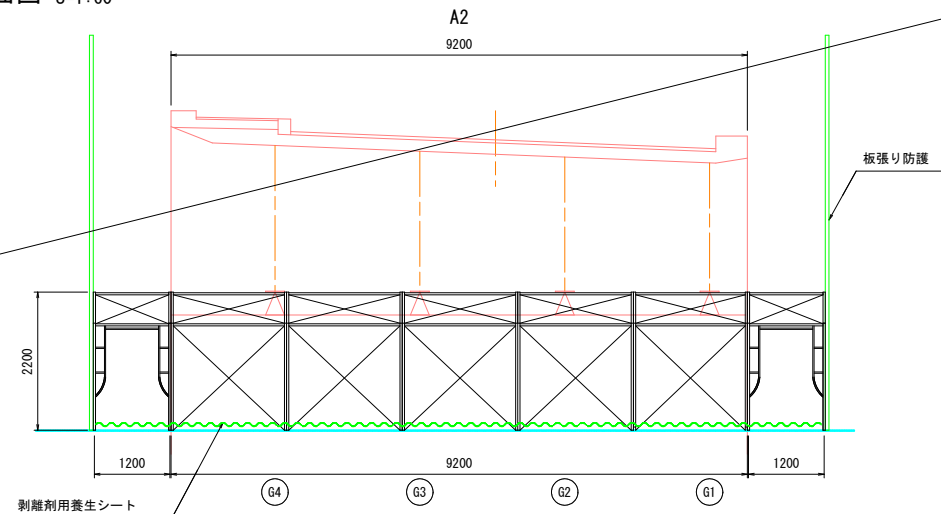
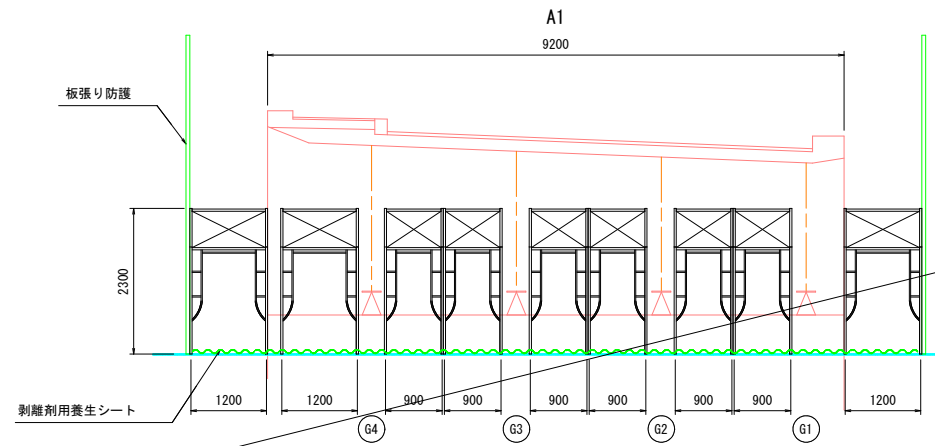
G1~G3<G4>



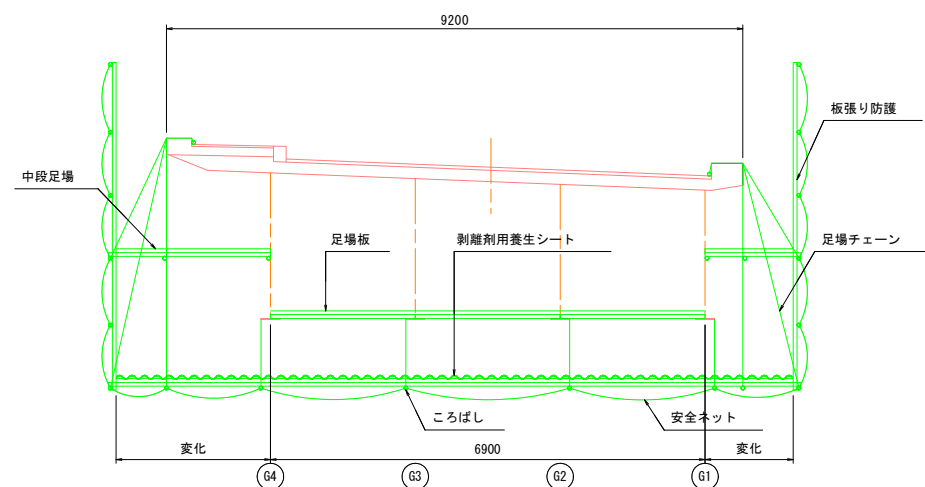
平面図



断面図 S=1:60



支間部 (A1-A2径間)



吊足場面積

・ A1橋台側
 $A1 = 9.200 \times 3.700 = 34.04 \text{ m}^2$
 ・ 第2径間部
 $A2 = 9.200 \times 51.800$
 $- 2.500 \times 8.500 \times 2$
(橋脚梁部控除)
 $= 434.06 \text{ m}^2$
合計 = 468.10 m²

※A1及びA2の枠組足場、A1の吊り足場は、別途発注の塗装工事で設置する。
 また、P1~P2の吊り足場は、塗装工事で撤去する。
 ※本橋の環境対策工は、塗装工事で設置するが、それを見越した吊り足場を設置すること。
 2工区工事で環境対策が必要な場合は、協議により、塗装工事で調整して実施する。

注記)

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、
 図面照合等の確認のち施工箇所を決定すること。

令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)橋梁補修工事(2工区)(補助橋梁補修)		
図名	新黒坂橋 足場計画図(参考図)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 35 葉中の内 35		
	令和 6 年度施行		
	西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局		

※A3出力時: 表示縮尺×50%